

澁川市
高齢者福祉計画策定基礎調査
【結果報告書】

令和6(2024)年3月

澁川市

目次

各調査結果の概要	1
1 在宅介護実態調査	2
2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	3
3 介護保険に関するアンケート調査（事業所調査）	7
I 調査の概要	9
1 目的.....	10
2 対象者	10
3 実施方法	10
4 回収結果	10
5 調査結果を見る際の留意点	11
II 調査結果 在宅介護実態調査	13
A票 調査対象者ご本人などにご回答、ご記入いただく項目	16
B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入いただく項目	22
III 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	27
1 あなたのご家族や生活状況について.....	32
2 からだを動かすことについて	35
3 食べることについて	42
4 毎日の生活について	46
5 地域での活動について	56
6 たすけあいについて	63
7 健康について	69
8 人生の最期の迎え方について	76
9 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	78
10 災害時の避難について	81
IV 調査結果 事業所調査	83
1 事業所の状況について	84
2 利用者数・利用状況について	85
3 職員の状況について	89
4 苦情への対応について	104
5 事業運営について	106
V 生活機能の評価	117
1 基本的な生活機能の評価	118
2 その他の生活機能の評価	127
VI 資料編（調査票）	133

各調査結果の概要

1 在宅介護実態調査

◆家族・親族からの介護は「週1日以上」が約7割、そのうち「ほぼ毎日」は5割以上

◆夫婦のみ世帯は家族・親族からの介護頻度がやや低い

◆主な介護者の年齢は60代以上が7割以上、50代を含めると9割以上

○家族や親族から週1日以上の介護を受けている人は、回答者全体や単身世帯では約7割、夫婦のみ世帯は約6割となっています。〈A票問2〉

○そのうち、ほぼ毎日介護を受けている人は、回答者全体では5割以上、単身世帯では3割以上、夫婦のみ世帯では4割以上となっています。

○介護者の年齢は、60代以上が7割以上、50代を含めると9割以上となっています。〈A票問3〉

◆仕事をしている介護者は4割以上、その多くが働き方の調整・工夫を行っている

◆仕事と介護の両立について、「問題はあるがなんとか」続けていける人は約6割

○介護を理由にこの1年間で仕事を辞めた家族・親族がいる割合は約1割となっています。〈A票問4〉

○現在働きながら介護している人は、フルタイムとパートタイムが同程度で、合わせて4割以上となっています。また、介護者の年代をみると、50代は約7割、60代は約6割が働きながら介護しています。一方、70代以上は働いていない介護者が約7割となっています。〈B票問1〉

○働きながら介護している人のうち、介護のための働き方の調整（労働時間や休暇取得等）を「特に行っていない」は3割以上で、これを除く約7割は何らかの調整や工夫を行っていると考えられます。また、今後の仕事と介護の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が約6割となっています。〈B票問2・問3〉

◆施設入所等の検討や申し込みをしている人は3割以上

◆介護者が特に不安を感じる介護等は「認知症状への対応」「外出の付き添い・送迎等」「入浴・洗身」「夜間の排泄」

○施設等への入所・入居の検討や既に申し込みをしている人は3割以上となっています。〈A票問5〉

○介護者が不安を感じる介護等は、「認知症状への対応」の割合が最も高く、「外出の付き添い・送迎等」「入浴・洗身」「夜間の排泄」なども高くなっています。これらは前回調査結果（3年前）でも高い項目となっています。〈B票問4〉

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- ◆認定を受けていない一般高齢者がほとんどで、介護・介助が必要な人は1割以上
- ◆経済的に「苦しい」が3割以上で前回調査より高い
- ◆身近な地域包括支援センターの認知度は5割以上、そのうち利用経験者は1割以上
- 回答者は介護認定を受けていない一般高齢者がほとんどで、家族構成は「夫婦2人暮らし」が4割以上、次いで「息子・娘との2世帯」「1人暮らし」がそれぞれ約2割となっています。また、普段の生活で介護・介助が必要な人は1割以上となっています。〈④
〈1- (1) (2)〉
- 経済的な状況は、「ふつう」が約6割となっていますが、「大変苦しい」「やや苦しい」が合わせて3割以上で、前回調査結果より高くなっています。〈1- (3)〉
- 居住地域の地域包括支援センターの認知度は5割以上、そのうち、「利用したこともある」は1割以上となっています。〈⑥〉
- ◆過去1年間に転んだ経験のある人(転倒リスク該当)は3割以上、転倒に不安のある人は5割以上で、いずれも高くなる傾向
- ◆週1日以上外出する人は9割以上、しかし、外出頻度や回数は低くなる傾向
- ◆外出の際の移動手段は「自動車(自分で運転)」が7割以上で前回調査より高い
- ◆一人での外出、買い物ができる・している人は約8割
- ◆運動器機能のリスク該当は1割以上で高い年代ほど高い
- 階段の昇降や椅子からの立ち上がり、15分位の歩行などは、「できるし、している」が多くなっていますが、階段の昇降や椅子からの立ち上がりは、過去2回の調査結果(3年前・6年前)より低くなっています。〈2- (1) (2) (3)〉
- 過去1年間に転んだ経験がある人(転倒リスク該当)は3割以上、転倒に不安がある人は5割以上で、いずれも過去2回の調査結果より高くなっています。〈2- (4)、V 生活機能の評価〉
- 週に1回以上外出する人は9割以上で、そのうち「週2~4回」が4割以上、「週5回以上」が3割以上で比較的高い一方、それより頻度が低い「週1回以下」(「ほとんど外出しない」を含む)は過去2回の調査結果より高く、昨年と比べた外出回数も「減っている」が高くなっています。〈2- (6) (7)〉
- 外出する際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」が7割以上で特に高く、前回調査結果よりさらに高くなる一方、電車、路線バスなどの公共交通機関は前回調査結果と同様に1割程度となっています。また、約8割が一人での外出や食品・日用品の買い物を「できるし、している」としています。〈4- (2) (3) (10)〉
- 運動器機能のリスク該当は、回答者全体では1割以上、90歳以上では4割以上となっており、高い年代ほど高くなっています。〈V 生活機能の評価〉

◆BMI*¹では男性は「肥満」、女性は「低体重」が比較的高い

◆固いものが食べにくくなった人は3割以上、入れ歯を利用している人は5割以上

◆だれかとの食事を約6割が「毎日」、約1割が「ほとんどない」

○BMIを見ると、「肥満」(25.0以上)は男性で2割以上、フレイル*²が要注意な「低体重」(18.5未満)は女性で約1割となっています。〈3-(1)〉

○半年前に比べて固いものが食べにくくなった人は3割以上となっています。〈3-(2)〉

○入れ歯を利用している人は5割以上となっています。〈3-(3)〉

○どなたかと食事をともにする機会について、「毎日」が約6割で最も高い一方、「ほとんどない」が約1割となっています。〈3-(4)〉

*1 BMI(Body Mass Index):肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数。計算式: BMI=[体重(キログラム)]÷[身長(メートル)の2乗]

*2 フレイル:要介護状態に至る前段階として位置づけられ、身体的虚弱性のみならず精神・心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自律障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する(出典:「フレイル診療ガイド2018年版」(日本老年医学会/国立長寿研究センター))

◆毎日の生活について、物忘れが多いと感じる人は5割以上

◆男性は、食事の用意、請求書支払い、預貯金出し入れなどを「できるけどしていない」が女性より高い

◆スマートフォン等によるインターネット利用が若い年代ほど高い一方、高い年代ほど「インターネットは利用していない」が高い

◆市の情報は「広報しづかわ」からが約8割

◆手段的日常生活動作(IADL)は「低い」が合わせて1割以上で高い年代ほど高い

○物忘れが多いと感じる人は約5割となっています。〈4-(1)〉

○食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れなど、約8割が「できるし、している」としていますが、男性は「できるけどしていない」が女性より高くなっています。〈4-(4)(5)(6)〉

○インターネットを利用している主な情報通信機器は、回答者全体ではスマートフォンが4割以上で若い年代ほど高い一方、「インターネットは利用していない」が高い年代ほど高く、85歳以上では最も高くなっています。〈4-(7)〉

○市の情報入手は約8割が「広報しづかわ」からとなっています。〈4-(8)〉

○手段的日常生活動作(IADL)は、「低い」「やや低い」が合わせて、回答者全体では1割以上、90歳以上では約3割で、高い年代ほど高くなっています。〈V 生活機能の評価〉

◆不安に感じることは「体の衰え」と「災害時対応」「防犯(特殊詐欺等)」が高く、特殊詐欺電話と思われる電話を受けた経験のある人は3割以上

◆災害時の避難について、身近な地域の避難場所の認知度は8割以上

◆災害の際に「自分で避難することに課題がある人」は約2割

○特殊詐欺と思われる電話を受けた経験がある人は3割以上となっています。〈4－(9)〉

○不安に感じていることは、「体の衰え」が4割以上で最も高く、次いで「災害時の対応」「防犯(特殊詐欺等)」などとなっています。〈4－(11)〉

○居住地域の避難場所の認知度は8割以上となっています。〈10－(1)〉

○災害の際に自分で避難することができる人が約8割で最も高い一方、家族などの支援で避難することができる人と、避難することができない人を合わせた「自分で避難することに課題がある人」は約2割となっています。〈10－(2)〉

◆地域での健康づくり等の活動への参加意向は、「参加者」としては5割以上、「企画・運営の立場」としては約3割

◆通ってみたい集まりは「軽体操」が4割以上、次いで「脳トレ」が3割以上

○地域でのグループ等の活動について、いずれにも「参加していない」が最も高いものの、健康づくりや趣味等のグループ活動に「是非参加したい」「参加してもよい」とする人は合わせて5割以上で、「参加してもよい」の割合は、前回調査結果より高くなっています。〈5－(1)(2)〉

○また、それらの活動に企画・運営(お世話役)として、「是非参加したい」の割合は低いものの、「参加してもよい」は約3割で前回調査結果と同程度となっています。一方、「参加したくない」は約6割で前回調査結果より高くなっています。〈5－(3)〉

○介護予防のために通ってみたい集まりは、「軽体操」が4割以上で最も高く、次いで「脳トレ」が3割以上で、いずれも女性が男性より高くなっています。〈5－(4)〉

◆助け合いについて、心配事や愚痴を聞いてくれる・聞いてあげる相手、病気時の看病や世話をしてくれる・してあげる人は、いずれも「配偶者」が最も高く、特に男性で高い

◆日頃の生活で、男性は調理や洗濯、女性はゴミ出し、通院、庭の手入れなどを誰かに助けてもらっている割合が高い

○心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、病気で数日寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人、してあげる人は、いずれも「配偶者」が最も高くなっています。また、「配偶者」は男性で高くなっています。〈6－(1)(2)(3)(4)〉

○日頃、誰かに助けてもらっていることは、回答者全体では「特にない」が最も高く、次いで「買い物」が約2割となっていますが、男性は「調理」「洗濯」、女性は「ゴミ出し」「通院」「庭の手入れ」などが比較的高くなっています。〈6－(5)〉

◆この1か月間で気分が沈む・ゆううつな気分になったことがある人は3割以上、物事に興味がわかない・心から楽しめない感じがよくある人は2割以上

◆幸福度は8点、5点がいずれも2割以上

◆閉じこもりリスク該当は2割以上で高い年代ほど高い

◆うつ傾向のリスク該当は3割以上で年代による大きな差は見られない

○現在の健康状態は比較的よい人が多いものの、この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気分になったりすることがあった人は3割以上、物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくある人は2割以上となっています。〈7-（1）（3）（4）〉

○幸福度（0～10点）について、8点、5点がいずれも約2割で高くなっています。〈7-（2）〉

○閉じこもり傾向のリスク該当は、回答者全体では2割以上、90歳以上では5割以上となっており、高い年代ほど高くなっています。〈V 生活機能の評価〉

○うつ傾向のリスク該当は3割以上で、年代による大きな差は見られません。〈V 生活機能の評価〉

◆タバコを「吸っている」「やめた」はいずれも男性が高い

◆治療中・後遺症のある病気は「高血圧」が4割以上

○タバコを「吸っている」は約1割、「吸っていたがやめた」は約3割で、いずれも男性が女性より高くなっています。〈7-（5）〉

○現在治療中または後遺症のある病気について、「高血圧」が4割以上で最も高く、前回調査結果と同程度となっています。〈7-（6）〉

◆人生の最期は「自宅」「家族に任せ」、延命治療は「見込みがないならしない」が5割以上

○人生の最期を迎えたい場所は自宅が3割以上、家族の意思に任せるが約3割〈8-（1）〉

○延命治療は「回復の見込みがないならしないでほしい」が5割以上、「苦痛を少なくすることを重視」が3割以上〈8-（2）〉

◆認知症について、自分または家族に症状のある人は約1割

◆相談窓口の認知度は3割未満、自分または家族に症状のある人では4割以上

◆認知症リスク該当は約5割で高い年代ほど高い

○自分または家族に認知症の症状がある人は約1割となっています。〈9-（1）〉

○認知症に関する相談窓口の認知度は、回答者全体では3割未満、自分または家族に認知症の症状がある人では4割以上となっています。〈9-（2）〉

○認知機能のリスク該当は、回答者全体では約5割、85歳以上では約6割となっており、概ね高い年代ほど高くなっています。〈V 生活機能の評価〉

3 介護保険に関するアンケート調査（事業所調査）

- ◆サービス利用状況は「予定通り」が5割以上、「少ない」が4割以上で、「少ない」理由は「需要がなかった」が最も高い
 - ◆職員が不足している事業所は5割以上、主な理由は「適正な人材がない」「応募がない」が高い
 - ◆採用活動は「ハローワークへの求人登録」「自社ホームページでの募集」「従事職員による勧誘」など
 - ◆そのうち、「自社ホームページでの募集」は実施効果があまりないと認識
 - ◆外国人採用は「既に採用」が約2割で、前回調査より高い
- 事業所が行っているサービスの利用状況は、「予定どおり」が5割以上、「少ない」が4割以上となっており、「少ない」は前回調査結果より高くなっています。また、「少ない」理由として「見込んだほどの需要がなかった」が2割以上で最も高くなっています。〈問4・問4-2〉
- 職員の過不足状況は、前回調査結果から改善がみられるものの、介護職員を中心に、不足している事業所が5割以上となっています。〈問6・問6-2〉
- 職員が不足している主な理由は、「募集しても適正な人材がない」が7割以上、次いで「募集しても応募がない」が約6割となっており、上位2項目は前回調査結果と同様となっています。〈問6-1〉
- 行っている採用活動は、「ハローワークへの求人登録」が8割以上、次いで「自社ホームページでの募集」「従事職員による勧誘」の2項目が5割以上となっています。〈問7〉
- 採用活動の実施効果は、「ハローワークへの求人登録」「従事職員による勧誘」は比較的「(少し)ある」高い一方、「自社ホームページでの募集」は「(あまり)ない」が高くなっています。〈問7〉
- 外国人採用は「予定なし」が約4割、「未定」が3割以上、「既に採用」が約2割で、前回調査結果より「既に採用」が高くなっています。〈問8〉
- ◆利用者やその家族から受けたことがある苦情は「サービス内容」が3割以上、「職員の態度」が2割以上で、いずれも前回調査より低い
 - ◆苦情対応は「相談員配置」「対応マニュアル作成」が高い
- 利用者本人や家族から受けたことがある苦情は「サービス内容」が3割以上、「職員の態度」が2割上で比較的高くなっていますが、いずれも前回調査結果より低くなっています。〈問9〉
- 苦情に対する取組として、「苦情窓口への相談員の配置」が8割以上、「苦・相談対応マニュアルの作成」が6割以上で比較的高くなっています。〈問10〉

◆事業運営上の課題は「事務作業が多い」が6割以上、次いで「従事者の確保・調整が難しい」が5割以上

◆市内への新規参入や事業拡大の課題・問題は「職員の確保」が6割以上

◆市に望むことは「最新での確な情報の提供」が5割以上

○円滑な事業運営を進めていく上で困難を感じることは、「事務作業が多い」が6割以上、「従事者の確保・調整が難しい」が5割以上で比較的高くなっています。〈問 11〉

○「ケアプランデータ連携システム*¹」の利用意向は「未定（わからない）」が5割以上、次いで「利用する予定」が約2割となっています。〈問 12〉

○市内への新規参入や事業拡大を検討しているサービスは少なく、新規参入や事業拡大のための課題や問題として「職員の確保」が6割以上で最も高くなっています。〈問 16・問 17〉

○サービス提供事業者として市に望むことは、「最新での確な情報の提供」が5割以上で最も高くなっています。〈問 19〉

*1 ケアプランデータ連携システム:介護職の事務負担の軽減やサービスの質の向上につなげるため、ケアプランやサービス利用票をオンライン化するシステム。国が整備を進め、令和 5(2023)年 4 月より本格稼働

I 調査の概要

1 目的

本調査は、渋川市高齢者福祉計画（老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画）を策定するための検討資料として、高齢者等に対してアンケート調査を実施し、主として調査対象者の現状等を把握することを目的としています。

2 対象者

調査区分	調査対象者	調査対象者数
在宅介護実態調査	主に在宅で要介護認定を受けている人	1,000人
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市内の65歳以上の一般高齢者・要支援認定者（無作為抽出）	3,000人
介護保険に関するアンケート調査（事業所調査）	市内の介護サービス事業所等	194件

3 実施方法

- 調査地域：市内全域
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：令和5年2月7日～2月28日

4 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
在宅介護実態調査	1,000件	527件	52.7%
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000件	1,920件	64.0%
介護保険に関するアンケート調査（事業所調査）	194件	137件	70.6%
合計	4,194件	2,584件	61.6%

5 調査結果を見る際の留意点

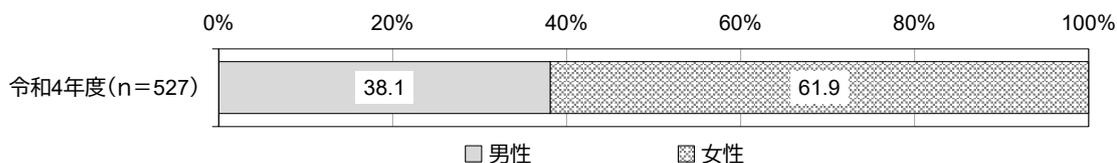
- 各設問に対する回答者数を n で表記しています。
- 数値は、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 と表記しています。そのため、表示された値の合計は 100.0% にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、項目ごとの比率を示しています。そのため、表示された値の合計は 100.0% にならない場合があります。
- 図表中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。
- 本文及び図表中で「令和 4 年度」は本調査を指します。また、経年比較を行っている場合、「令和元年度」「前回調査」は令和元年度調査、「平成 28 年度」「前々回調査」は平成 28 年度調査を表しており、本文中では「前回」「前々回」又は「過去 2 回」としています。

I 調査の概要

Ⅱ 調査結果 在宅介護実態調査

①回答者の性別

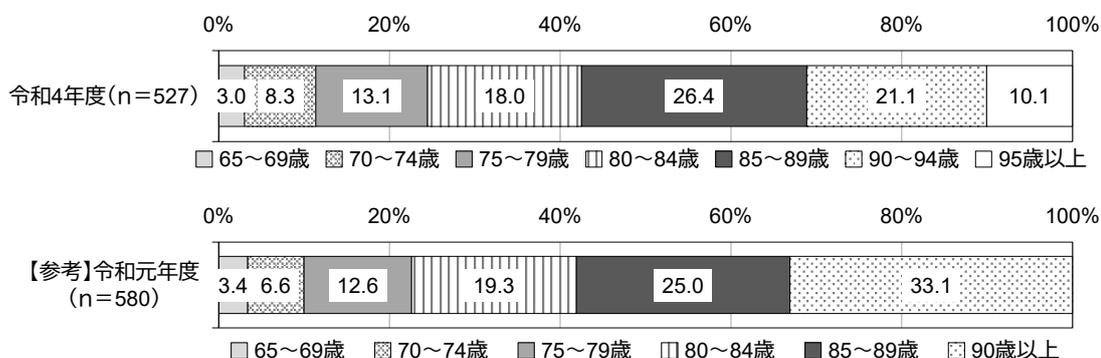
「男性」が38.1%、「女性」が61.9%となっています。



②回答者の年齢

「85～89歳」が26.4%、「90～94歳」が21.1%と2割を超え、次いで「80～84歳」が18.0%となっています。

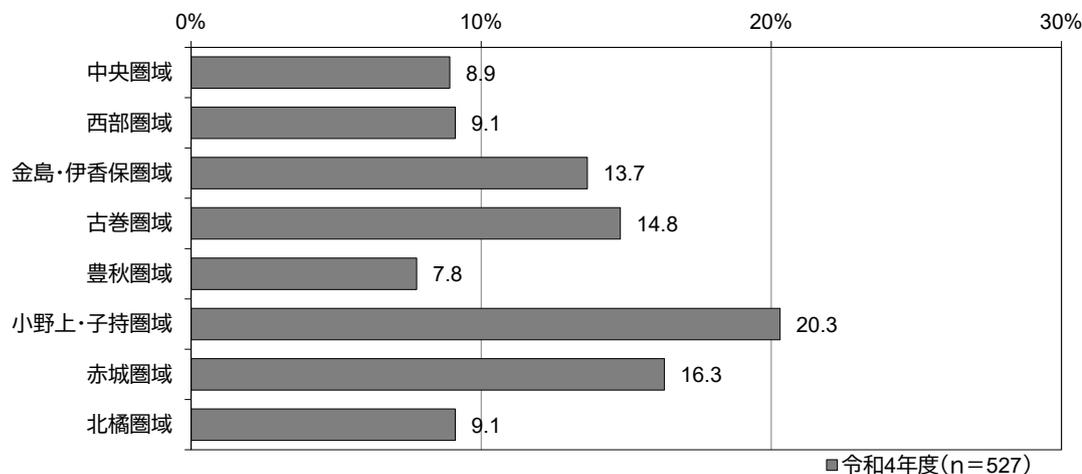
「80～84歳」「85～89歳」「90～94歳」「95歳以上」の合計値『80歳以上』が75.6%となっていて、全体の4分の3を占めています。



※令和元年度は「95歳以上」は「90歳以上」に合算

③回答者の居住地域（日常生活圏域）

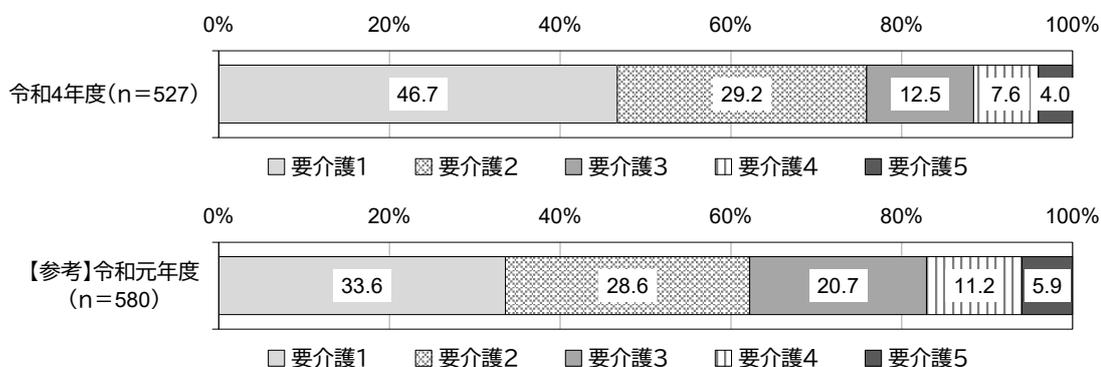
「小野上・子持圏域」が20.3%で最も高く、次いで「赤城圏域」が16.3%、「古巻圏域」が14.8%、「金島・伊香保圏域」が13.7%と続いています。



④回答者の要介護度

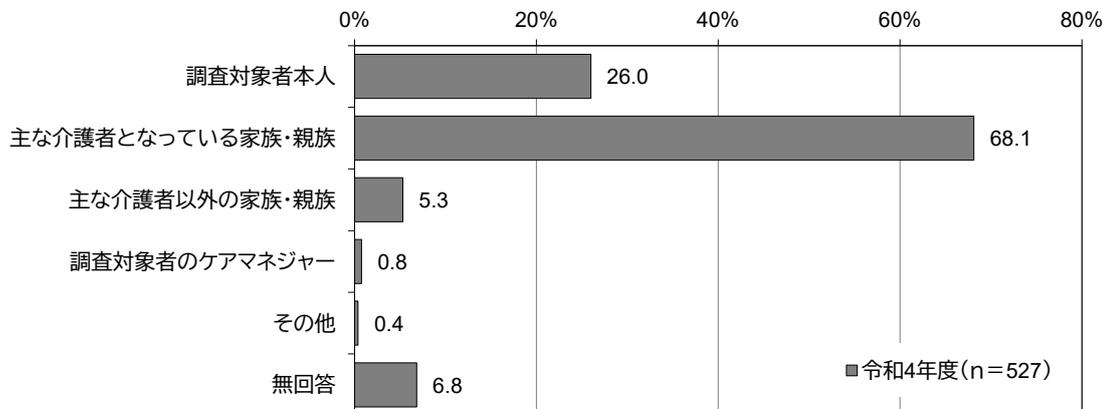
「要介護1」が46.7%で最も高く、次いで「要介護2」が29.2%となっています。

「要介護1」「要介護2」の合計値『要介護1・2』は75.9%となっていて、全体の4分の3を占めています。



⑤A票*にご回答をいただいているのは、どなたですか（複数回答可）

「主な介護者となっている家族・親族」が68.1%で最も高く、次いで「調査対象者本人」が26.0%となっています。

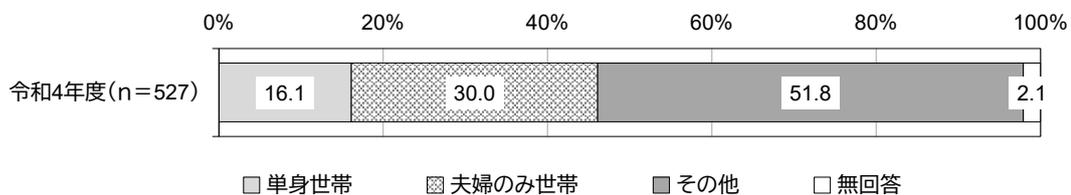


* 「A票 調査対象者ご本人などにご回答、ご記入いただく項目」と冒頭に表示した調査票

A票 調査対象者ご本人などにご回答、ご記入いただく項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

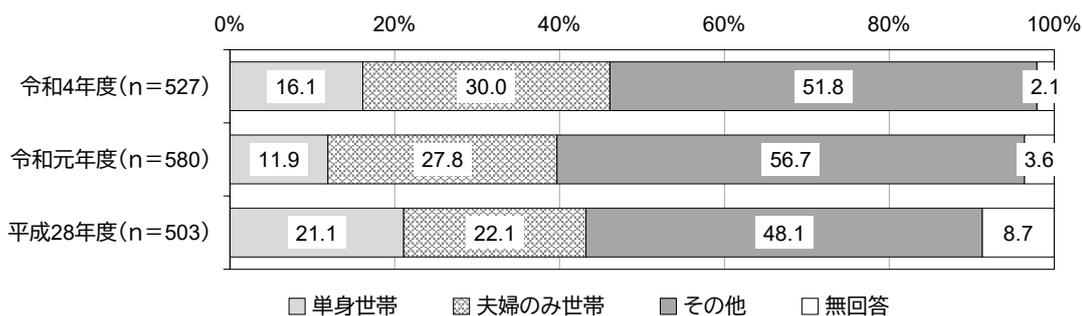
「単身世帯」が16.1%、「夫婦のみ世帯」が30.0%、「その他」が51.8%となっています。



※「その他」の内容は回答を求めているため不明

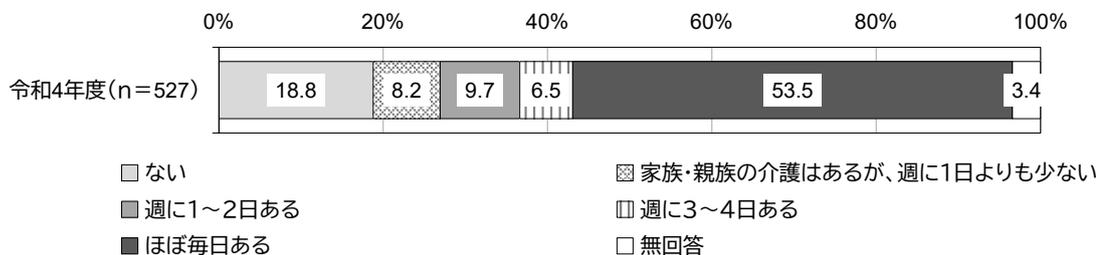
【経年比較】

過去2回の調査と比較すると、「夫婦のみ世帯」は前々回調査より7.9ポイント高く、増加傾向にあります。



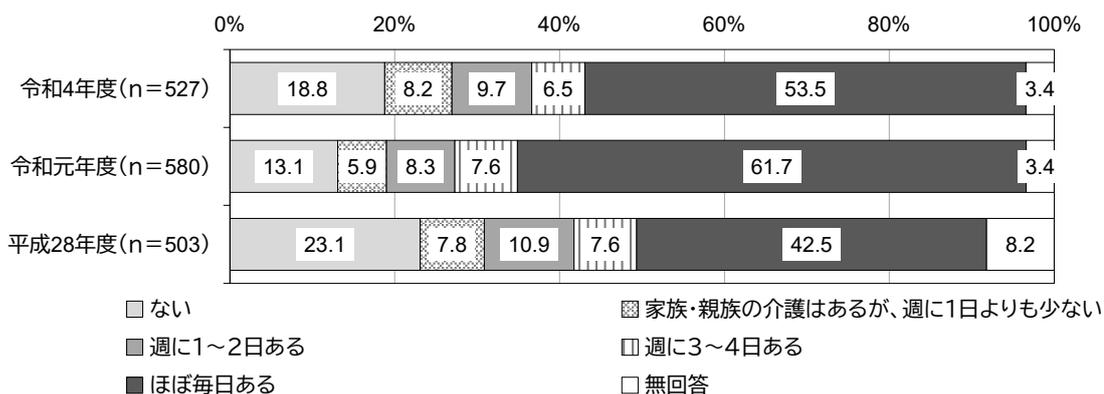
**問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)**

「ほぼ毎日ある」が53.5%で最も高く、次いで「ない」が18.8%となっています。



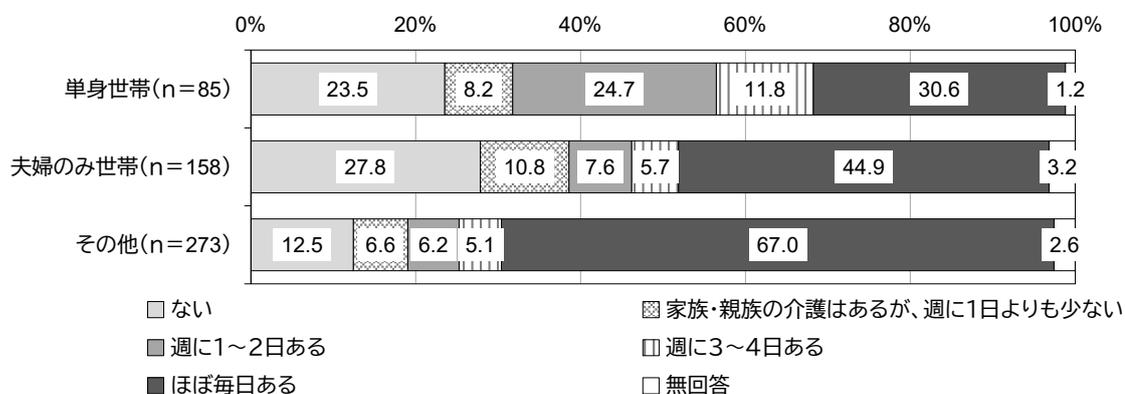
【経年比較】

過去2回の調査と比較すると、最も高い「ほぼ毎日ある」は前回調査より8.2ポイント低く、一方で「ない」は前回調査より5.7ポイント高くなっています。



【世帯類型別】

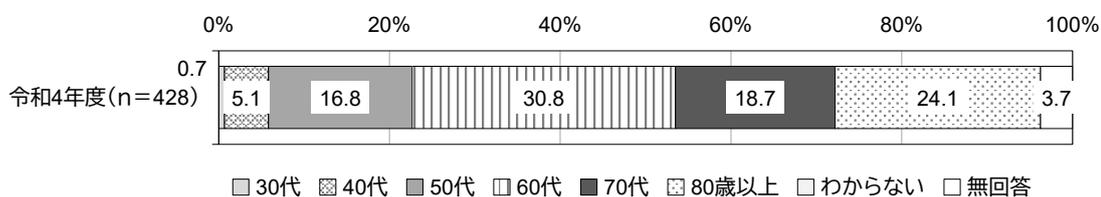
単身世帯では「週に1～2日ある」が24.7%、夫婦のみ世帯では「ない」が27.8%で、他の世帯類型より高くなっています。



問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「ほぼ毎日ある」のいずれかを回答した場合

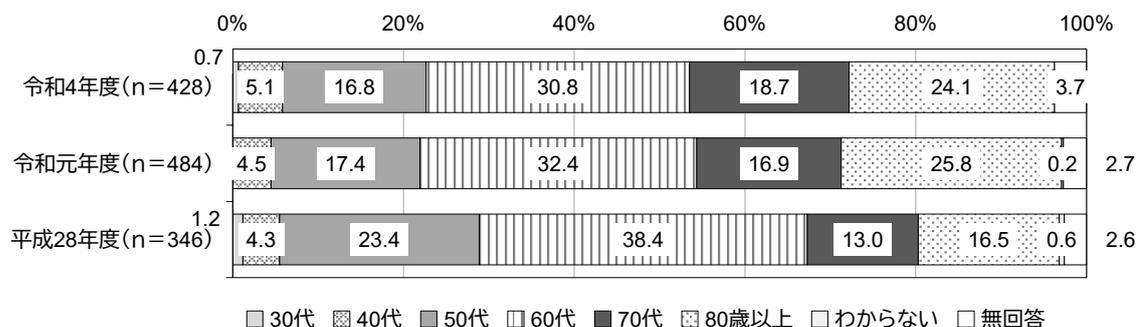
「60代」が30.8%で最も高く、次いで「80歳以上」が24.1%となっています。



※「20歳未満」「20代」は該当がないため非表示。「わからない」は本調査では該当がないが、経年比較のため凡例のみ表示

【経年比較】

過去2回の調査と比較すると、前回調査から大きな変化は見られませんが、前々回調査より「60代」は7.6ポイント低く、「80歳以上」は7.6ポイント高くなっています。



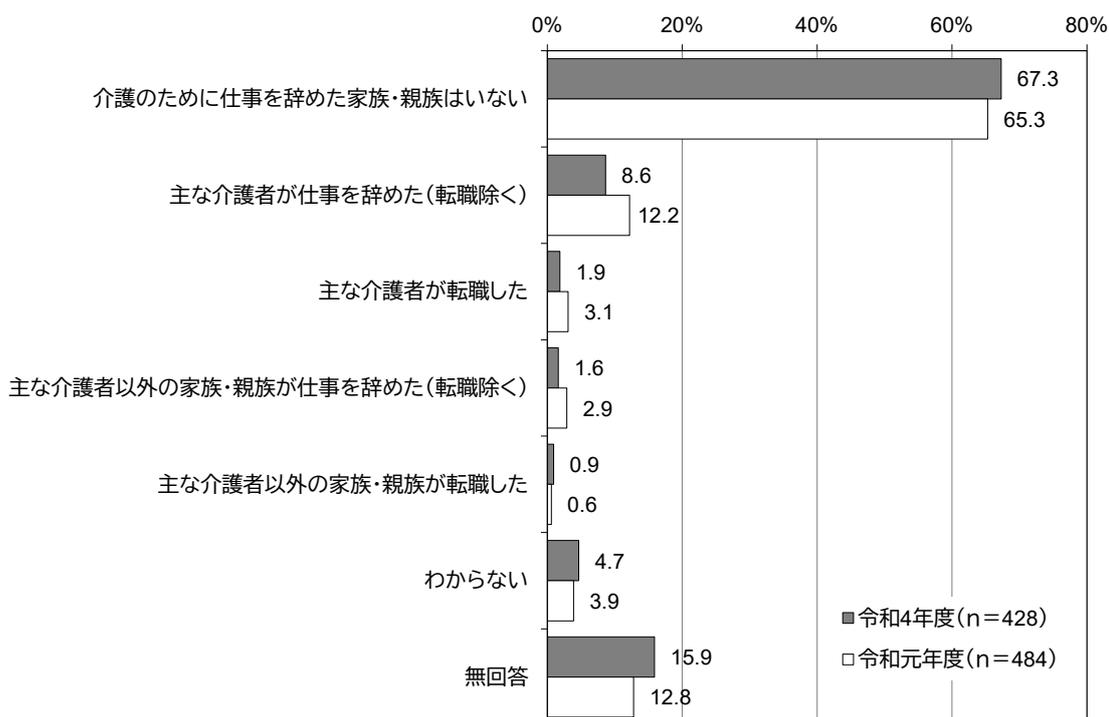
※「20歳未満」「20代」はいずれの年度も該当がないため非表示

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」～「ほぼ毎日ある」のいずれかを回答した場合

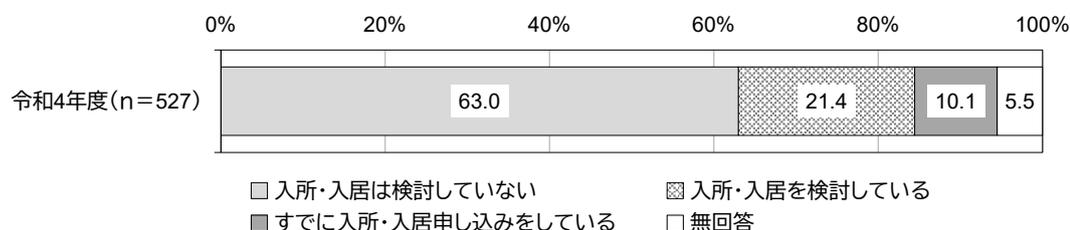
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が67.3%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、主な介護者が仕事を辞めたり、転職したりしている割合は低くなっています。



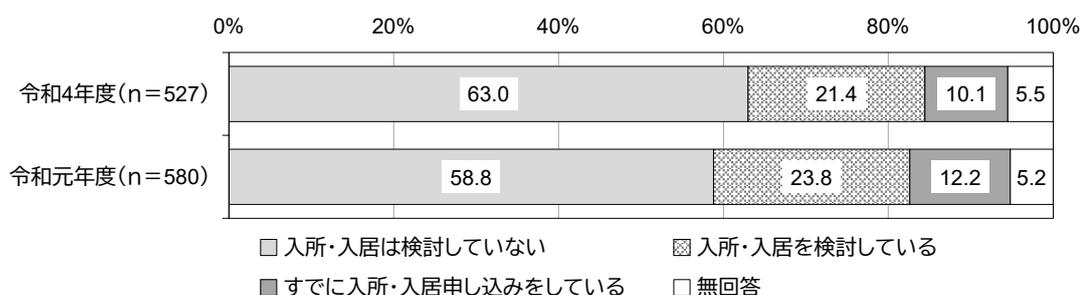
**問5 現時点での、施設等*への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)**

「入所・入居は検討していない」が63.0%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が21.4%となっています。



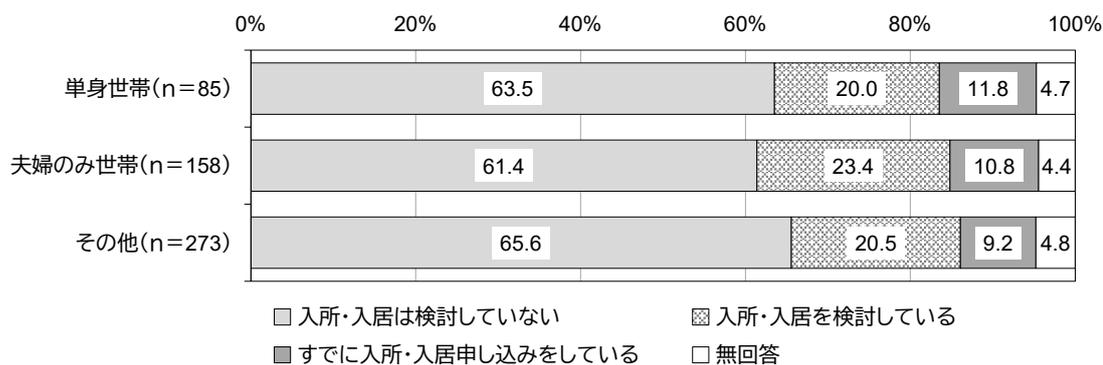
【経年比較】

前回調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」は高く、「入所・入居を検討している」及び「すでに入所・入居申し込みをしている」は低くなっています。



【世帯類型別】

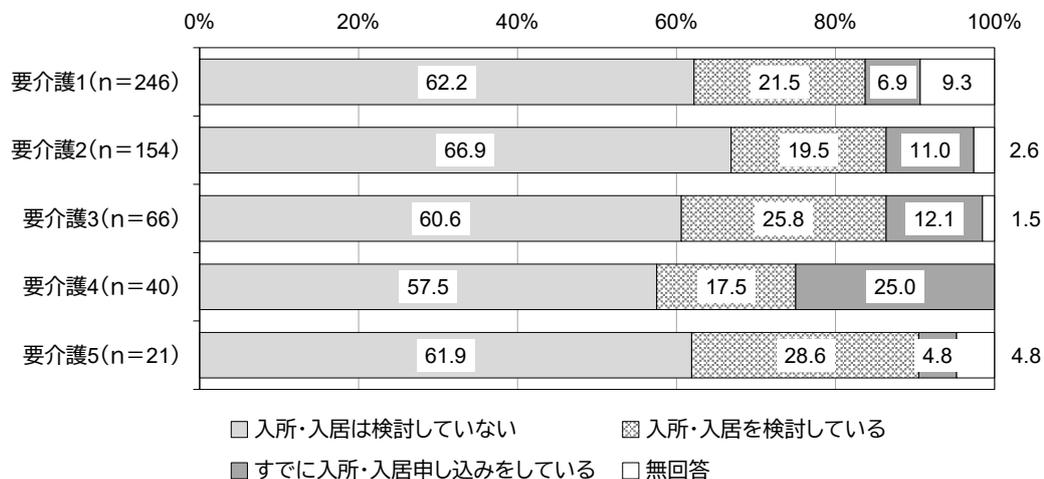
夫婦のみ世帯では「入所・入居を検討している」が他の世帯類型より高くなっています。



*施設等：特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホーム

【介護度別】

「入所・入居は検討していない」は要介護2、「入所・入居を検討している」は要介護5、「すでに入所・入居申し込みをしている」は要介護4がそれぞれ他の介護度より高くなっています。

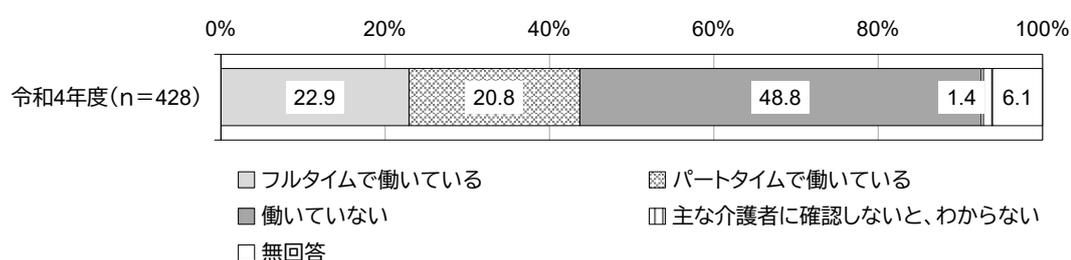


B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入いただく項目

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

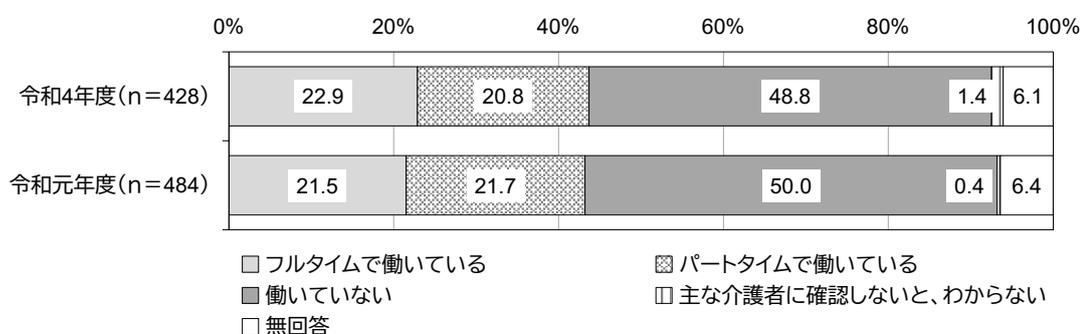
「働いていない」が48.8%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が22.9%、「パートタイムで働いている」が20.8%となっています。

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の合計値『働いている』は43.7%となっています。



【経年比較】

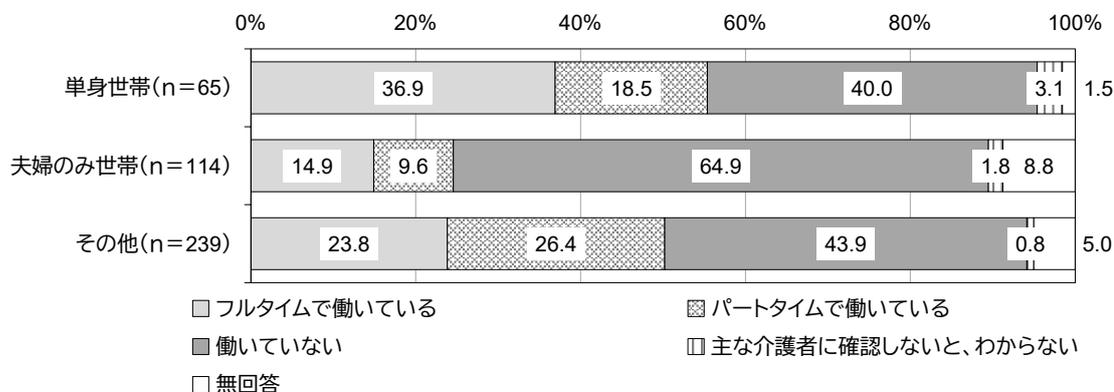
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「フルタイムで働いている」は1.4ポイント高く、「働いていない」は1.2ポイント低くなっています。



※B票は、A票の問2で「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「5. ほぼ毎日ある」のいずれかが選択された場合に、「主な介護者」に回答・記入を依頼。「主な介護者」の回答・記入が難しい場合は、本人（調査対象者）に回答・記入を依頼し、それが難しい場合は、「無回答で」としている

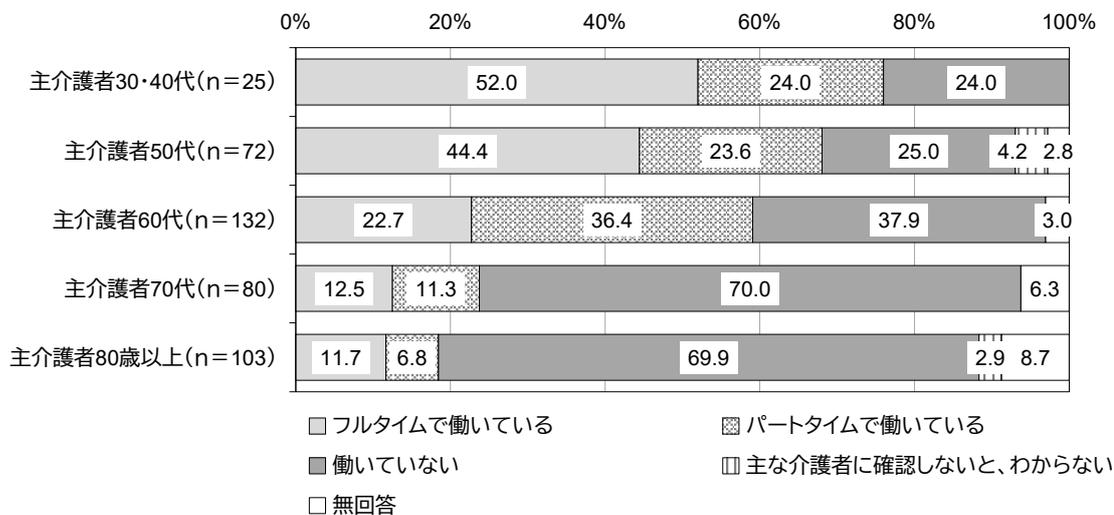
【世帯類型別】

単身世帯は「働いていない」が40.0%、「フルタイムで働いている」が36.9%と同程度に高く、夫婦のみ世帯は「働いていない」が64.9%で最も高くなっています。



【主な介護者の年代別】

主な介護者の年代別に見ると、50代以下は「フルタイムで働いている」、60代以上は「働いていない」が最も高く、合計値『働いている』は若い年代ほど高く、「働いていない」は高い年代ほど高くなっています。



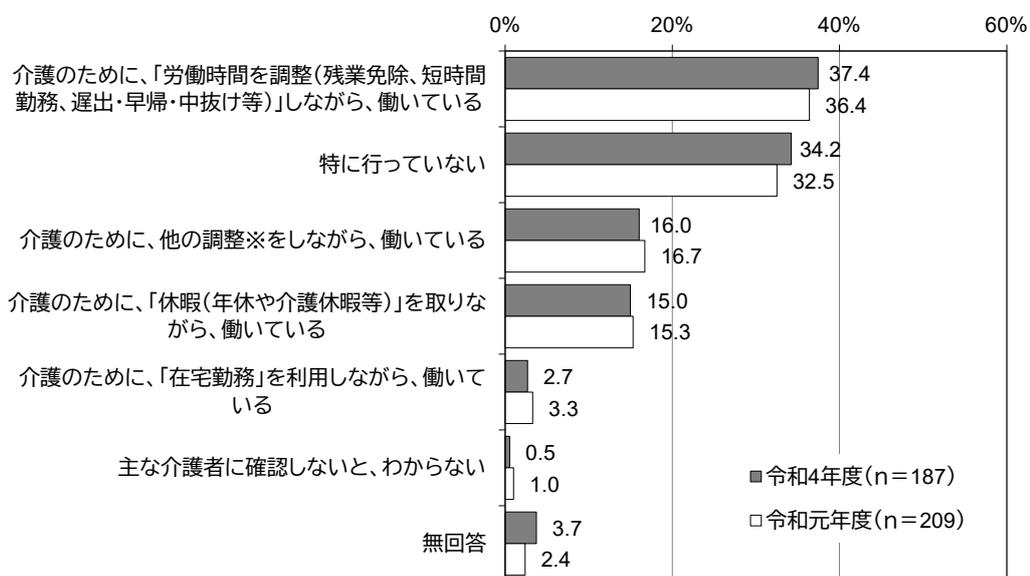
※主介護者 30代(n=3)は、主介護者 40代(n=22)と合わせて表示

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）

問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」のいずれかを回答した場合

「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が37.4%、「特に行っていない」が34.2%と同程度、次いで「介護のために他の調整※をしながら、働いている」が16.0%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が15.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「特に行っていない」が1.7ポイント高くなっています。



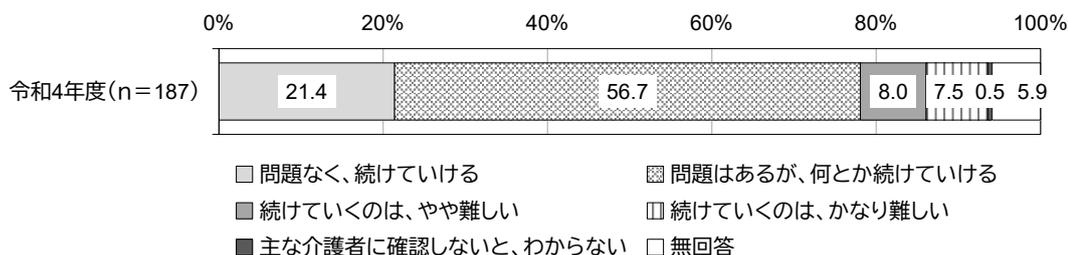
※調査票では「2～4以外の調整」と表示

問3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」のいずれかを回答した場合

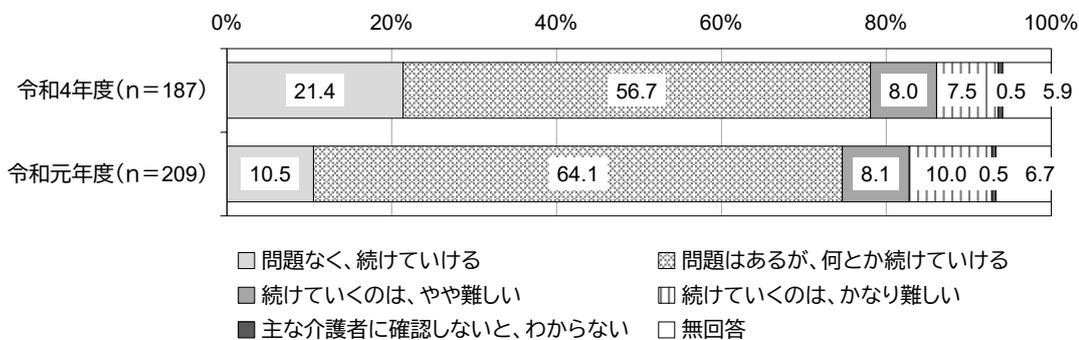
「問題はあるが、何とか続けていける」が56.7%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が21.4%となっています。

「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」の合計値『続けていける』は78.1%、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計値『続けていくのは難しい』は15.5%となっています。



【経年比較】

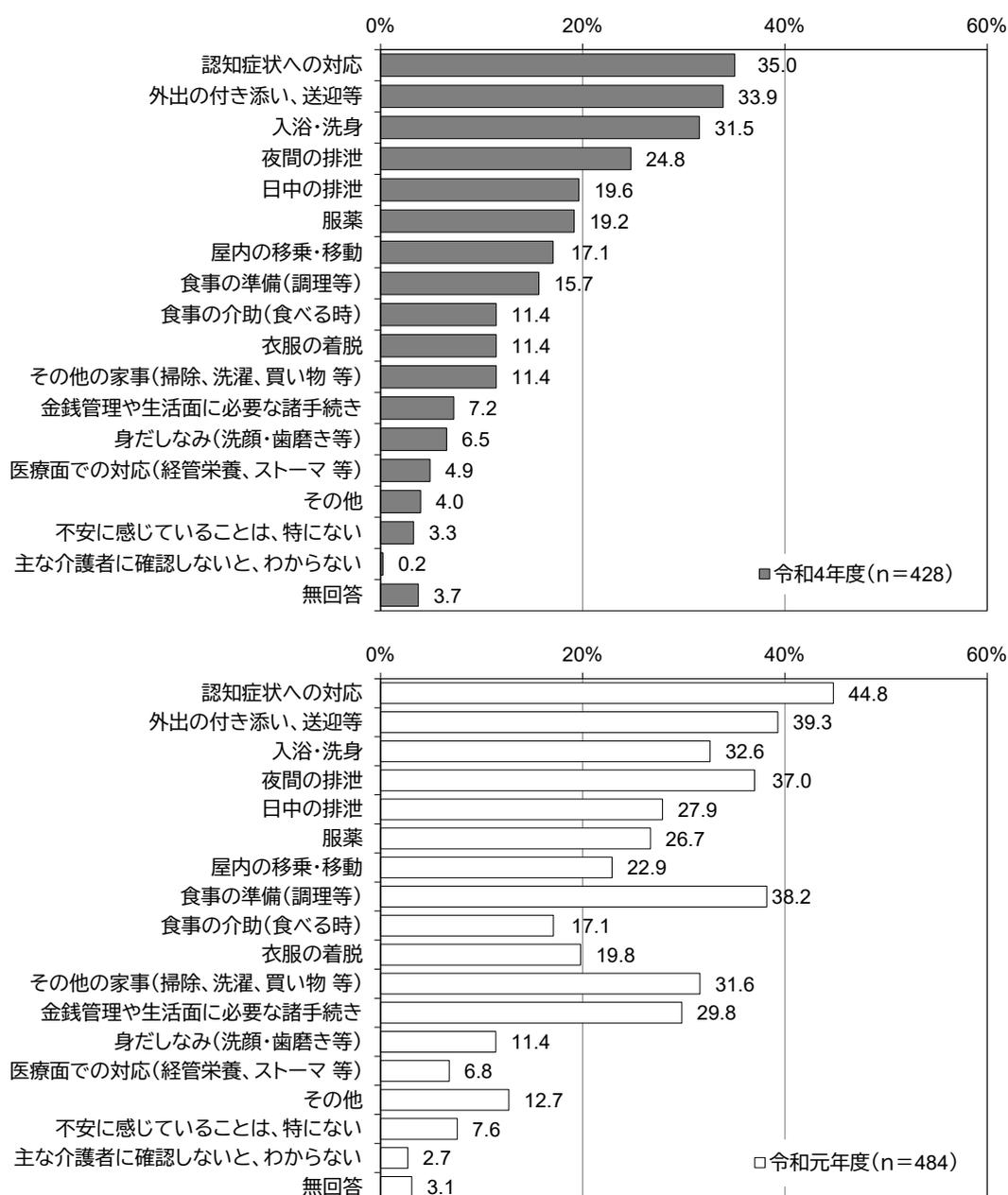
前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」は10.9ポイント高く、「問題はあるが、何とか続けていける」は7.4ポイント低くなっています。



問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

「認知症状への対応」が35.0%、「外出の付き添い、送迎等」が33.9%、「入浴・洗身」が31.5%と同程度に高く、次いで「夜間の排泄」が24.8%となっています。

前回調査とは集計方法※が異なるため参考として比較すると、前回調査でも「認知症への対応」が最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が高くなっています。

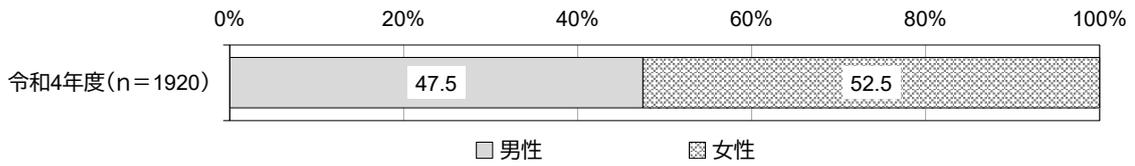


※前回は4つ以上選択した場合も全て集計していたため今回と差異が生じています

Ⅲ 調査結果 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査

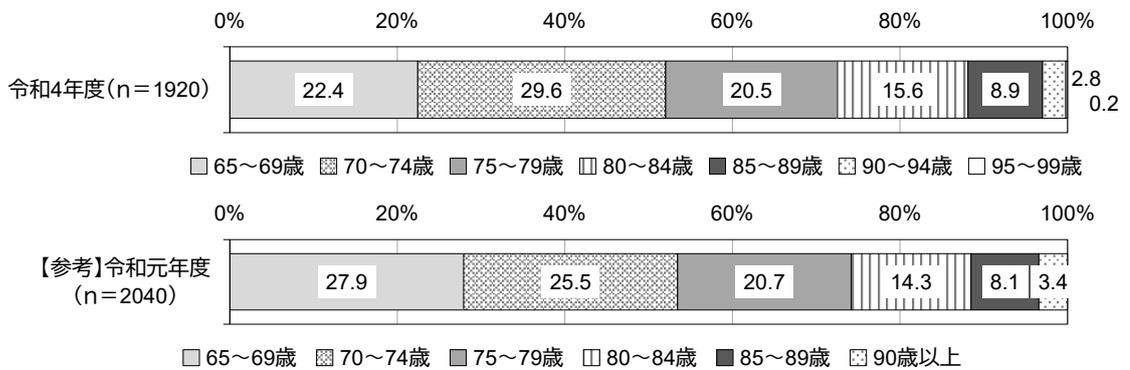
①回答者の性別

「女性」が52.5%、「男性」が47.5%となっています。



②回答者の年齢

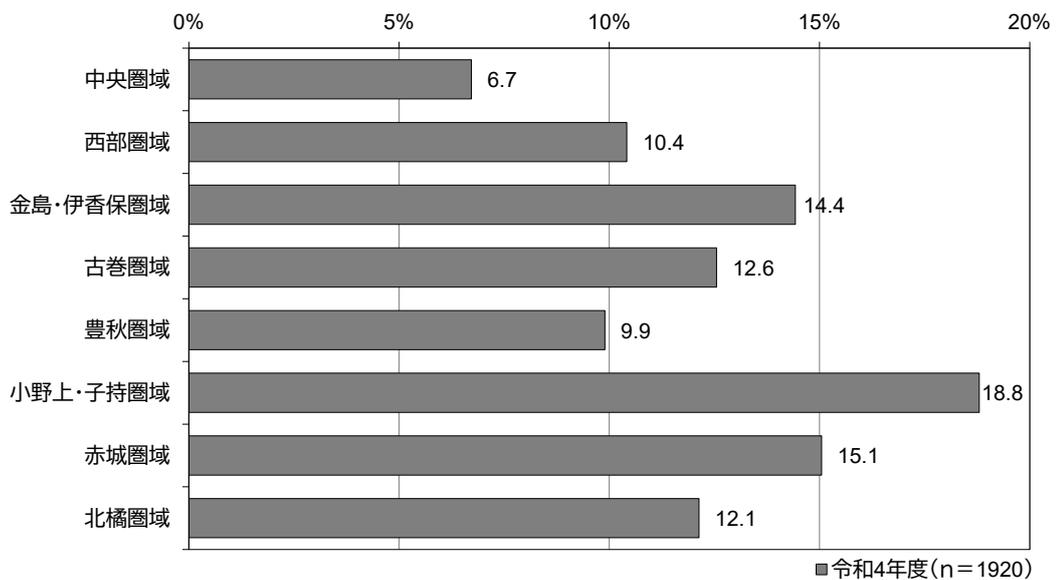
「70～74歳」が29.6%で最も高く、次いで「65～69歳」が22.4%、「75～79歳」が20.5%となっています。



※令和元年度は「95歳以上」は「90歳以上」に合算

③回答者の居住地域（圏域）

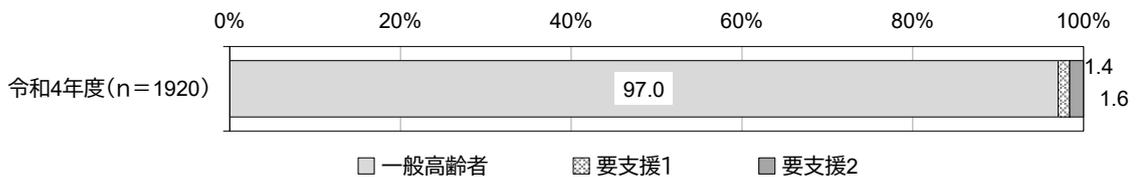
「小野上・子持圏域」が18.8%で最も高く、次いで「赤城圏域」が15.1%、「金島・伊香保圏域」が14.4%となっています。



※①～③は対象者データによる

④回答者の認定状況

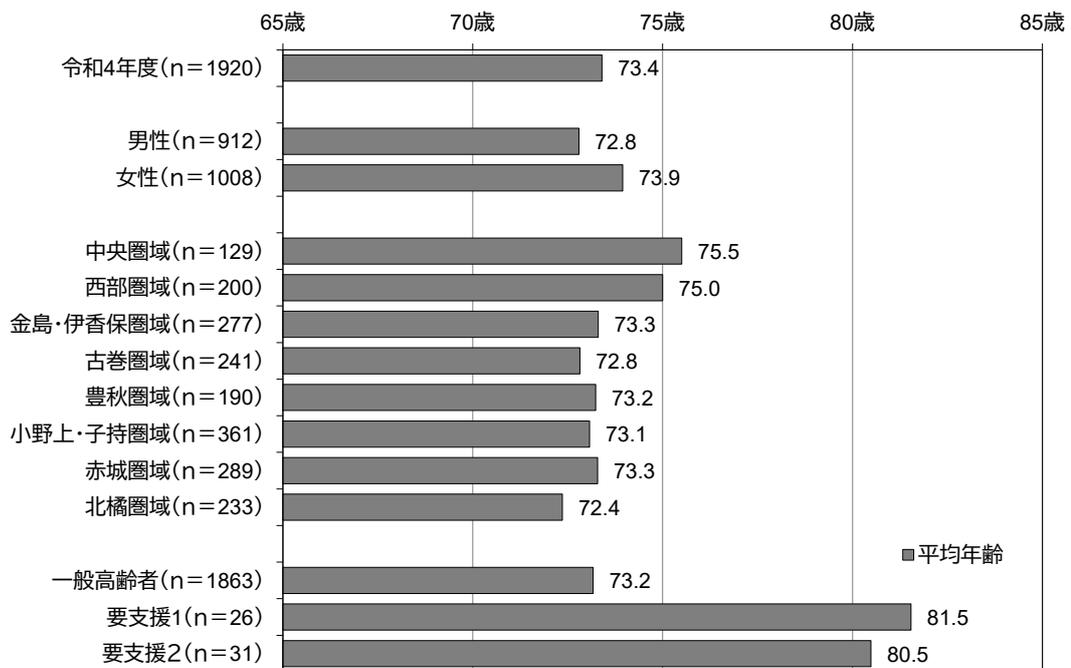
認定を受けていない「一般高齢者」が97.0%となっています。



【平均年齢（各属性）】

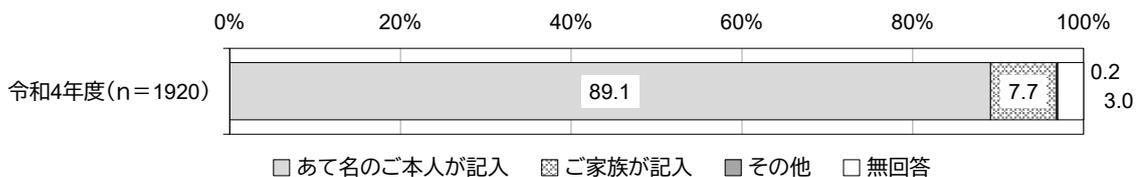
回答者全体の平均年齢は73.4歳となっています。

各属性で見ると、性別では、女性が男性より約1歳高くなっています。圏域別では、中央圏域、西部圏域が他の圏域より高く、北橘圏域が最も低くなっています。認定状況別では、要支援1、要支援2がいずれも80歳以上で、一般高齢者と差が見られます。



⑤調査票を記入されたのはどなたですか（1つを選択）

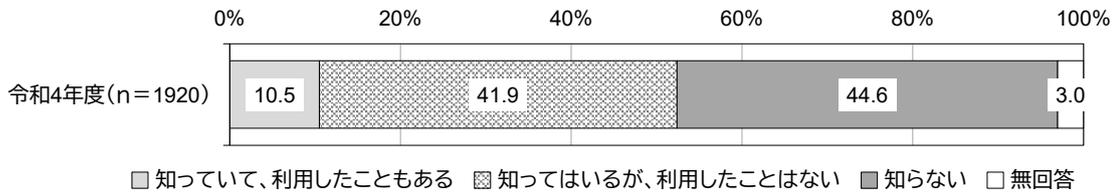
「あて名のご本人が記入」が89.1%、「ご家族が記入」が7.7%となっています。



⑥お住まいの地域の「地域包括支援センター」を知っていますか（1つを選択）

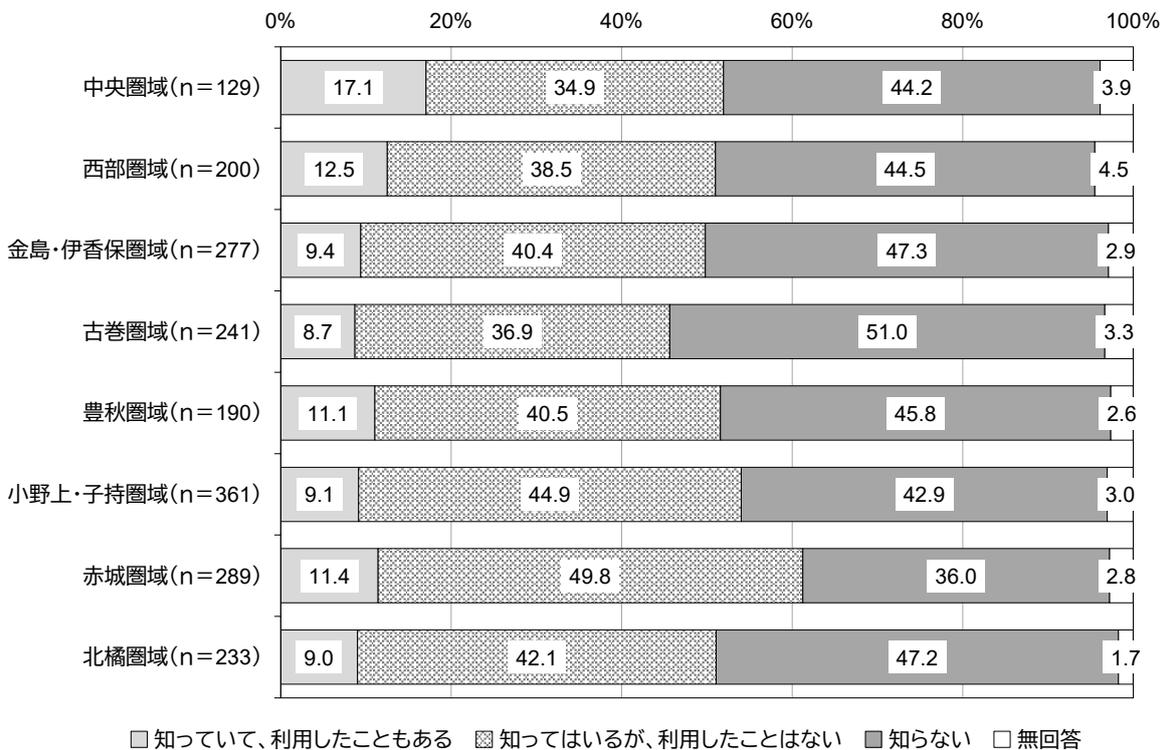
「知らない」が44.6%、「知っているが、利用したことはない」が41.9%、「知っている、利用したこともある」が10.5%となっています。

「知っている、利用したこともある」と「知っているが、利用したことはない」の合計値『知っている』は52.4%となっています。



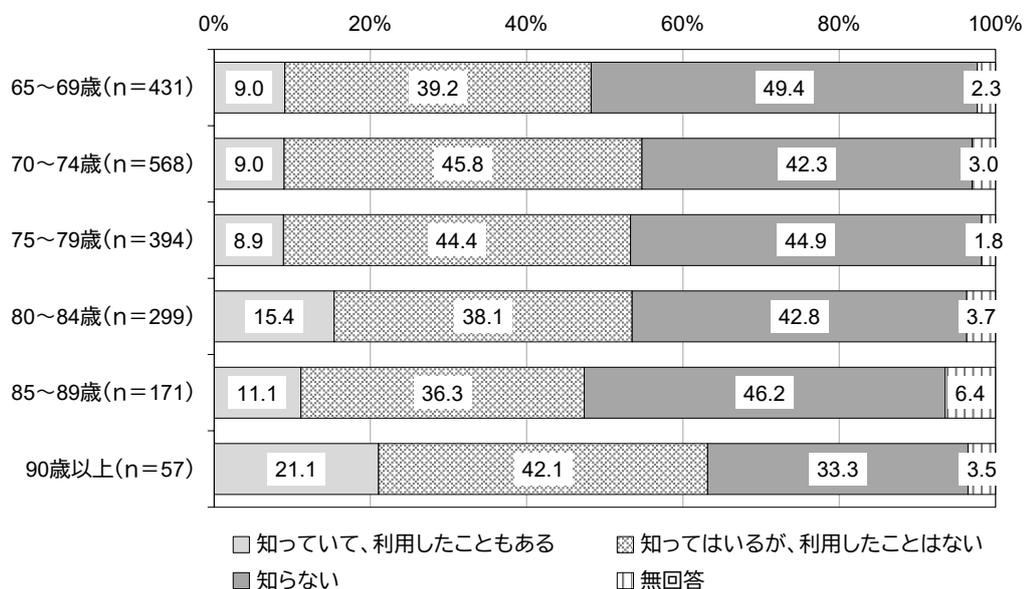
【圏域別】

圏域別でみると、「知っている、利用したこともある」が最も高いのは中央圏域で17.1%、「知っている、利用したこともある」と「知っているが、利用したことはない」の合計値『知っている』が最も高いのは赤城圏域で61.2%、「知らない」が最も高いのは古巻圏域で51.0%となっています。



【年代別】

「知っていて、利用したこともある」が最も高いのは90歳以上で21.1%、「知っているが、利用したことはない」が最も高いのは70～74歳で45.8%、「知らない」が最も高いのは65～69歳で49.4%となっています。

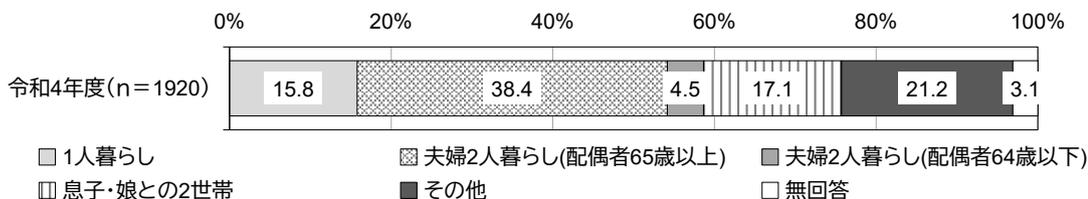


※95～99歳(n=4)は、90～94歳(n=53)と合わせて表示

1 あなたのご家族や生活状況について

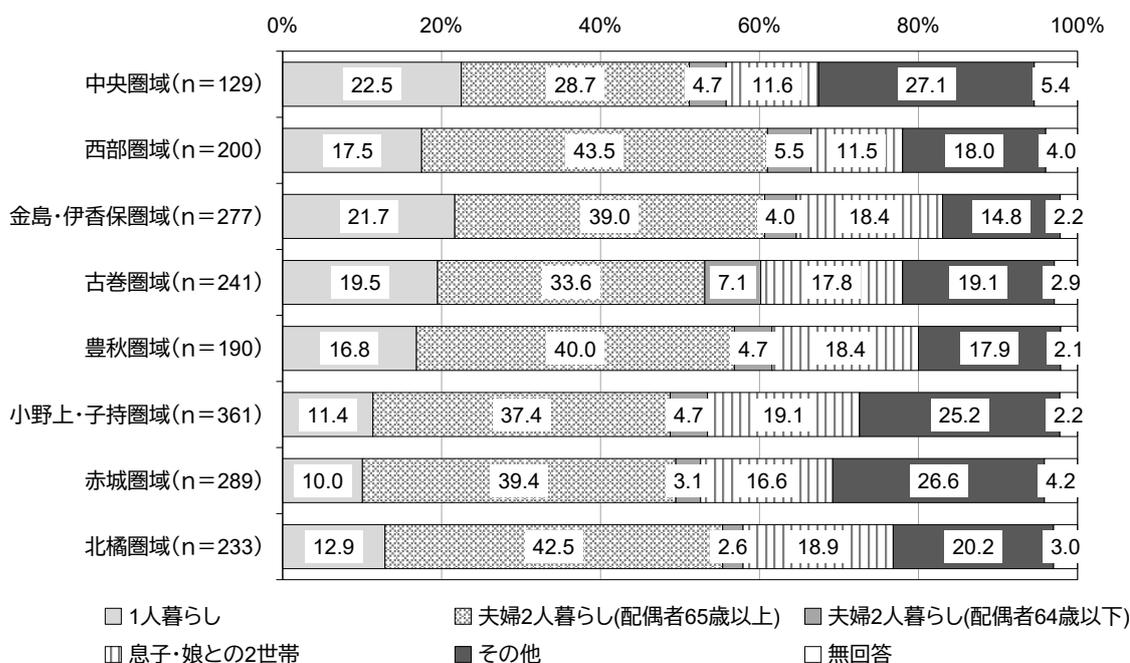
(1) 家族構成を教えてください（1つを選択）

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が38.4%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が17.1%、「1人暮らし」が15.8%となっています。



【圏域別】

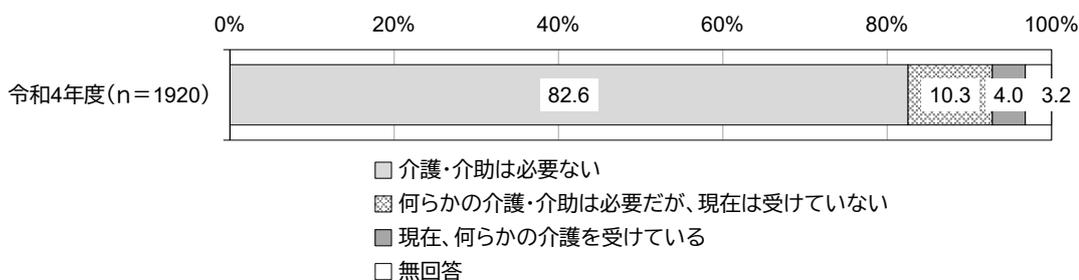
圏域別でみると、「1人暮らし」は中央圏域と金島・伊香保圏域が2割を超えています。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つを選択）

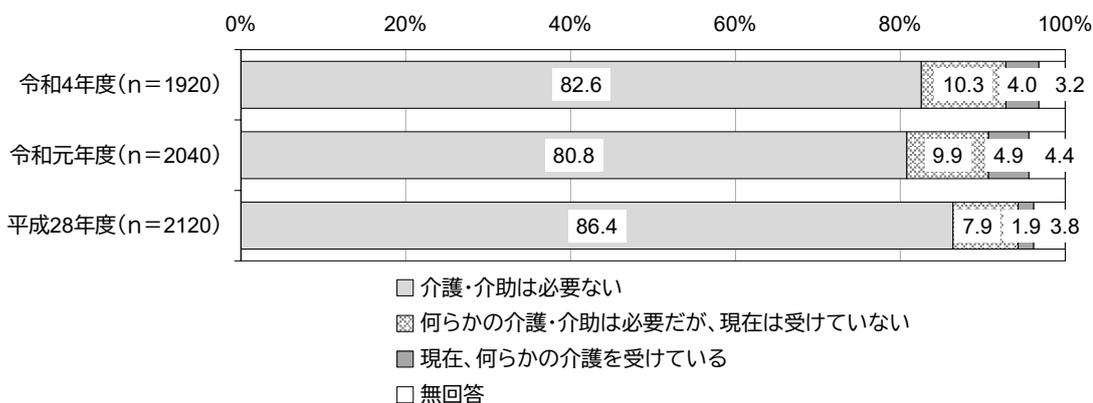
「介護・介助は必要ない」が82.6%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.3%となっています。

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」の合計値『介護・介助が必要』は14.3%となっています。



【経年比較】

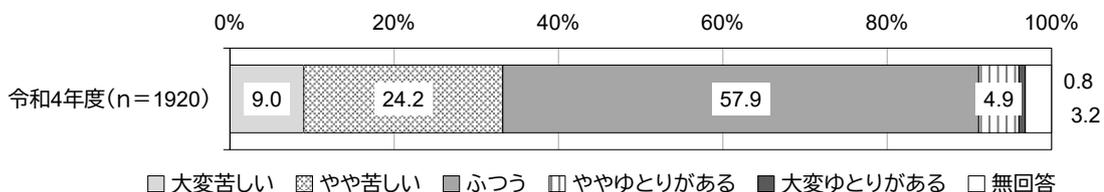
過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「介護・介助は必要ない」は前回調査より1.8ポイント高くなっています。



(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つを選択）

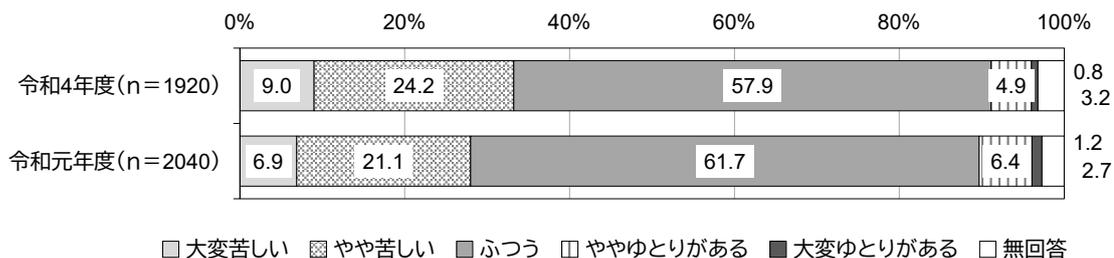
「ふつう」が57.9%で最も高く、次いで「やや苦しい」が24.2%となっています。

「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計値『ゆとりなし』は33.2%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計値『ゆとりあり』は5.7%となっています。



【経年比較】

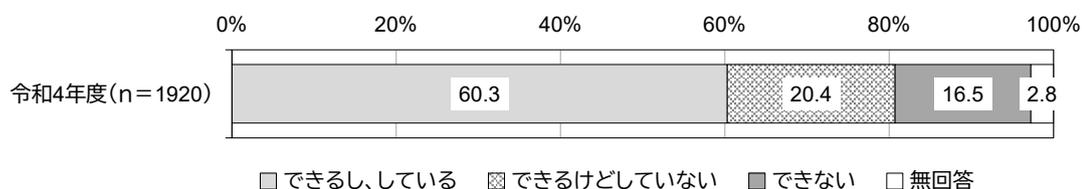
前回調査と比較すると、合計値『ゆとりなし』は前回調査（28.0%）より5.2ポイント高く、「ふつう」は前回調査（61.7%）より3.8ポイント低くなっています。合計値『ゆとりあり』は、大きな変化は見られませんが、前回調査（7.6%）より1.9ポイント低くなっています。



2 からだを動かすことについて

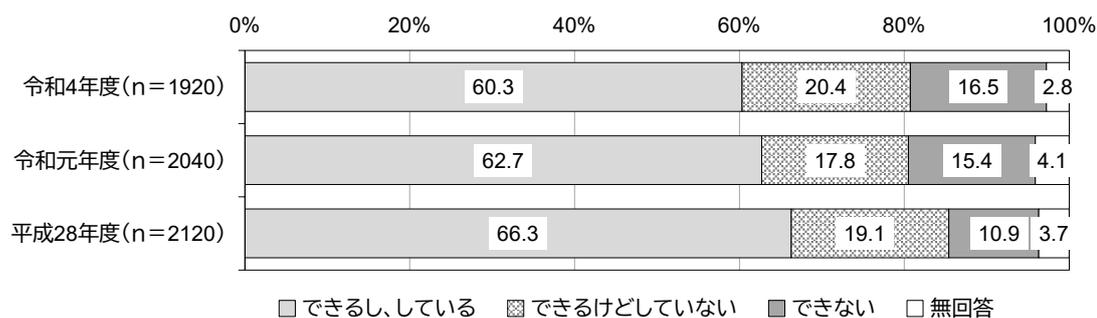
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つを選択）

「できるし、している」が60.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.4%となっています。



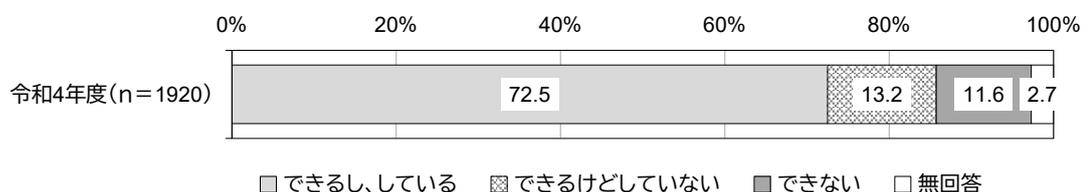
【経年比較】

過去2回の調査と比較すると、「できるし、している」は低くなる傾向が見られます。一方、「できない」は今回、前回調査とも前々回調査より高くなっています。



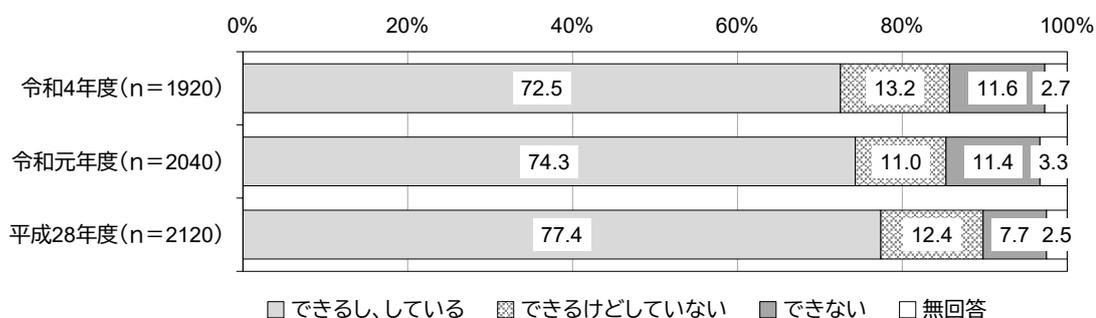
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つを選択)

「できるし、している」が72.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、となっています。



【経年比較】

過去2回の調査と比較すると、「できるし、している」は低くなる傾向が見られます。一方、「できない」は今回、前回調査とも前々回調査より高くなっています。



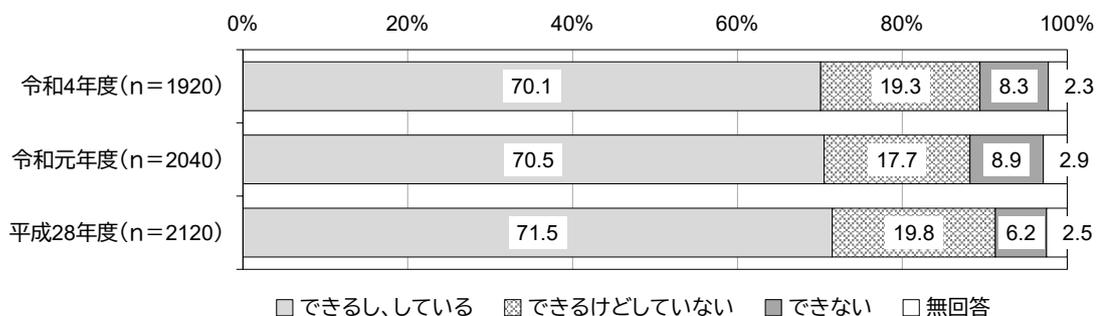
(3) 15分位続けて歩いていますか(1つを選択)

「できるし、している」が70.1%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.3%となっています。



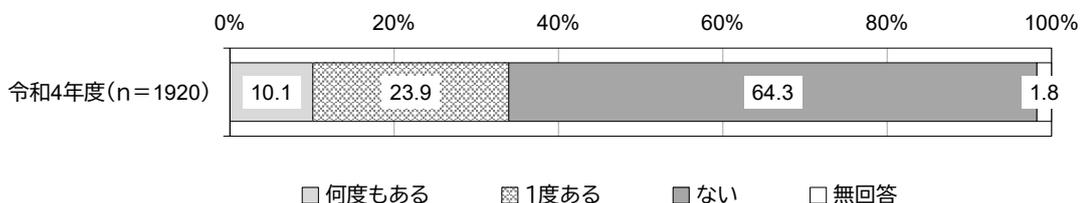
【経年比較】

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「できない」は今回、前回調査とも前々回調査より高くなっています。



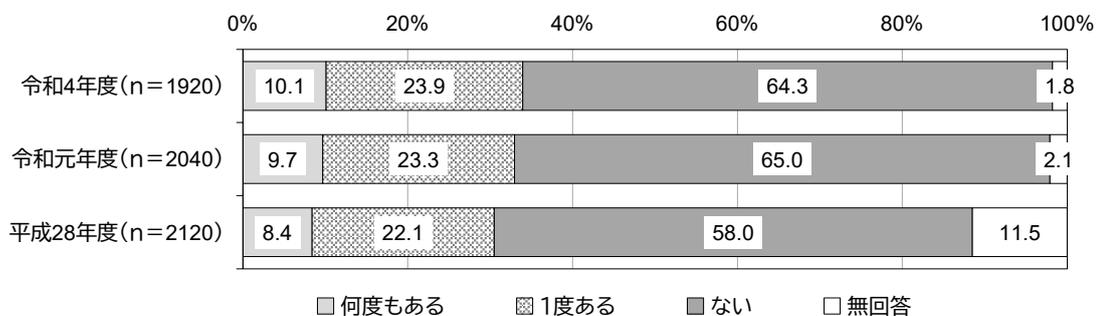
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(1つを選択)

「ない」が64.3%で最も高く、次いで「一度ある」が23.9%となっています。「何度もある」と「1度ある」の合計値『ある』は34.0%となっています。



【経年比較】

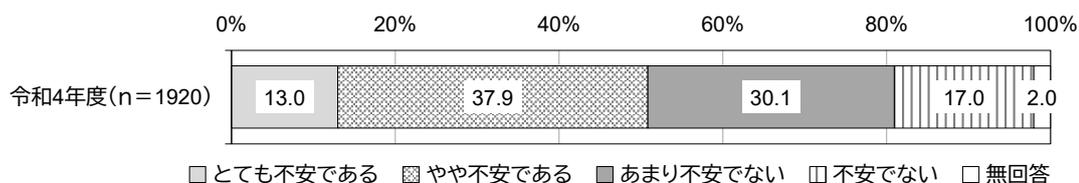
過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、合計値『ある』は高くなる傾向が見られます。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか（1つを選択）

「やや不安である」が37.9%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が30.1%となっています。

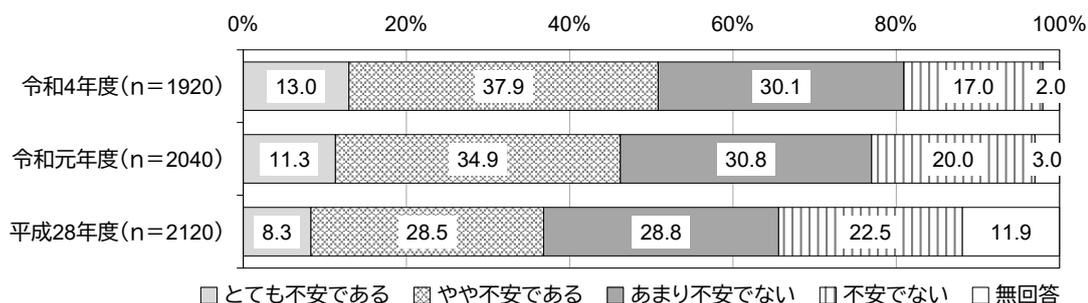
不安の有無でみると、「とても不安である」と「やや不安である」の合計値『不安あり』は50.9%、「あまり不安でない」と「不安でない」の合計値『不安なし』は47.1%となっていて、『不安あり』が『不安なし』より若干高くなっています。



【経年比較】

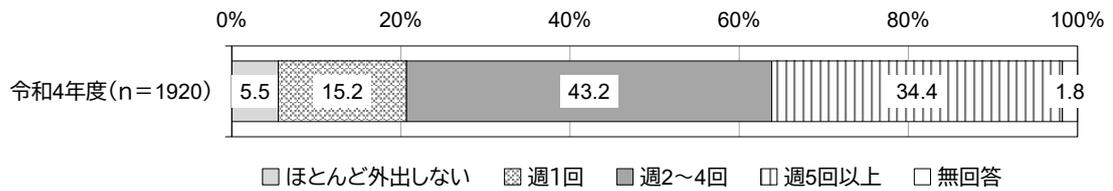
過去2回の調査と比較すると、合計値『不安あり』は高くなる傾向が見られます。

一方、合計値『不安なし』は低くなる傾向が見られます。



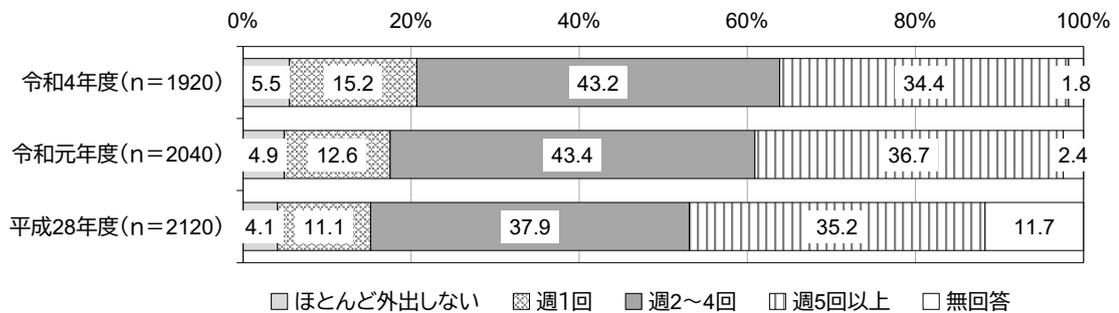
(6) 週に1回以上は外出していますか(1つを選択)

「週2～4回」が43.2%で最も高く、次いで「週5回以上」が34.4%となっています。



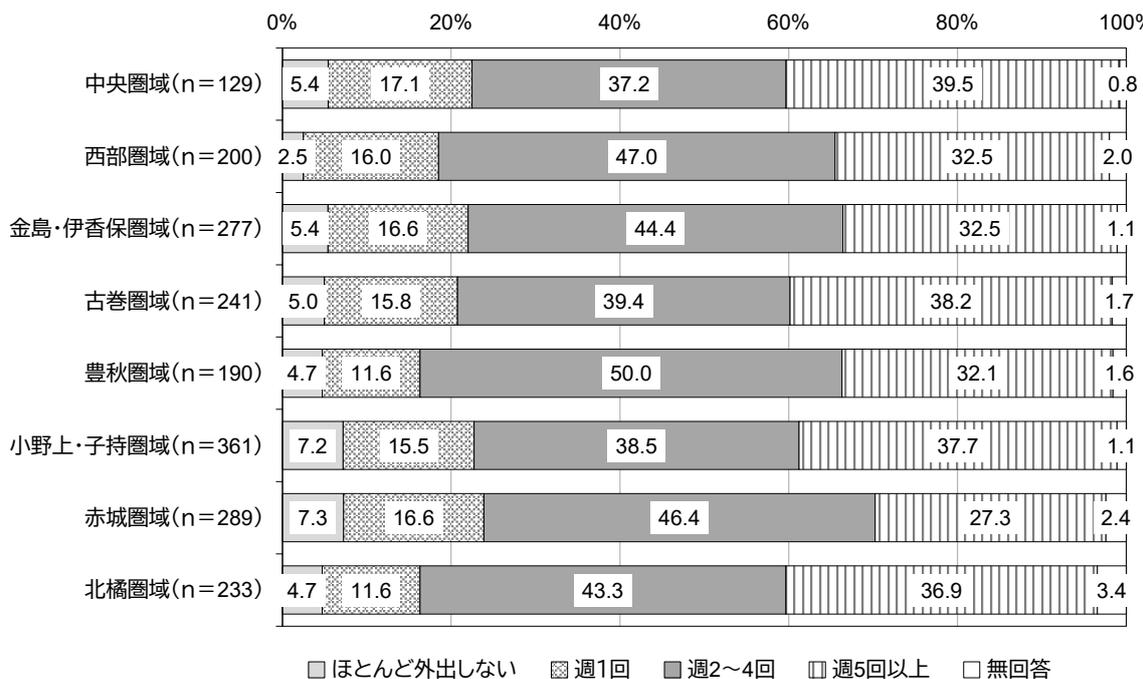
【経年比較】

過去2回の調査と比較すると、「週1回」は高くなる傾向が見られます。



【圏域別】

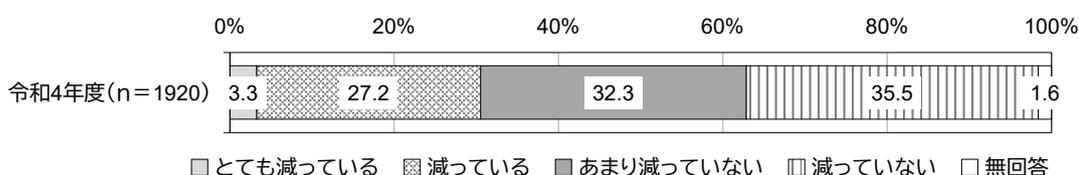
圏域別でみると、赤城圏域は「週5回以上」が27.3%で他の圏域より低くなっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つを選択）

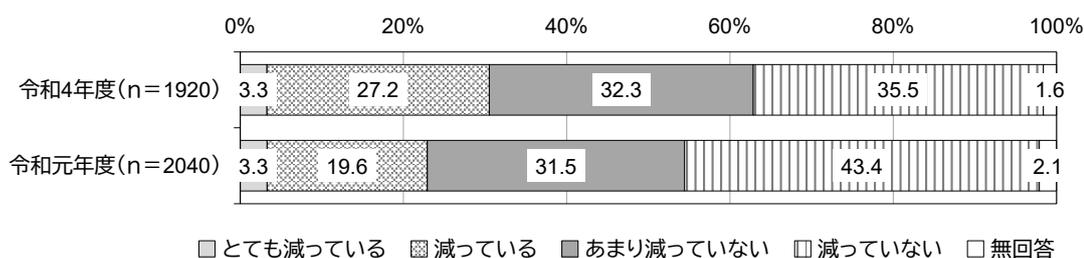
「減っていない」が35.5%、「あまり減っていない」が32.3%で同程度に高く、合計値『減っていない』は67.8%となっています。

一方、「とても減っている」と「減っている」の合計値『減っている』は30.5%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、合計値『減っていない』は前回調査（74.9%）より7.1ポイント低く、合計値『減っている』は前回調査（22.9%）より7.6ポイント高くなっています。

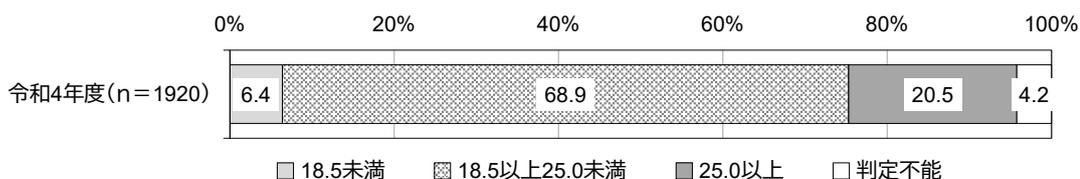


3 食べることについて

(1) 身長・体重（記述）

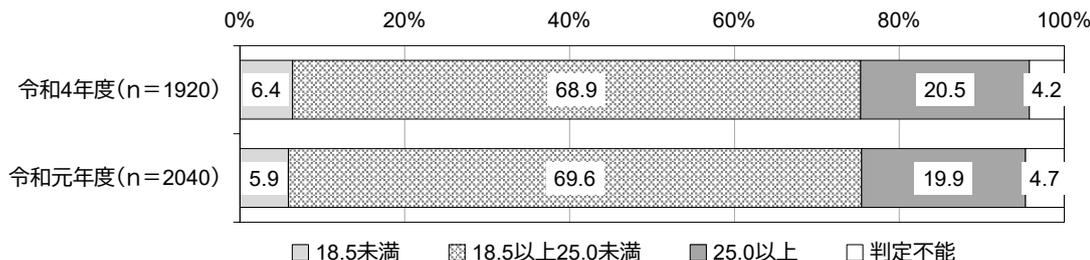
記述内容から BMI*1 を算出すると、「肥満」に当たる「25.0 以上」は 20.5%、フレイル*2 に対して特に注意が必要な「低体重」に当たる「18.5 未満」は 6.4% となっています。

なお、記述内容から算出した平均身長は 158.0cm（前回調査 157.2cm）、平均体重は 56.5kg（前回調査 56.6kg）、その BMI は 22.6（前回調査 22.9）となっています。



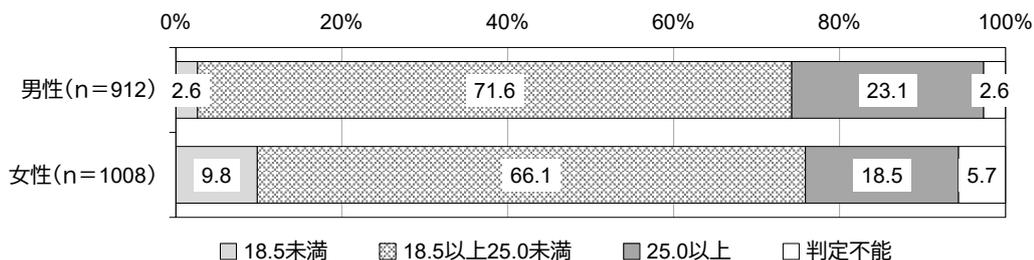
【経年比較】

前回調査と比較すると、「18.5 未満」は 0.5 ポイント増加、「18.5 以上 25.0 未満」は 0.7 ポイント減少、「25.0 以上」は 0.6 ポイント増加となっています。



【性別】

「肥満」に当たる「25.0 以上」は男性が 23.1%、フレイルに対して特に注意が必要な「低体重」に当たる「18.5 未満」は女性が 9.8% で比較的高くなっています。



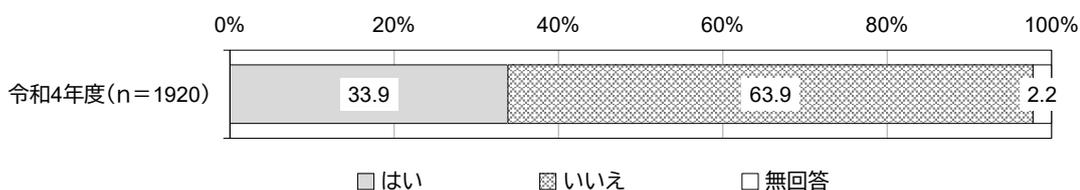
*1 BMI (Body Mass Index) : 肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数。計算式：BMI = [体重 (キログラム)] ÷ [身長 (メートル) の2乗]

BMI	肥満度判定 (日本肥満学会の定めた基準による)
18.5 未満	低体重 (やせ)
18.5 以上 25.0 未満	普通体重
25.0 以上	肥満

*2 フレイル：要介護状態に至る前段階として位置づけられ、身体的虚弱性のみならず精神・心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自律障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する（出典：「フレイル診療ガイド 2018 年版」(日本老年医学会/国立長寿研究センター)）

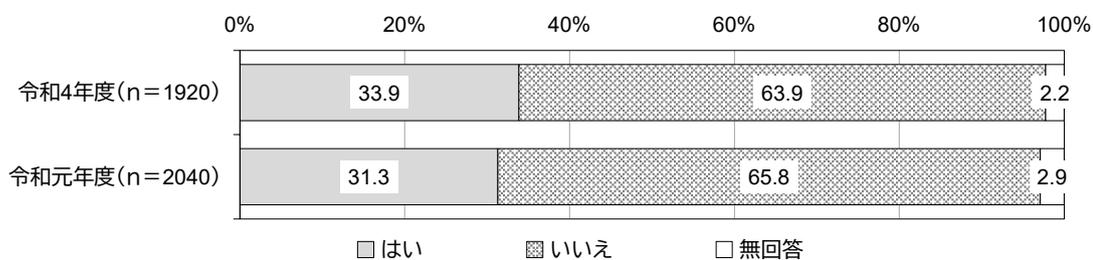
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (1つを選択)

「いいえ」が63.9%、「はい」が33.9%となっています。



【経年比較】

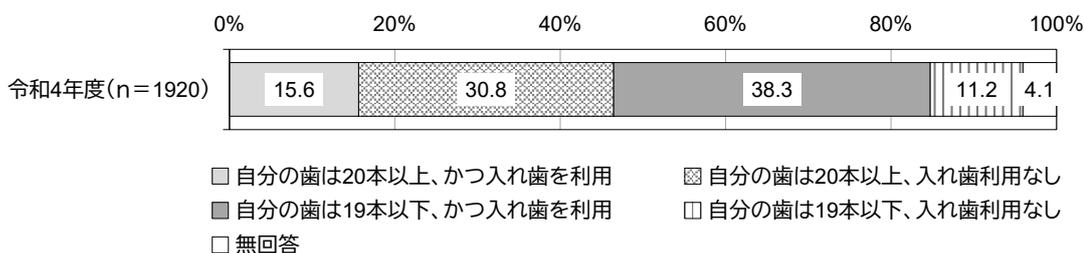
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「はい」は2.6ポイント高く、「いいえ」は1.9ポイント低くなっています。



(3) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください(1つに○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

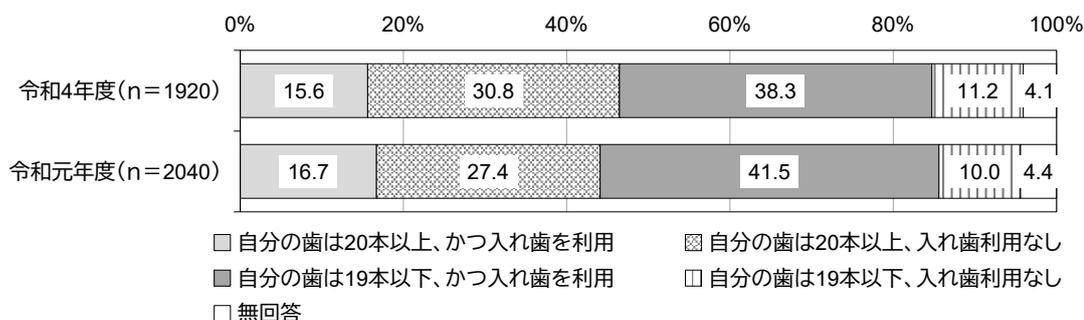
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.3%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯利用なし」が30.8%となっています。

「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の合計値『入れ歯を利用している』は53.9%となっています。また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、入れ歯利用なし」の合計値『自分の歯は20本以上』は46.4%となっています。



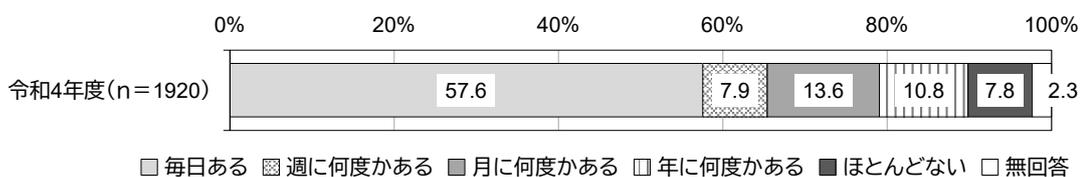
【経年比較】

前回調査と比較すると、合計値『入れ歯を利用している』は前回調査(58.2%)より4.3ポイント低くなっています。また、合計値『自分の歯は20本以上』は前回調査(44.1%)より2.3ポイント高くなっています。



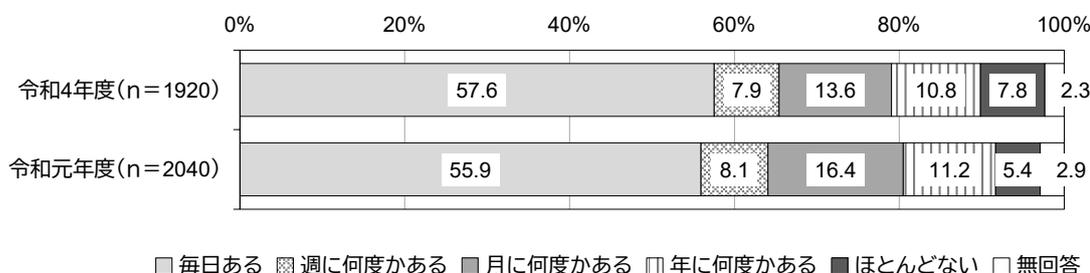
(4) どなたかと食事をとる機会がありますか (1つを選択)

「毎日ある」が57.6%で最も高く、「ほとんどない」が7.8%となっています。



【経年比較】

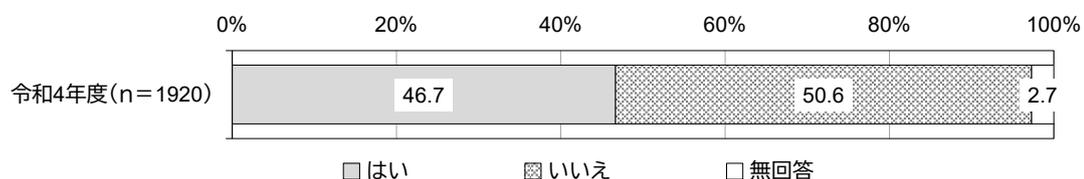
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「毎日ある」が1.7ポイント高い一方で、「ほとんどない」も2.4ポイント高くなっています。



4 毎日の生活について

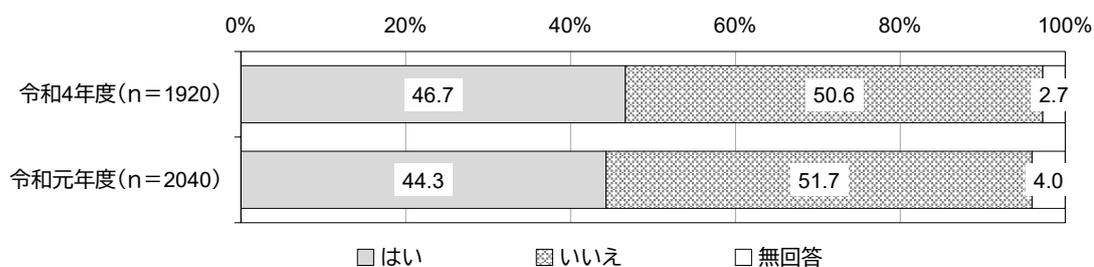
(1) 物忘れが多いと感じますか（1つを選択）

「はい」が46.7%、「いいえ」が50.6%となっています。



【経年比較】

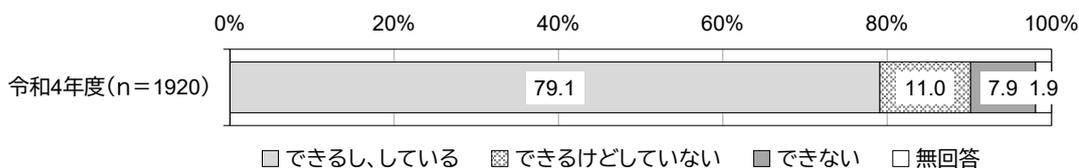
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「はい」は2.4ポイント高くなっています。



(2) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つに○）

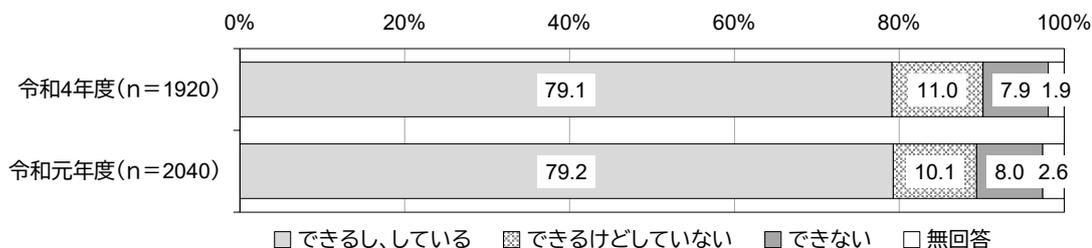
「できるし、している」が79.1%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.0%となっています。

「できるけどしていない」と「できない」の合計値『していない・できない』は18.9%となっています。



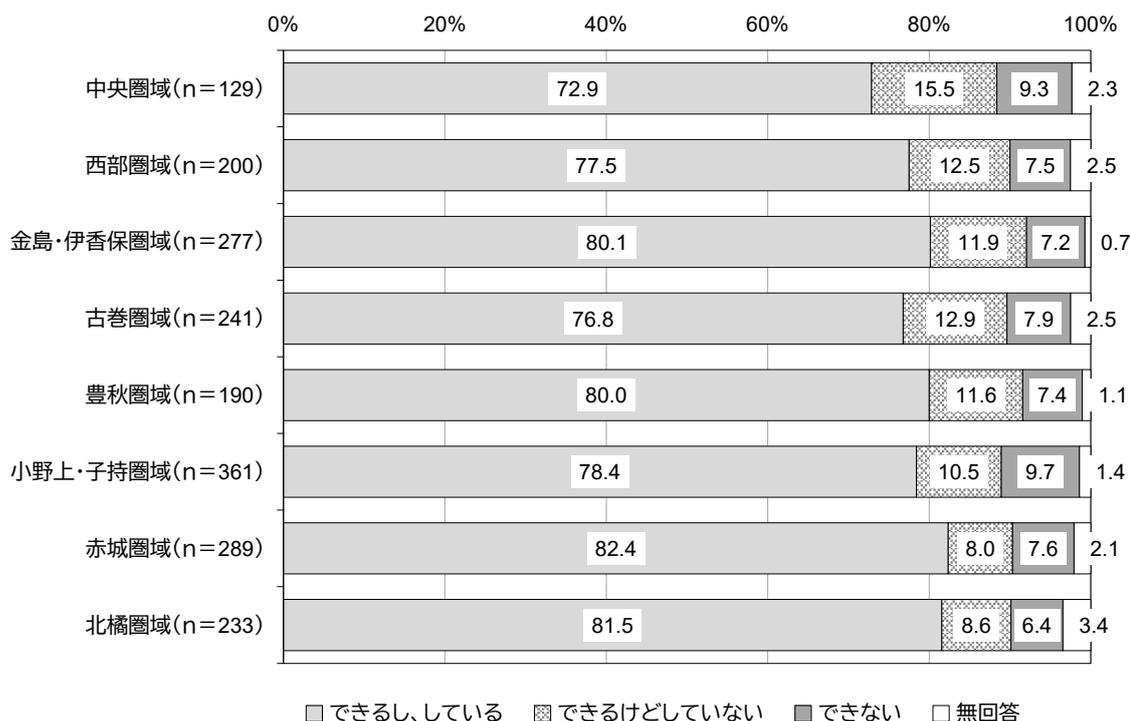
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【圏域別】

圏域別でみると、赤城圏域と北橘圏域以外の圏域では、「できるけどしていない」が1割を超えています。



(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つに○）

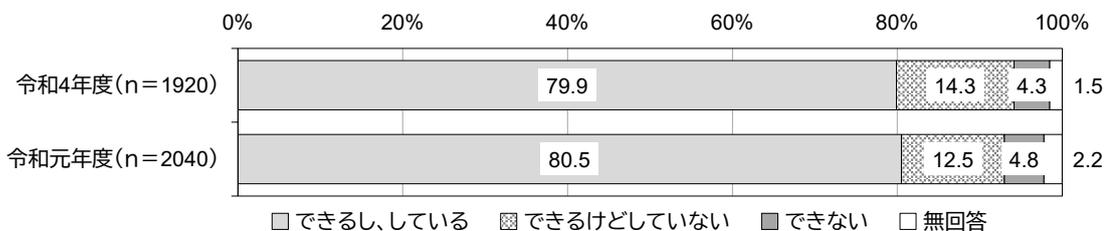
「できているし、している」が79.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.3%となっています。

「できるけどしていない」と「できない」の合計値『していない・できない』は18.6%となっています。



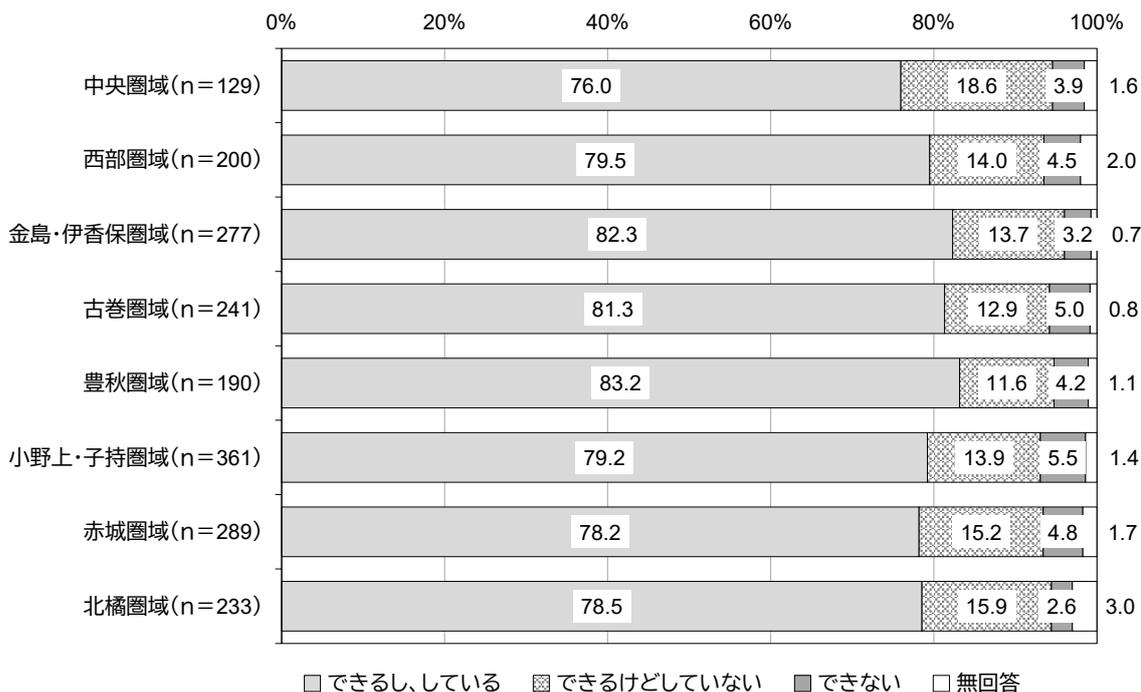
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「できるけどしていない」は1.8ポイント高くなっています。



【圏域別】

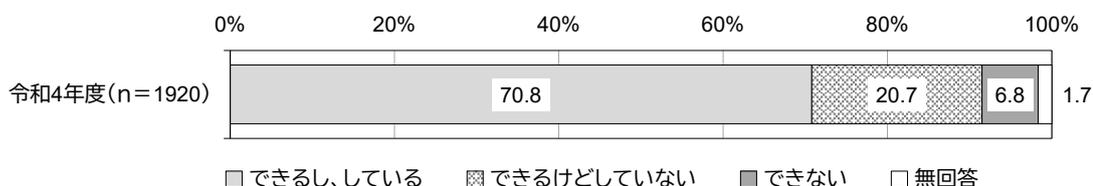
圏域別でみると、合計値『していない・できない』は中央圏域が22.5%、赤城圏域が20.0%で他の圏域より若干高くなっています。



(4) 自分で食事の用意をしていますか（1つを選択）

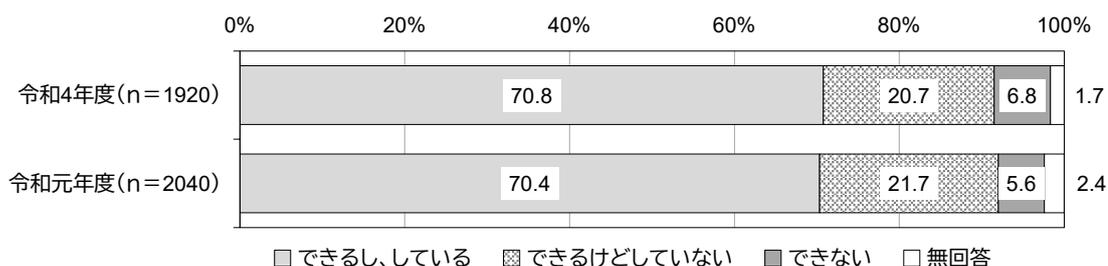
「できているし、している」が70.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.7%となっています。

「できるけどしていない」と「できない」の合計値『していない・できない』は27.5%となっています。



【経年比較】

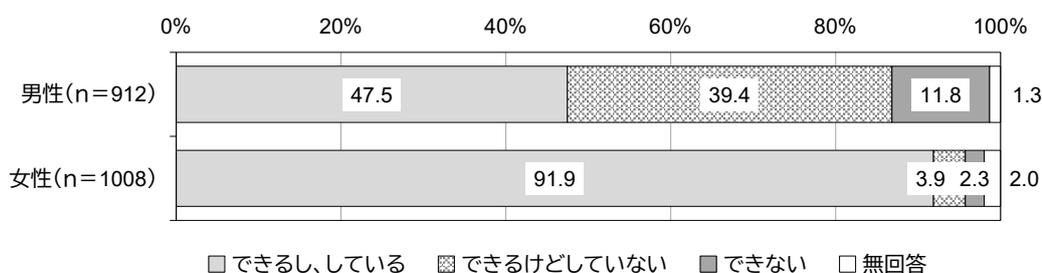
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「できない」は1.2ポイント高くなっています。



【性別】

「できし、している」は、「男性」が47.5%、「女性」が91.9%で、「女性」が「男性」より44.4ポイント高くなっています。

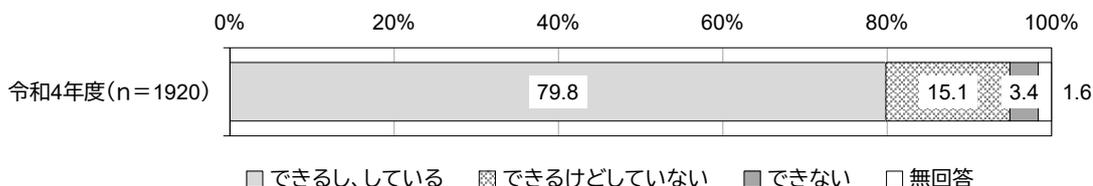
また、「男性」は「できるけどしていない」が39.4%、「できない」が11.8%で、いずれも「女性」より高くなっています。



(5) 自分で請求書の支払いをしていますか（1つを選択）

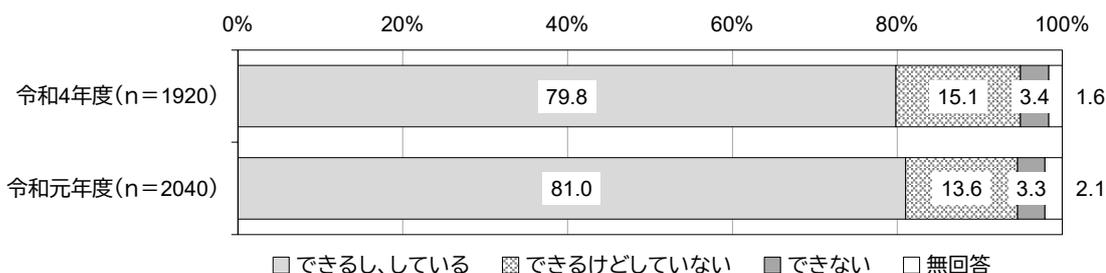
「できているし、している」が79.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.1%となっています。

「できるけどしていない」と「できない」の合計値『していない・できない』は18.5%となっています。



【経年比較】

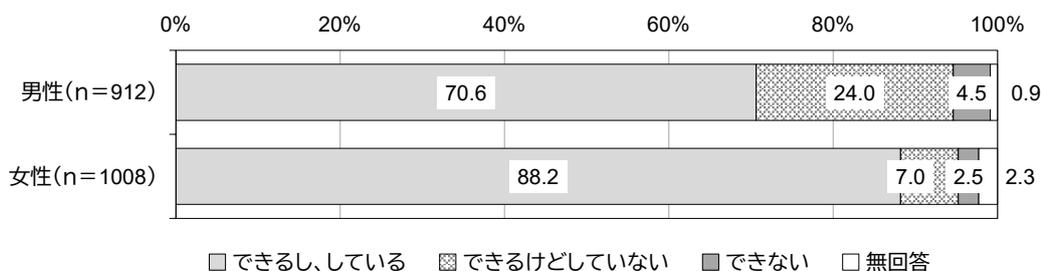
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「できるけどしていない」は1.5ポイント高くなっています。



【性別】

「できし、している」は、男性が70.6%、女性が88.2%で、女性が男性より17.6ポイント高くなっています。

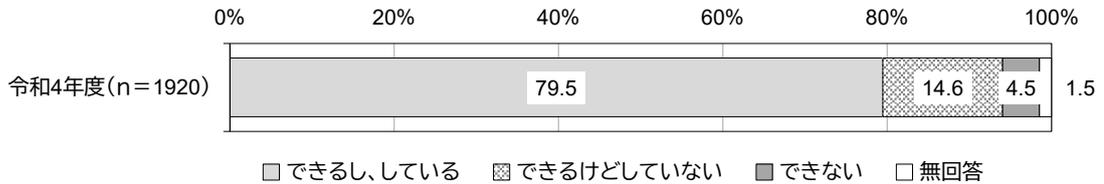
また、男性は「できるけどしていない」が24.0%で、女性より17.0ポイント高くなっています。



(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つを選択）

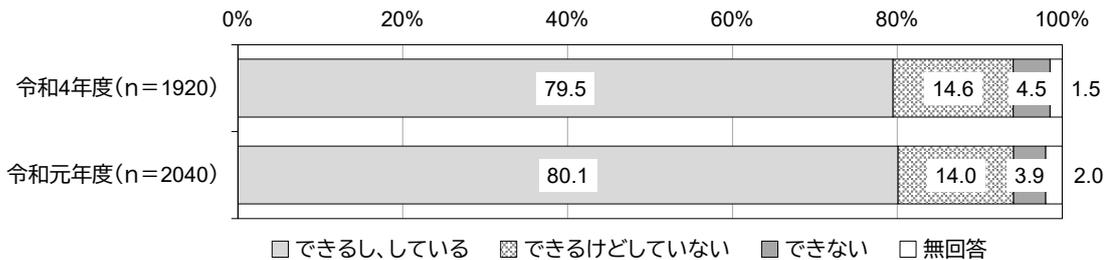
「できているし、している」が79.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.6%となっています。

「できるけどしていない」と「できない」の合計値『していない・できない』は19.1%となっています。



【経年比較】

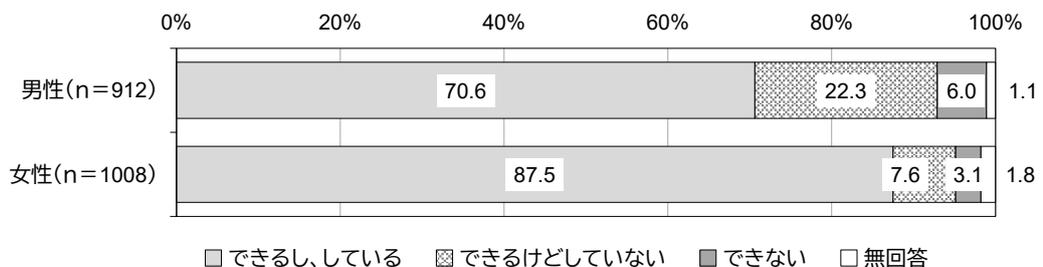
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、合計値『していない・できない』は、前回調査（17.9%）より1.2ポイント高くなっています。



【性別】

「できるし、している」は、男性が70.6%、女性が87.5%で、女性が男性より16.9ポイント高くなっています。

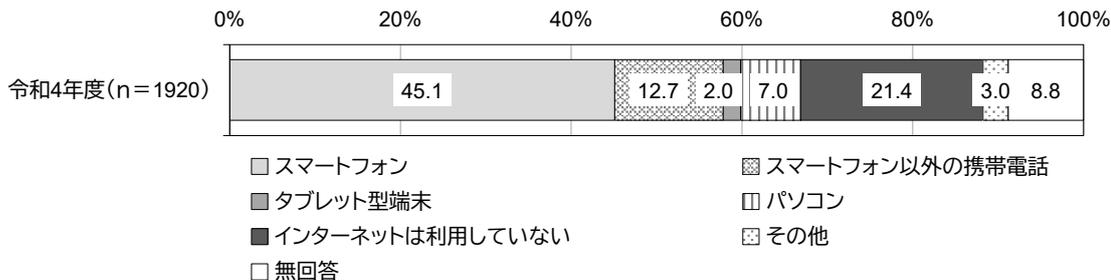
また、男性は「できるけどしていない」が22.3%で、女性より14.7ポイント高くなっています。



(7) 主にどのような情報通信機器を使ってインターネットを利用していますか (1つを選択)

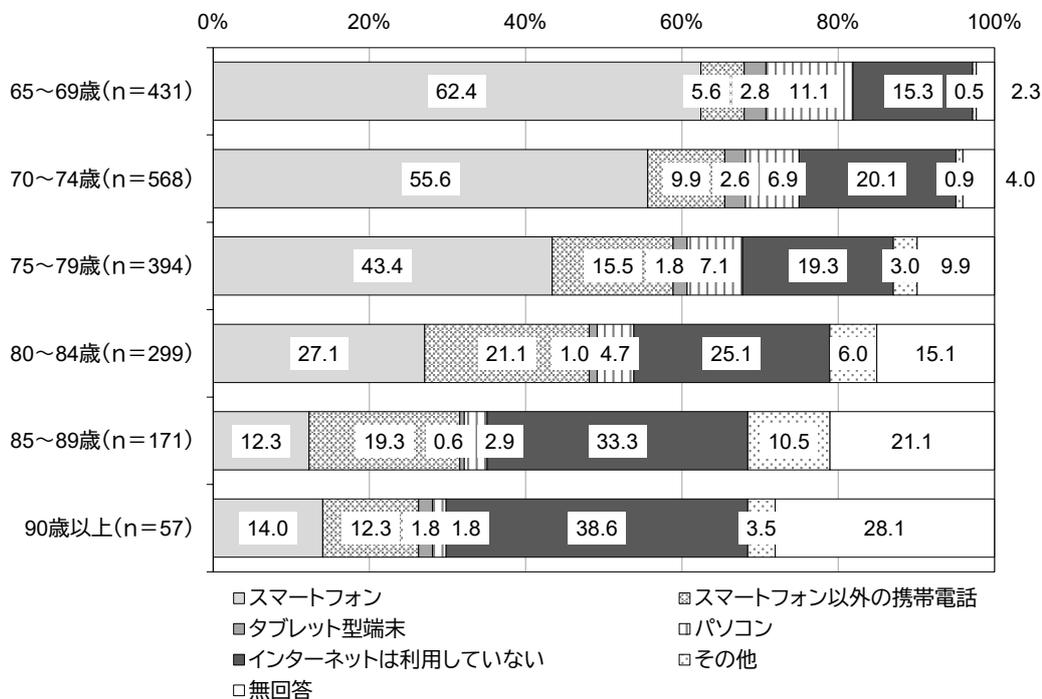
「スマートフォン」が45.1%で最も高く、次いで「インターネットは利用していない」が21.4%となっています。

「スマートフォン」「スマートフォン以外の携帯電話」「タブレット端末」「パソコン」の合計値『利用している』は66.8%となっています。



【年代別】

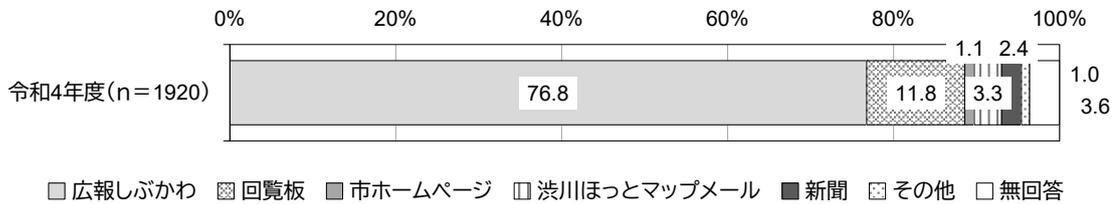
合計値『利用している』は概ね若い年代ほど高くなっています。一方、85～89歳以上は「インターネットは利用していない」が最も高くなっています。



※95～99歳 (n=4)は、90～94歳 (n=53)と合わせて表示

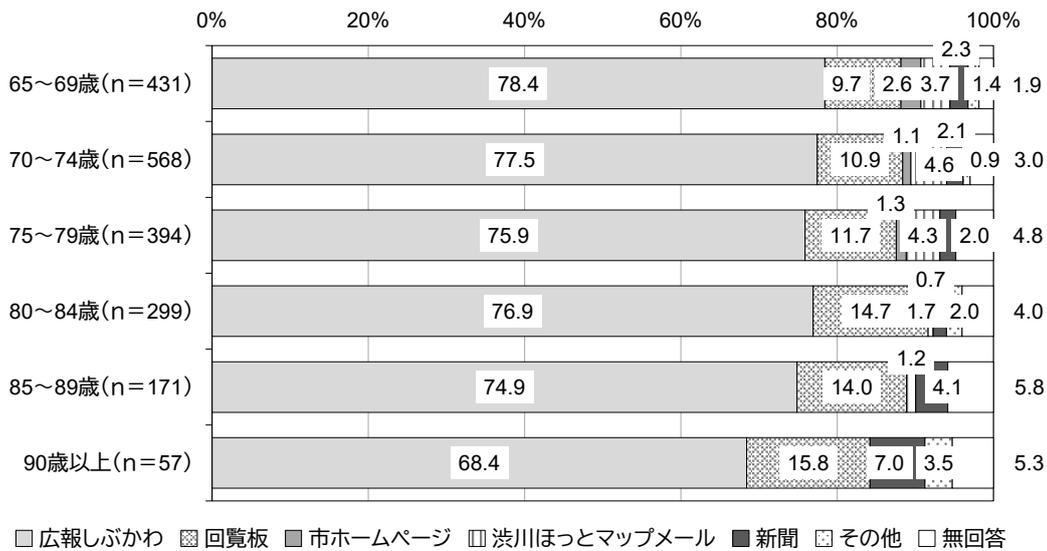
(8) 渋川市からのお知らせや渋川市に関する情報を主にどのように入手していますか（1つを選択）

「広報しぶかわ」が76.8%で最も高く、次いで「回覧板」が11.8%となっています。



【年代別】

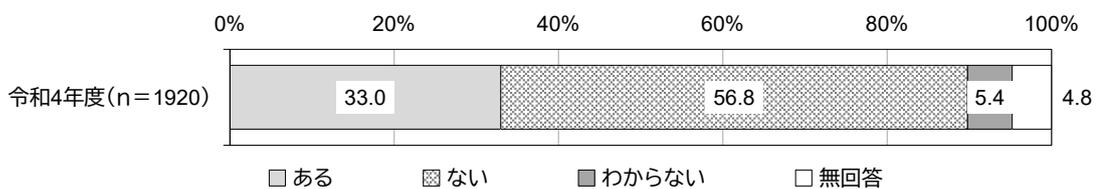
いずれの年代も「広報しぶかわ」が最も高くなっています。また、90歳以上は「回覧板」「新聞」が他の年代より高くなっています。



※95～99歳(n=4)は、90～94歳(n=53)と合わせて表示

(9) 特殊詐欺と思われる電話を受けた経験がありますか（1つを選択）

「ある」が33.0%で、3割を超える人が経験しています。

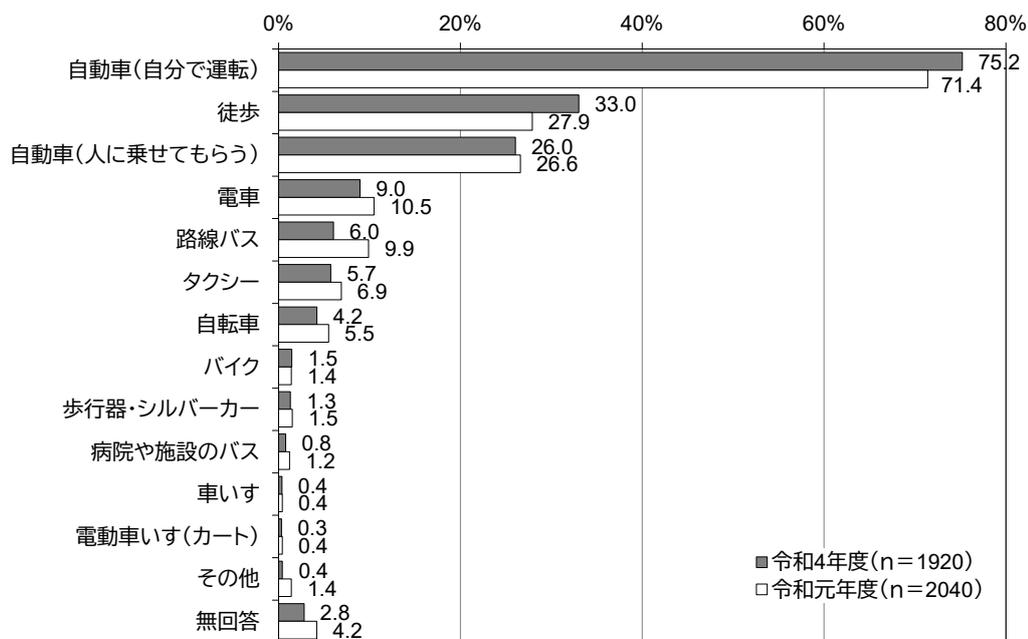


(10) 外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）

「自動車（自分で運転）」が75.2%で最も高く、次いで「徒歩」が33.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」が26.0%となっています。

【経年比較】

前回調査と比較すると、「自動車（自分で運転）」が3.8ポイント高い一方で、「電車」や「路線バス」「タクシー」の公共交通機関が低くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、中央圏域は「自動車（自分で運転）」が6割を下回っており、他の圏域より低い一方、公共交通機関が比較的高くなっています。

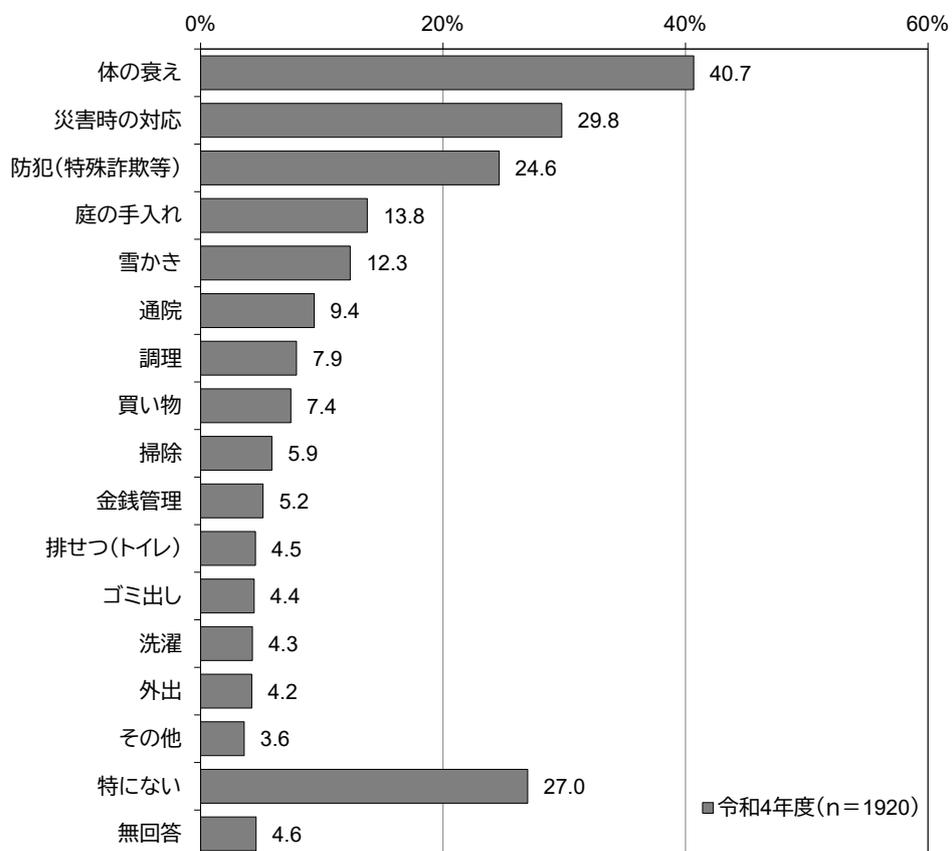
また、小野上・子持圏域、赤城圏域、北橘圏域は「自動車（自分で運転）」が8割前後で比較的高い一方、公共交通機関が比較的低くなっています。

	自動車 (自分で運転)	徒歩	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	タクシー	自転車	バイク	歩行器 シルバーカー	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	その他	無回答
中央圏域 (n=129)	58.1	47.3	28.7	12.4	10.9	14.7	3.9	3.1	5.4	1.6	0.8	1.6	1.6	3.9
西部圏域 (n=200)	68.5	38.0	29.0	8.0	10.5	9.5	2.0	1.0	0.5	2.0	0.0	0.0	0.0	3.5
金島・伊香保圏域 (n=277)	75.5	33.2	24.5	7.6	9.0	7.2	1.4	0.7	0.4	0.7	0.4	0.4	1.1	1.8
古巻圏域 (n=241)	70.5	39.0	32.0	12.9	5.0	5.8	12.4	2.9	1.2	0.8	0.4	0.0	0.0	2.5
豊秋圏域 (n=190)	74.2	43.2	26.8	12.1	7.9	7.9	4.7	2.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
小野上・子持圏域 (n=361)	81.2	27.7	24.7	7.5	2.5	3.0	5.3	1.4	1.4	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8
赤城圏域 (n=289)	78.2	23.9	22.5	9.0	5.2	2.8	1.7	0.7	0.7	1.0	0.3	0.3	0.0	4.2
北橘圏域 (n=233)	82.8	25.8	23.6	5.2	2.1	1.7	2.1	0.4	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	3.4

※各圏域で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示。単位：%

(11) 不安に感じていることは何ですか（複数選択可）

「体の衰え」が40.7%で最も高く、次いで「災害時の対応」が29.8%、「防犯（特殊詐欺等）」が24.6%となっています。

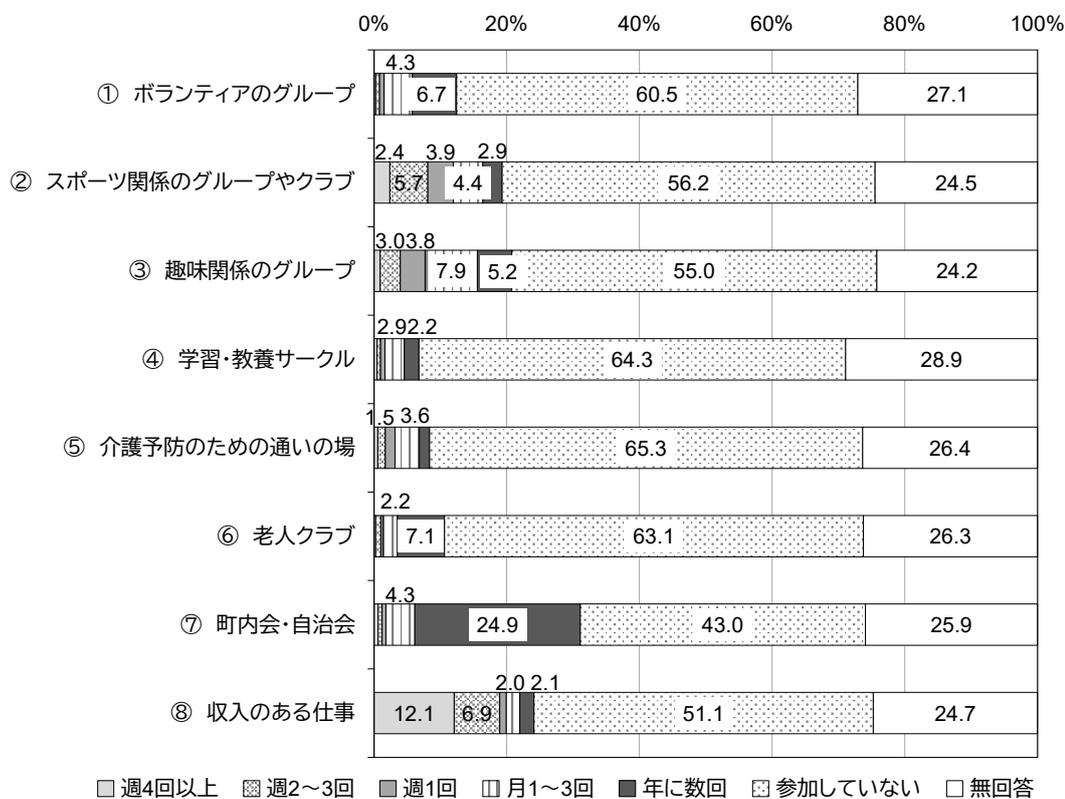


5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
(①～⑧それぞれ1つを選択)

8項目いずれも「参加していない」が最も高く、その中でも「①ボランティアのグループ」「④学習・教養サークル」「⑤介護予防のための通いの場」「⑥老人クラブ」の4項目はいずれも6割を超えています。

また、「週4回以上」から「月1～3回」の合計値『月1～3回以上参加』は、「⑧収入のある仕事」が22.0%で最も高く、次いで「②スポーツ関係のグループやクラブ」が16.4%、「③趣味関係のグループ」が15.6%となっています。



令和4年度(n=1920)

※1.0%以下は図中非表示(下表を参照のこと)

令和4年度(n=1920)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	計
①ボランティアのグループ	0.3	0.6	0.7	4.3	6.7	60.5	27.1	100.0
②スポーツ関係のグループやクラブ	2.4	5.7	3.9	4.4	2.9	56.2	24.5	100.0
③趣味関係のグループ	0.9	3.0	3.8	7.9	5.2	55.0	24.2	100.0
④学習・教養サークル	0.5	0.5	0.7	2.9	2.2	64.3	28.9	100.0
⑤介護予防のための通いの場	0.6	1.1	1.5	3.6	1.6	65.3	26.4	100.0
⑥老人クラブ	0.3	0.8	0.3	2.2	7.1	63.1	26.3	100.0
⑦町内会・自治会	0.6	0.6	0.6	4.3	24.9	43.0	25.9	100.0
⑧収入のある仕事	12.1	6.9	1.0	2.0	2.1	51.1	24.7	100.0

※各項目で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示(無回答を除く)。単位: %

【経年比較】

前回調査と比較すると、8項目いずれも「参加していない」が高くなっています。

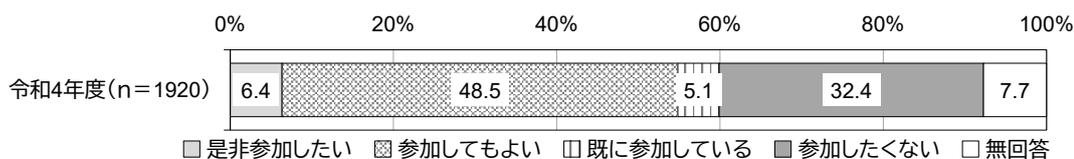


※図中 1.0%以下は非表示

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つに○）

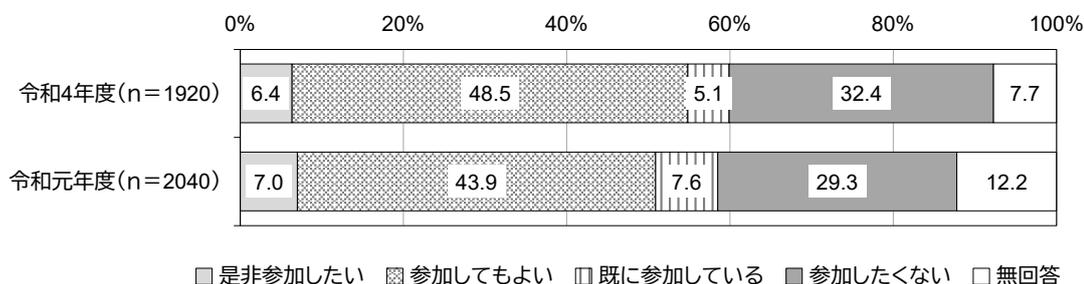
「参加してもよい」が48.5%で最も高く、次いで「参加したくない」が32.4%となっています。

「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」の合計値『参加したい・している』は60.0%となっています。



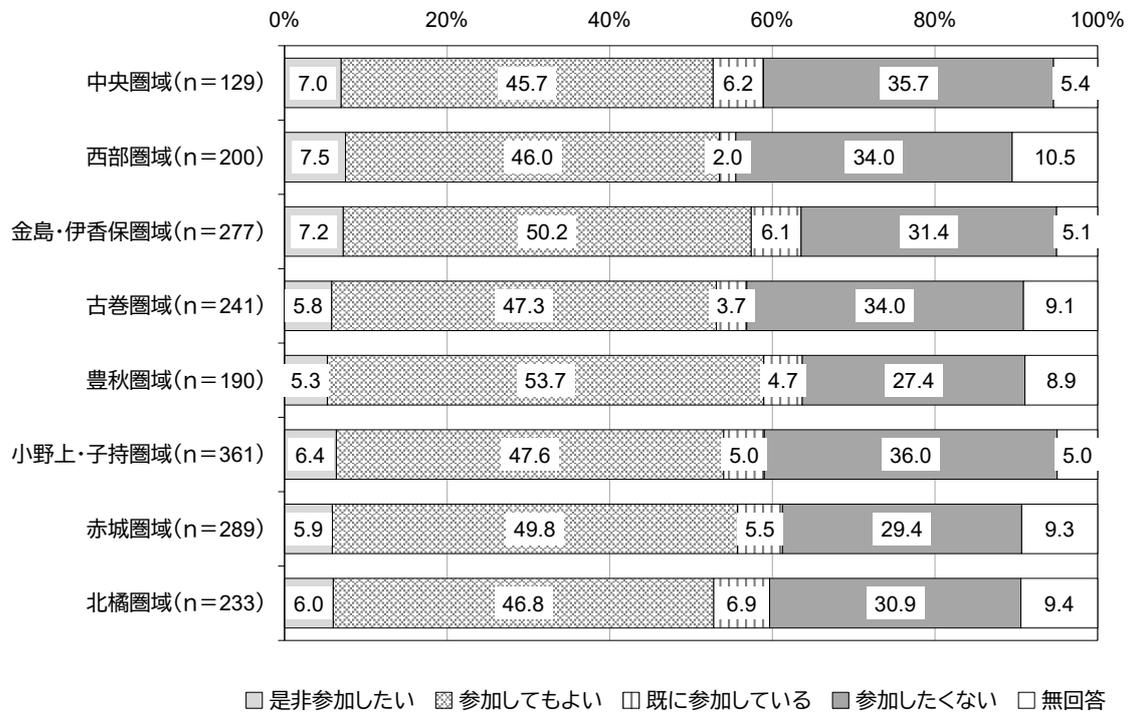
【経年比較】

前回調査と比較すると、「参加してもよい」は4.6ポイント高くなっています。一方、「参加したくない」も3.1ポイント高くなっています。



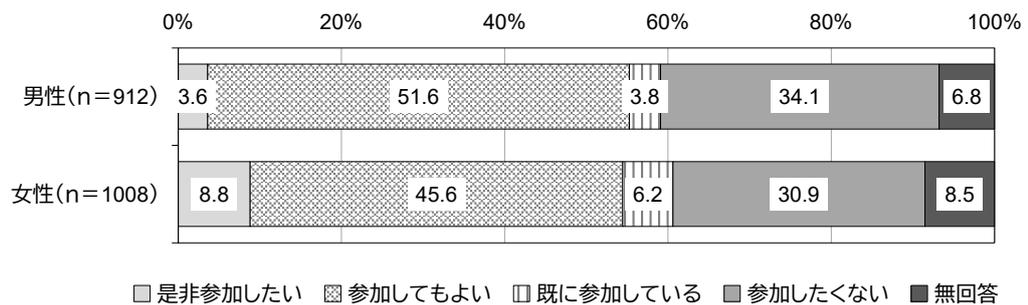
【圏域別】

圏域別でみると、合計値『参加したい・している』は豊秋圏域が63.7%、金島・伊香保圏域が63.5%で他の圏域より若干高くなっています。



【性別】

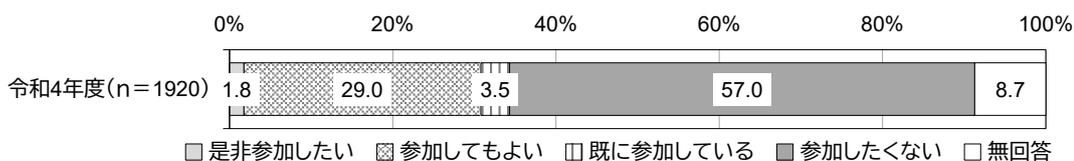
合計値『参加したい・している』は男女で同程度となっていますが、「参加してもよい」は男性が女性より6.0ポイント高くなっています。一方、「参加したくない」は男性が女性より3.2ポイント高くなっています。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つに○）

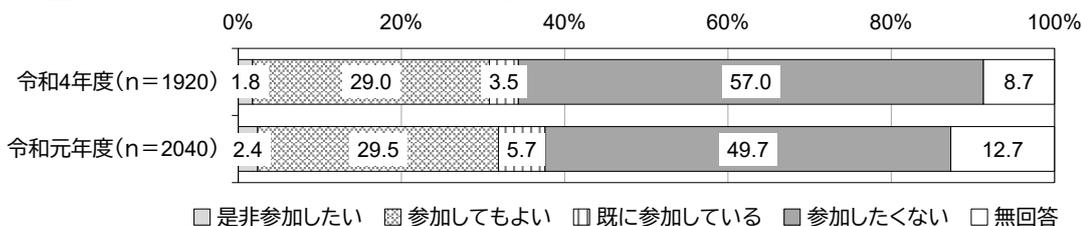
「参加したくない」が57.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が29.0%となっています。

「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」の合計値『参加したい・している』は34.3%となっています。



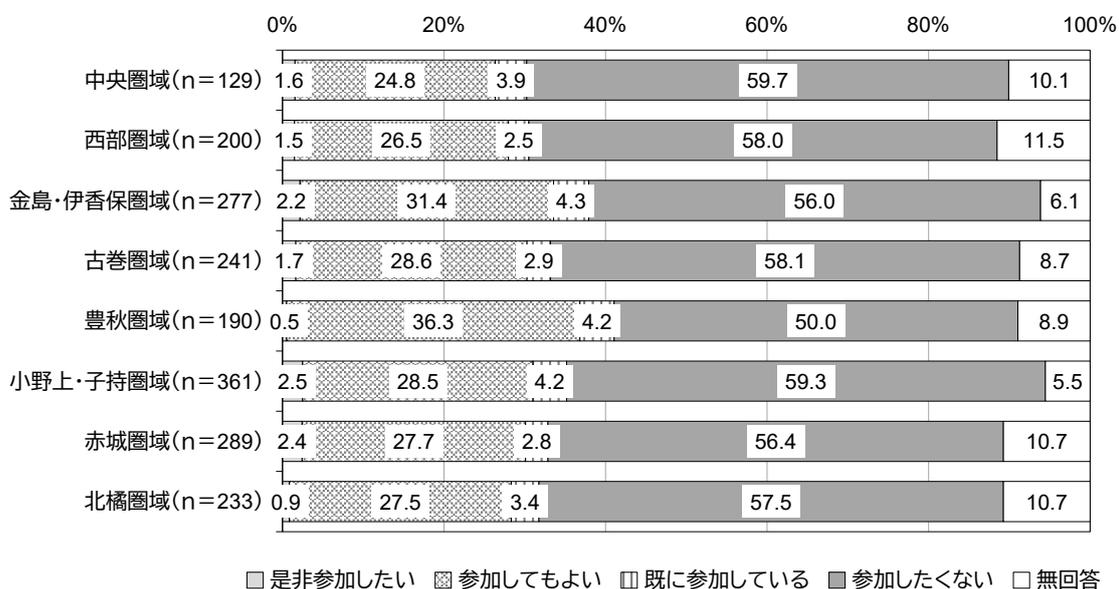
【経年比較】

前回調査と比較すると、「参加したくない」は7.3ポイント高くなっています。



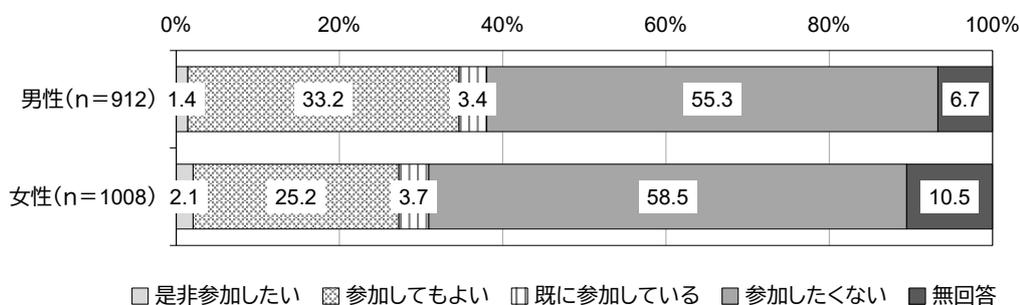
【圏域別】

圏域別でみると、合計値『参加したい・している』は豊秋圏域が41.0%で他の圏域より若干高くなっています。



【性別】

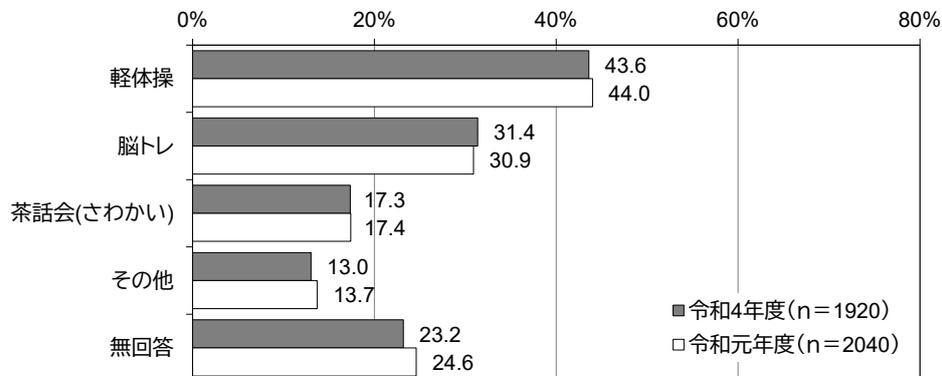
「参加してもよい」は男性が女性より 8.0 ポイント高くなっています。



(4) 介護予防のための集まりで、通ってみたいのはどれですか（複数選択可）

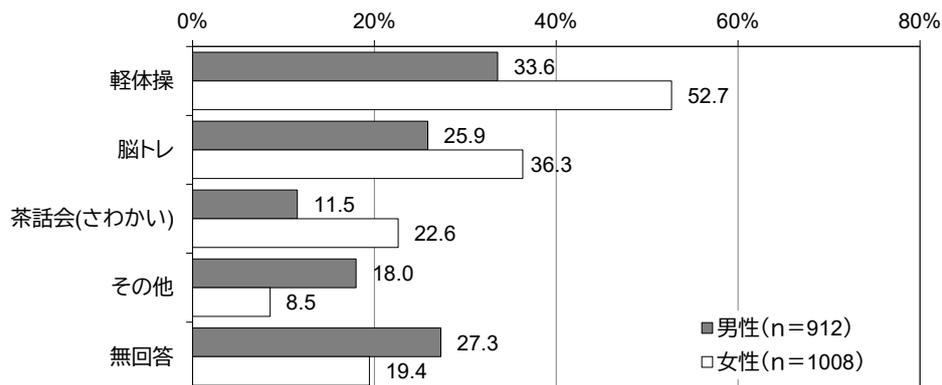
「軽体操」が43.6%で最も高く、次いで「脳トレ」が31.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



【性別】

男女とも「軽体操」が最も高く、次いで「脳トレ」となっていますが、女性が男性より「軽体操」は19.1ポイント、「脳トレ」は10.4ポイント高くなっています。



【圏域別】

圏域別で見ると、古巻圏域は「軽体操」「脳トレ」のいずれも他の圏域より比較的低くなっています。

	軽体操	脳トレ	茶話会 (さわかい)	その他	無回答
中央圏域 (n=129)	40.3	27.9	18.6	15.5	24.0
西部圏域 (n=200)	41.5	33.0	18.5	14.5	24.5
金島・伊香保圏域 (n=277)	44.8	31.8	17.7	15.5	22.4
古巻圏域 (n=241)	39.4	24.1	15.4	15.4	25.3
豊秋圏域 (n=190)	47.9	30.5	18.4	10.0	22.1
小野上・子持圏域 (n=361)	42.7	34.6	18.3	10.5	21.3
赤城圏域 (n=289)	47.4	35.3	18.7	12.5	23.2
北橘圏域 (n=233)	43.3	29.6	13.3	12.0	24.0

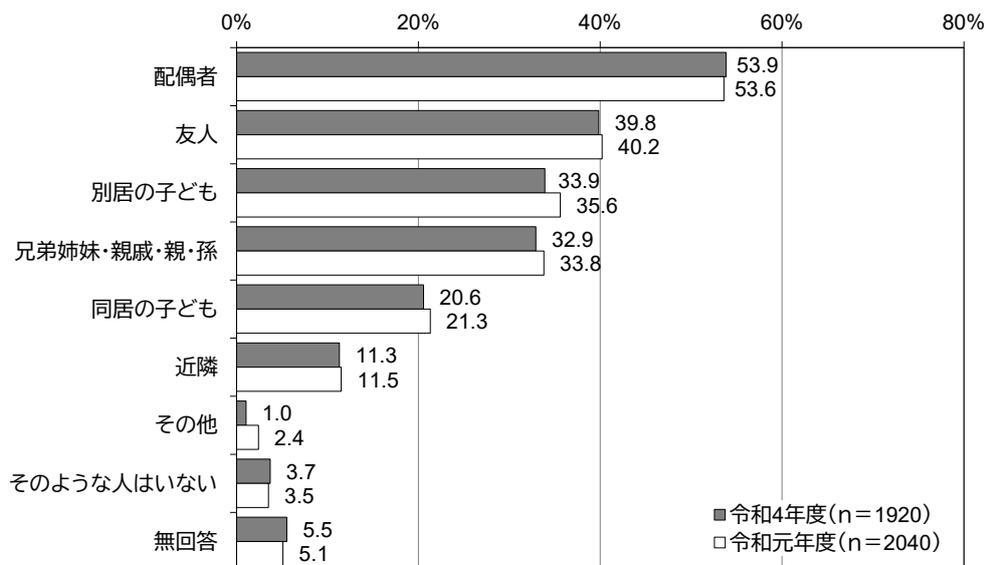
※各圏域で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示（無回答を除く）。単位：%

6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数選択可）

「配偶者」が53.9%で最も高く、次いで「友人」が39.8%となっています。

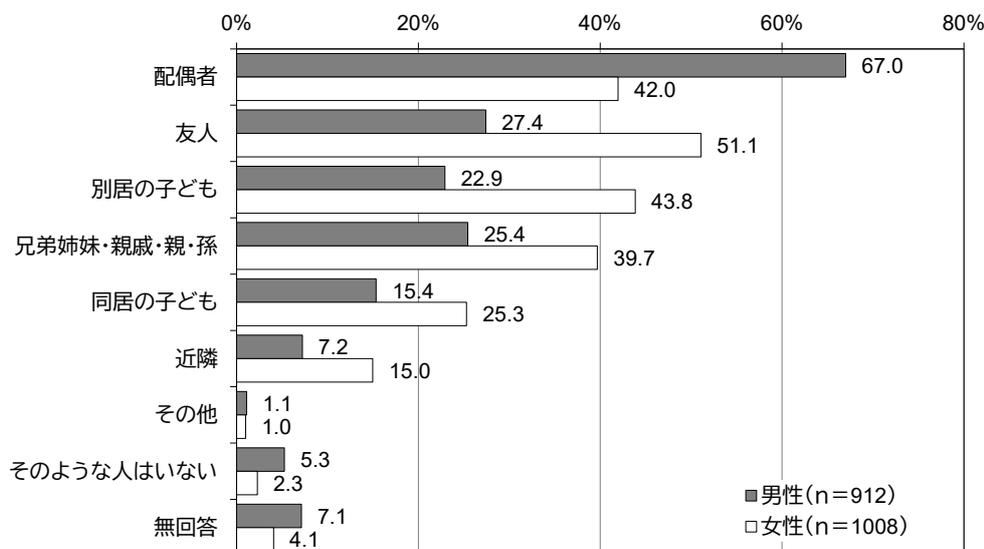
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「別居の子ども」は若干低くなっています。



【性別】

男性は「配偶者」が67.0%、女性は「友人」が51.1%で最も高くなっています。

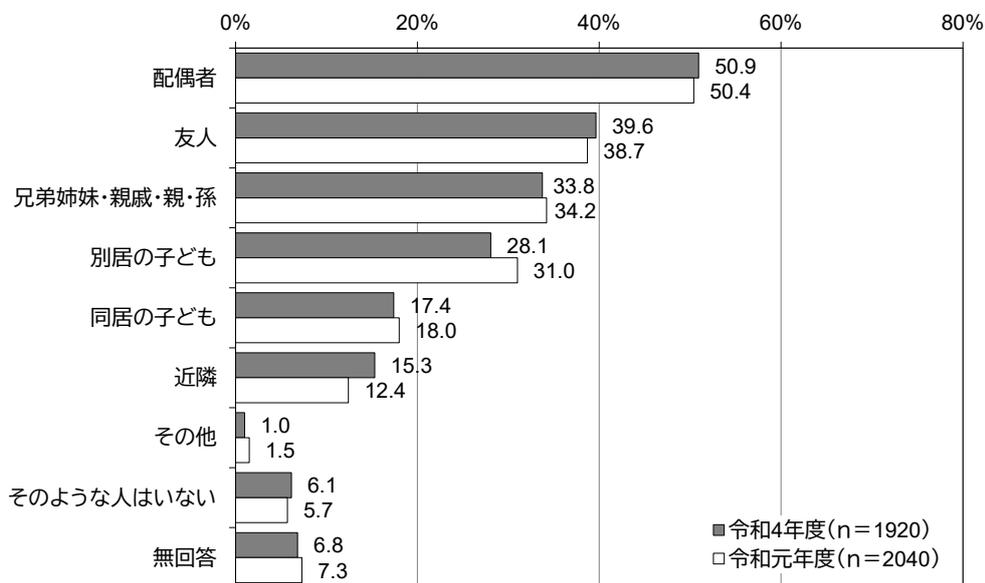
また、女性は次いで「別居の子ども」が43.8%、「配偶者」が42.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が39.7%で比較的高くなっています。



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数選択可）

「配偶者」が50.9%で最も高く、次いで「友人」が39.6%となっています。

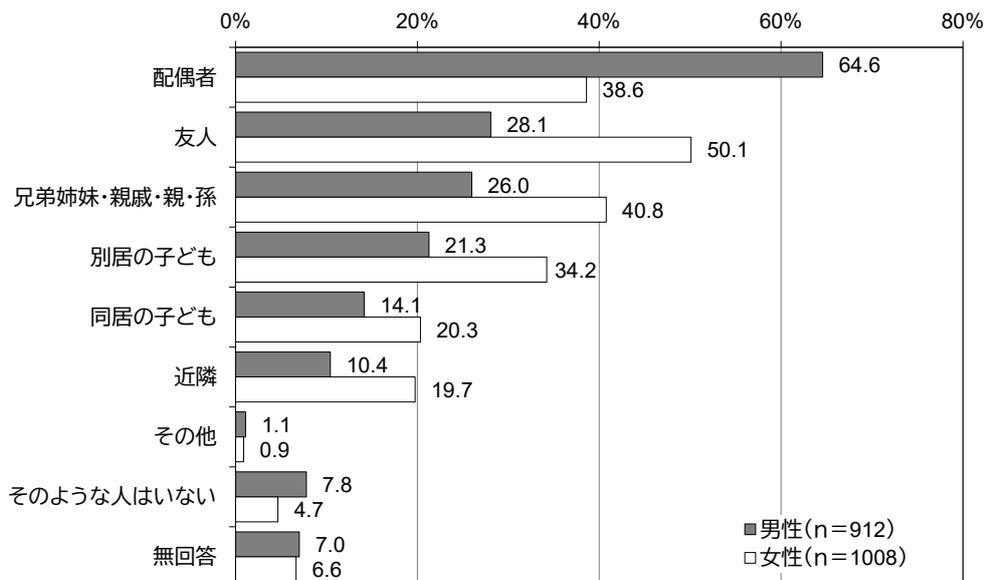
前回調査と比較すると、「近隣」が2.9ポイント高くなっている一方、「別居の子ども」が2.9ポイント低くなっています。



【性別】

男性は「配偶者」が64.0%、女性は「友人」が50.1%で最も高くなっています。

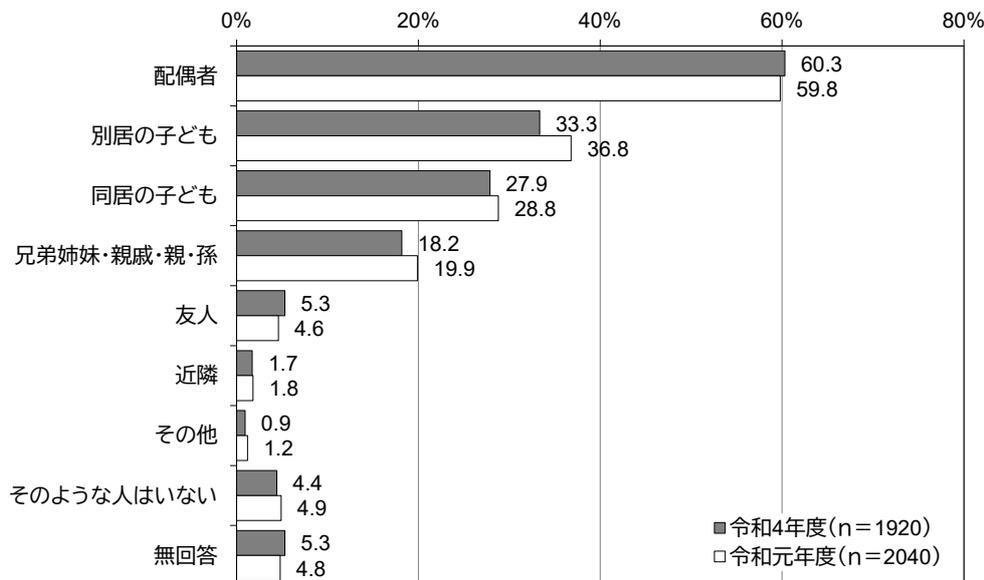
また、女性は次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が40.8%、「配偶者」が38.6%で比較的高くなっています。



**(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(複数選択可)**

「配偶者」が60.3%で最も高く、次いで「別居の子ども」が33.3%、「同居の子ども」が27.9%となっています。

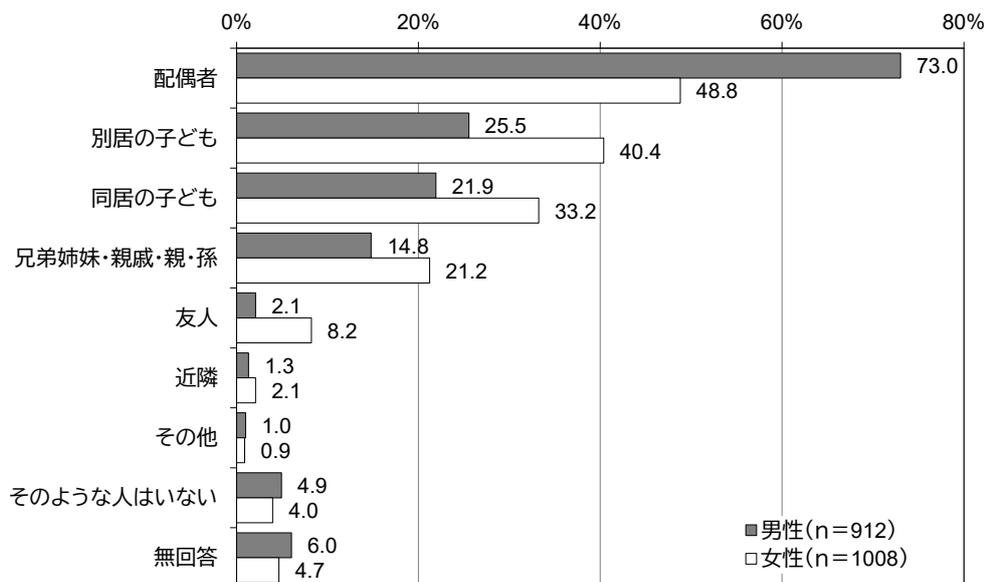
前回調査と比較すると、「別居の子ども」が3.5ポイント低くなっています。



【性別】

男女とも「配偶者」が最も高くなっていますが、男性は女性より24.2ポイント高くなっています。

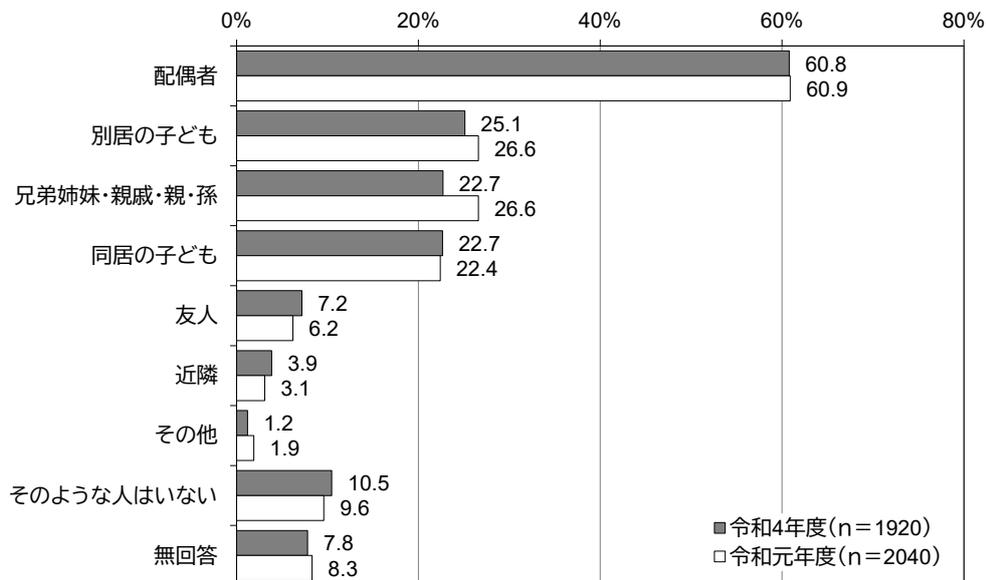
また、女性は次いで「別居の子ども」が40.4%で比較的高くなっています。



(4) 反対に、看病や世話をしあける人（複数選択可）

「配偶者」が60.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が25.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」がいずれも22.7%となっています。

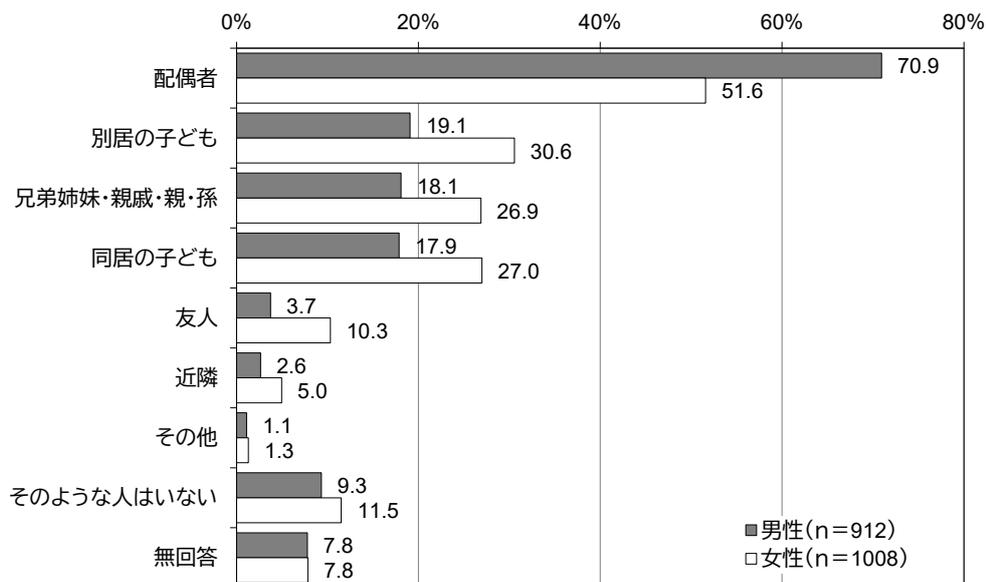
前回調査と比較すると、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が3.9ポイント、「別居の子ども」が1.5ポイントそれぞれ低くなっています。



【性別】

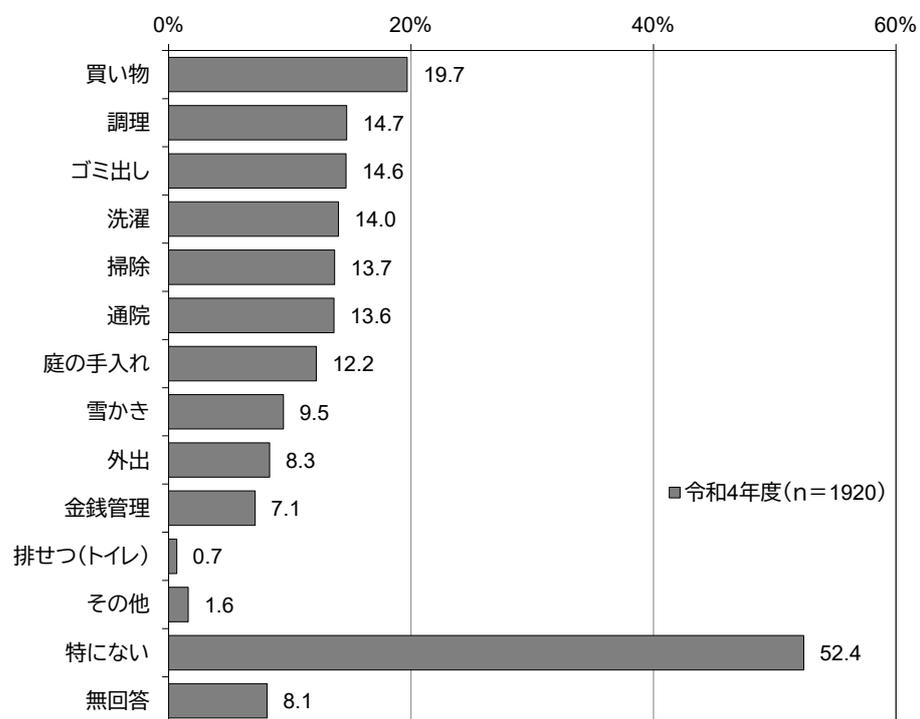
男女とも「配偶者」が最も高くなっていますが、男性が女性より19.3ポイント高くなっています。

また、女性は次いで「別居の子ども」が30.6%、「同居の子ども」が27.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.9%で比較的高くなっています。



(5) 日頃、誰かに助けてもらっていることがありますか（複数選択可）

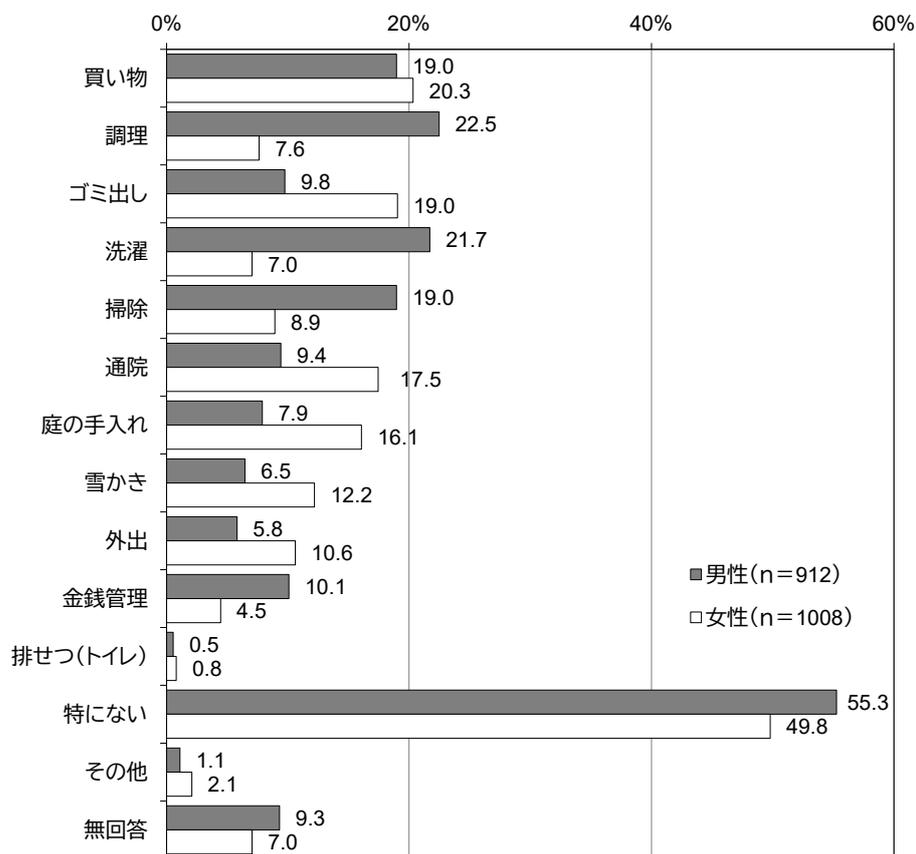
「特にない」が52.4%で最も高く、次いで「買い物」が19.7%となっています。



【性別】

男女とも「特にない」が最も高く、次いで男性は「調理」「洗濯」、女性は「買い物」が2割を超えています。

また、男性は「掃除」、女性は「ゴミ出し」「通院」「庭の手入れ」なども比較的高くなっています。

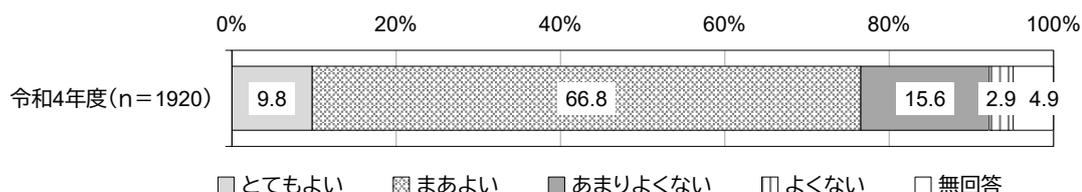


7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つに○）

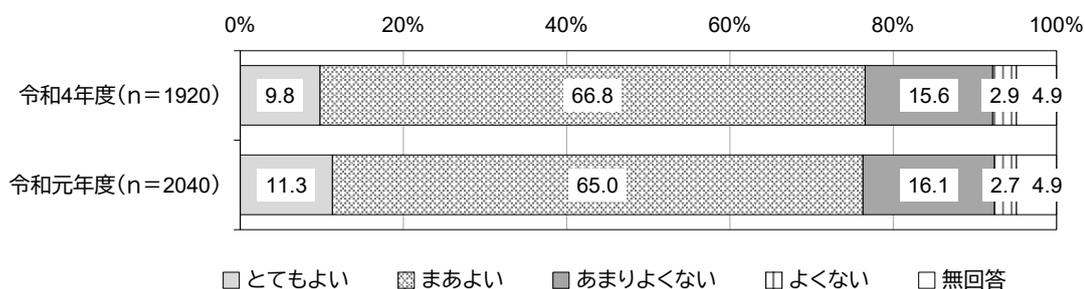
「まあよい」が66.8%で最も高く、次いで「あまりよくない」が15.6%となっています。

「とてもよい」と「まあよい」の合計値『よい』は76.6%、「あまりよくない」と「よくない」の合計値『よくない』は18.5%となっています。



【経年比較】

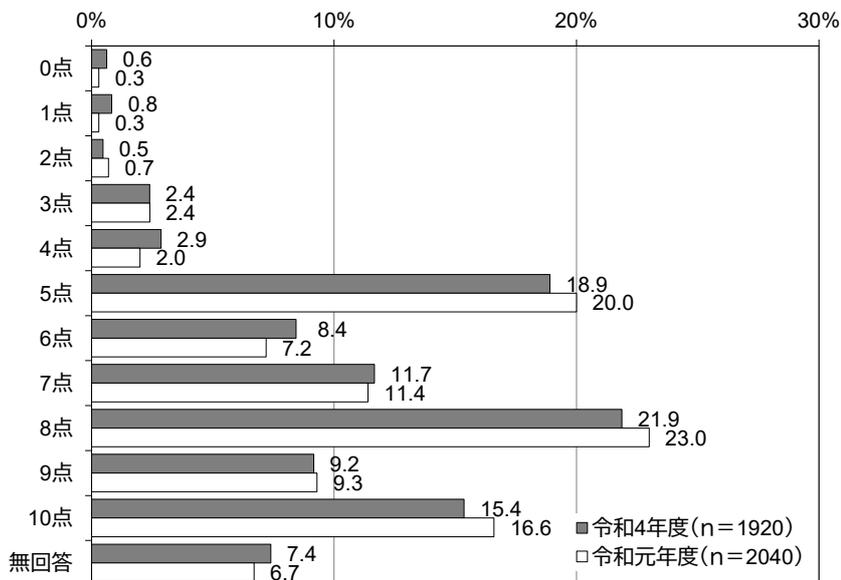
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「とてもよい」は1.5ポイント低い一方、「まあよい」は1.8ポイント高くなっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

「8点」が21.9%で最も高く、次いで「5点」が18.9%となっています。一方、「4点」以下の合計値は7.2%となっています。

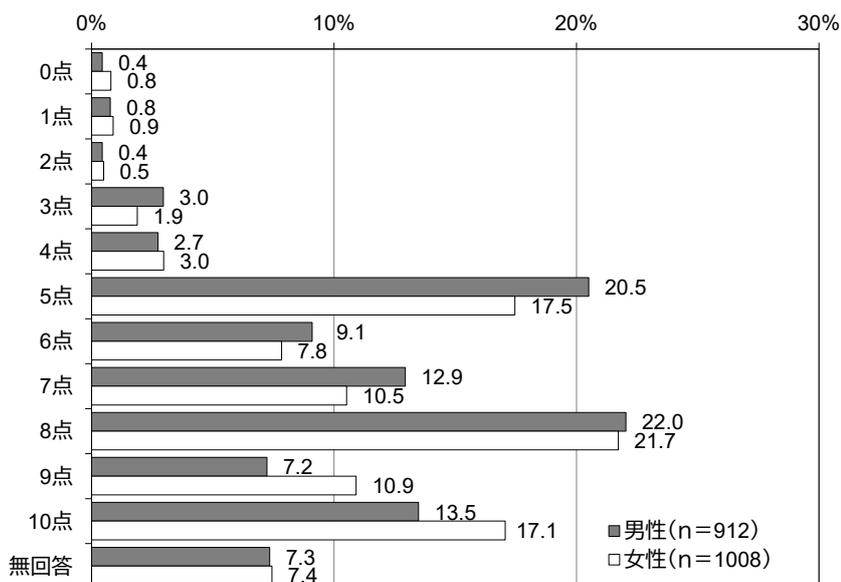
前回調査と比較すると、平均点は0.12点低くなっています。



※【参考】平均点：令和4年度7.11点・令和元年度7.23点（無回答を除く）

【性別】

男女とも「8点」が最も高くなっています。また平均点では、女性が男性より0.27点高くなっています。



※【参考】平均点 男性6.97点・女性7.24点（無回答を除く）

【圏域別】

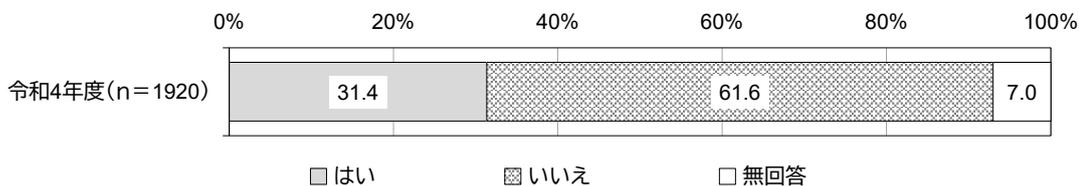
小野上・子持圏域を除き、いずれも「8点」が最も高く、小野上・子持圏域は「5点」が最も高くなっています。

	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
中央圏域 (n=129)	1.6	0.0	0.0	1.6	3.1	15.5	9.3	12.4	23.3	11.6	14.7	7.0
西部圏域 (n=200)	0.0	0.5	0.5	1.5	2.0	20.5	8.5	11.5	22.0	10.0	15.5	7.5
金島・伊香保圏域 (n=277)	1.1	1.1	0.4	2.9	2.2	22.0	5.4	10.1	24.9	9.4	15.5	5.1
古巻圏域 (n=241)	0.4	0.8	0.8	2.9	2.9	20.3	9.5	9.5	21.6	9.1	15.4	6.6
豊秋圏域 (n=190)	0.0	1.1	0.0	2.6	1.6	17.4	5.3	15.8	25.3	10.0	15.3	5.8
小野上・子持圏域 (n=361)	1.1	0.6	0.3	2.2	3.3	21.1	9.1	11.6	15.0	9.4	18.8	7.5
赤城圏域 (n=289)	0.7	1.0	0.3	2.4	4.8	17.0	9.0	10.7	22.5	8.7	13.1	9.7
北橘圏域 (n=233)	0.0	1.3	1.3	2.6	2.1	14.6	11.2	13.3	24.9	6.4	12.9	9.4

※各圏域で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示。単位：%

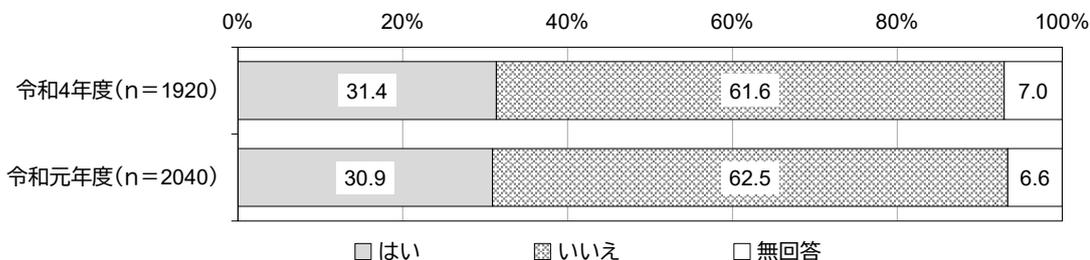
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つに○）

「いいえ」が61.6%、「はい」が31.4%となっています。



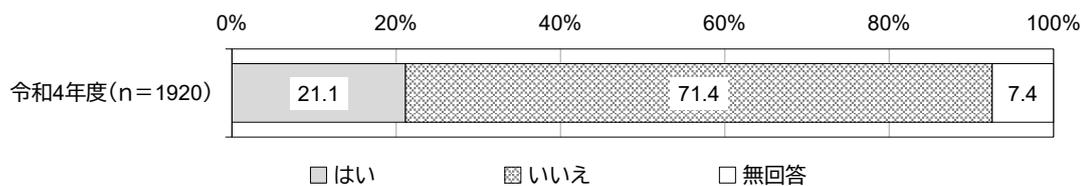
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



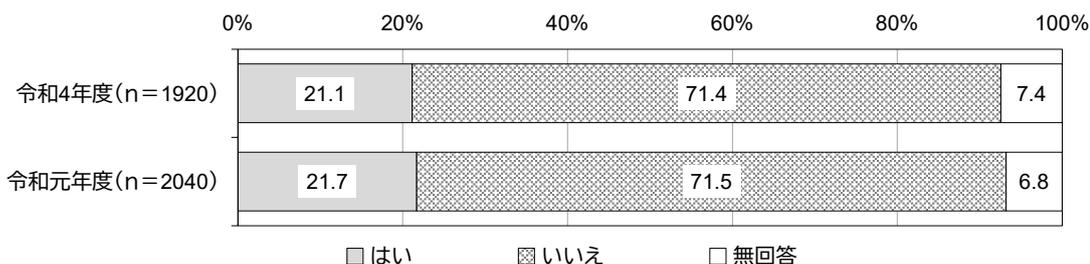
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つに○）

「いいえ」が71.4%、「はい」が21.1%となっています。



【経年比較】

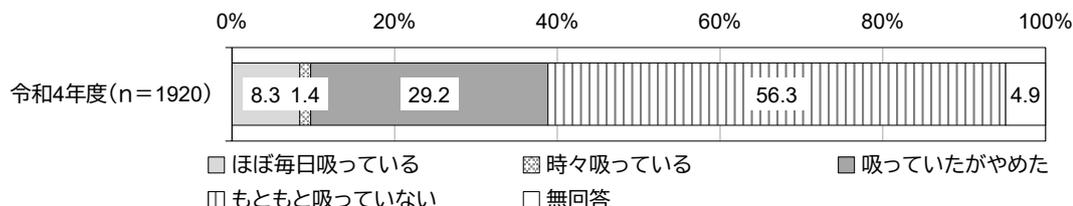
前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



(5) タバコは吸っていますか (1つに○)

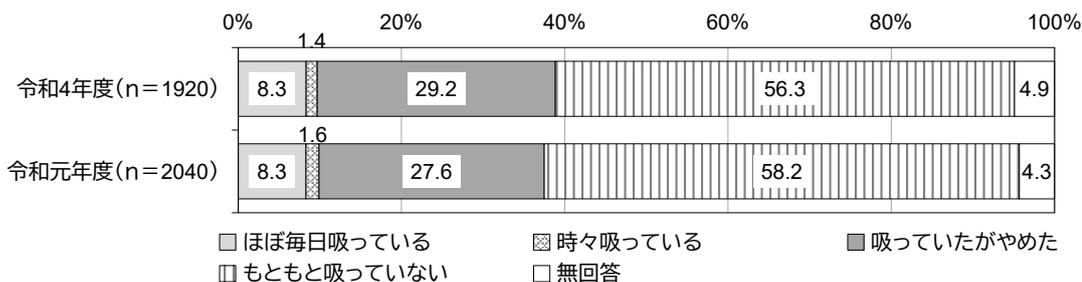
「もともと吸っていない」が56.3%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.2%となっています。

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計値『吸っている』は9.7%となっています。



【経年比較】

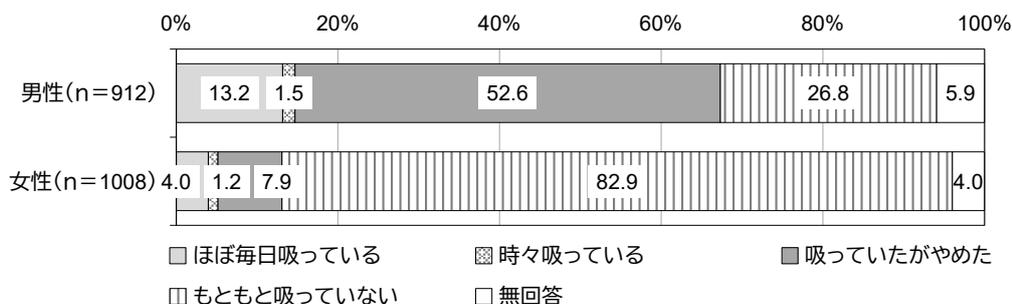
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「吸っていたがやめた」は1.6ポイント高くなっています。



【性別】

男性は「吸っていたがやめた」が52.6%、女性は「もともと吸っていない」が82.9%で最も高くなっています。

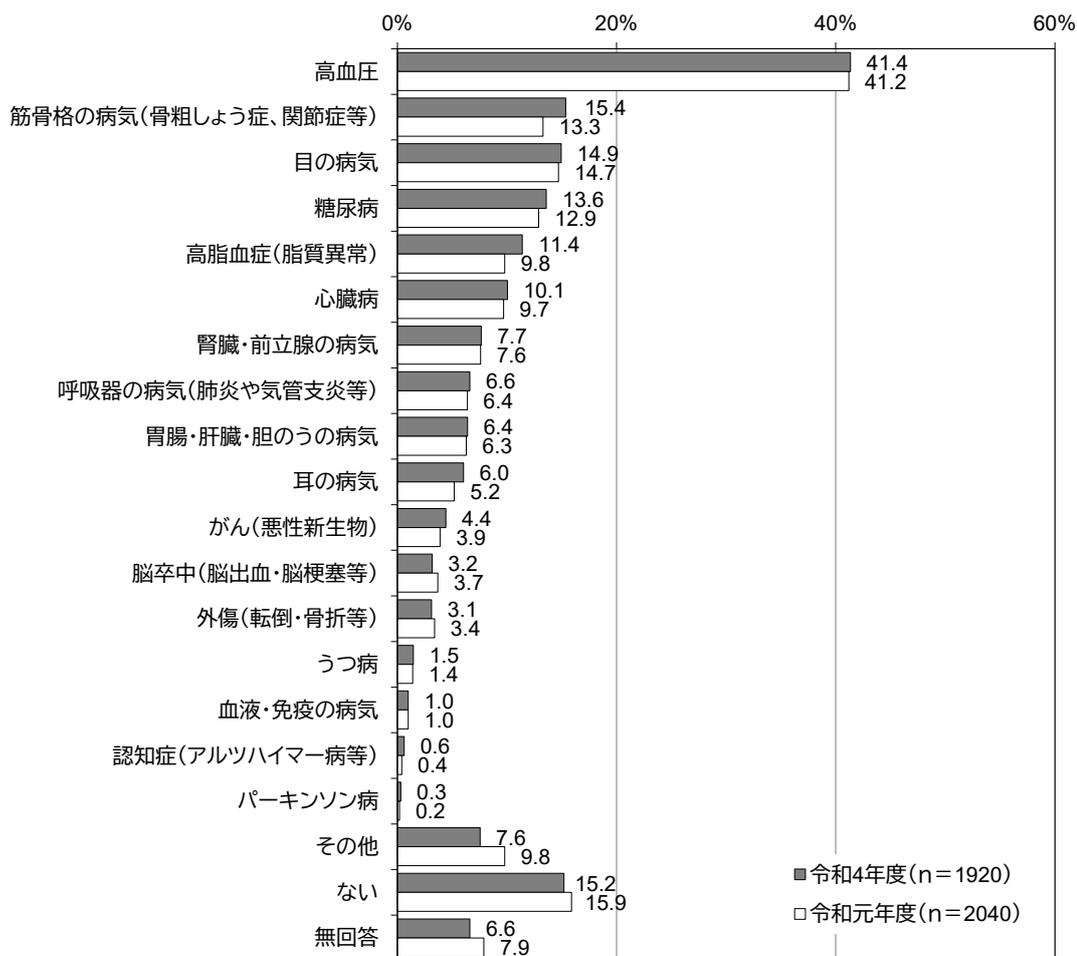
また、合計値『吸っている』は男性 (14.7%) が女性 (5.2%) より 9.5 ポイント高くなっています。



(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数選択可）

「高血圧」が41.4%で最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が15.4%、「ない」が15.2%、「目の病気」が14.9%、「糖尿病」が13.6%、「高脂血症（脂質異常）」が11.4%、「心臓病」が10.1%と、6項目が1割を超えています。

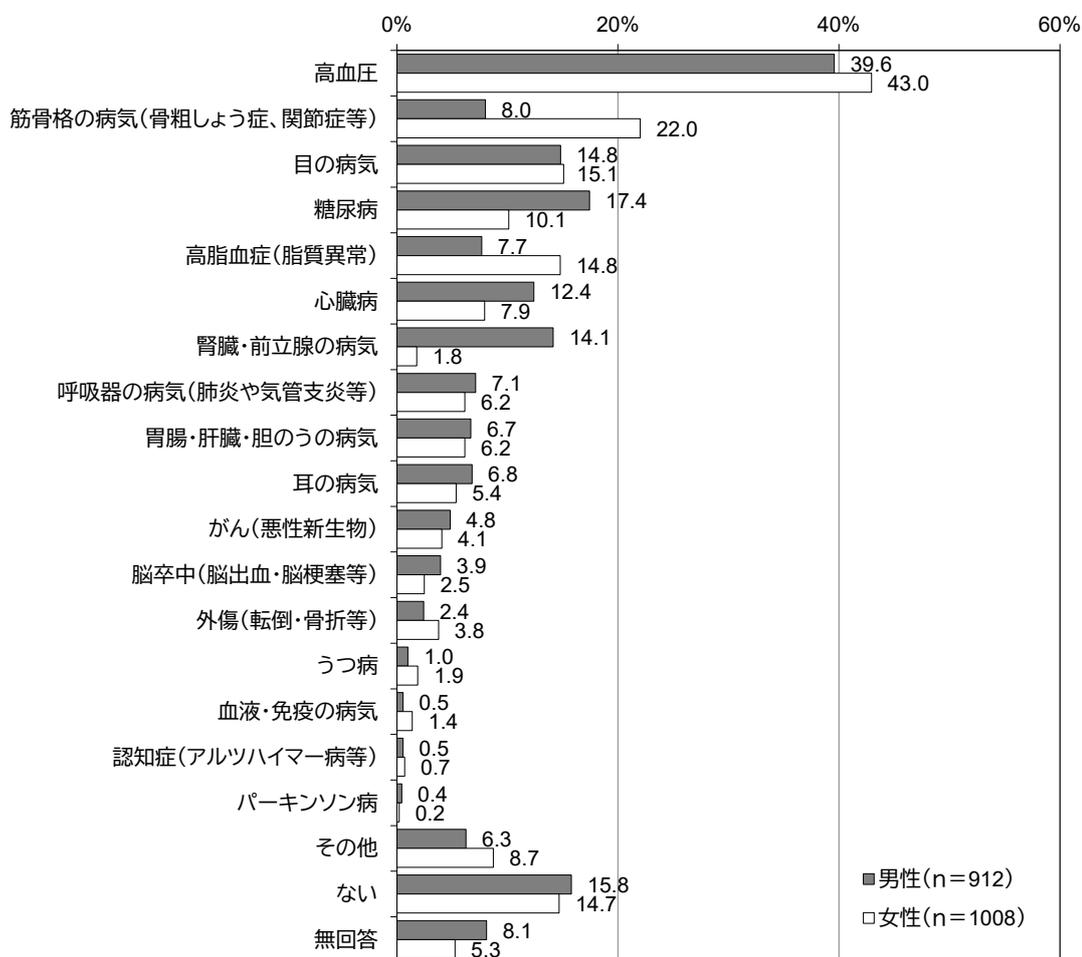
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」は2.1ポイント高くなっています。



【性別】

男女とも「高血圧」が最も高く、次いで男性は「糖尿病」、女性は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が高くなっています。

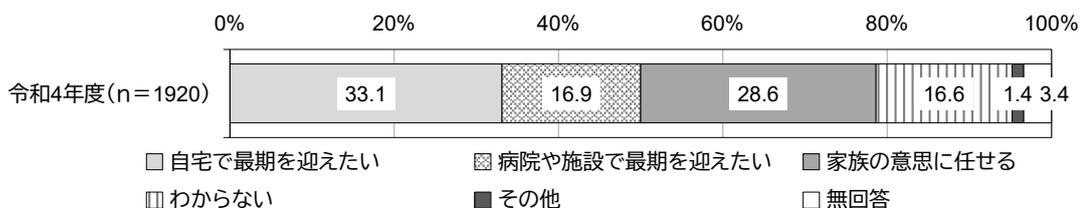
また、男女とも「目の病気」が比較的高くなっています。



8 人生の最期の迎え方について

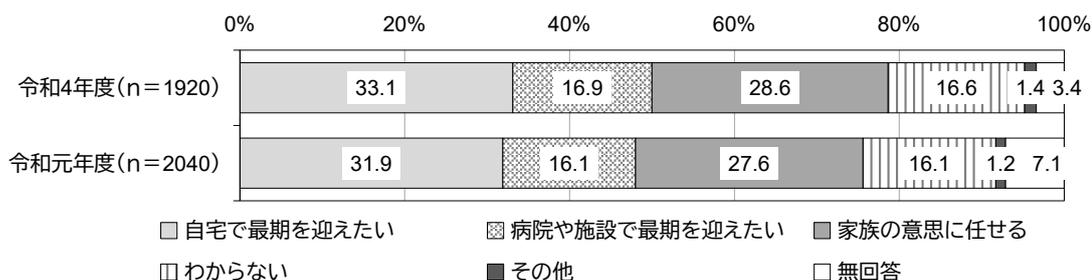
(1) もしあなたが終末期となった場合、人生の最期をどこで迎えたいですか (1つに○)

「自宅で最期を迎えたい」が33.1%で最も高く、次いで「家族の意思に任せる」が28.6%となっています。



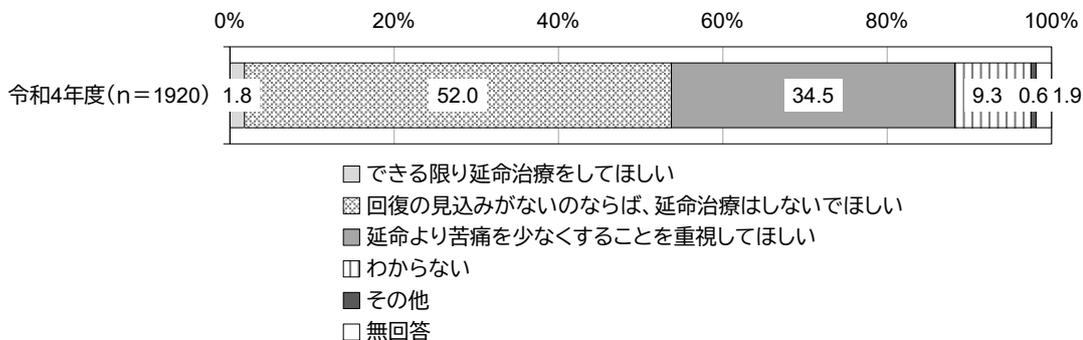
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「自宅で最期を迎えたい」は1.2ポイント、「家族の意思に任せる」は1.0ポイントそれぞれ高くなっています。



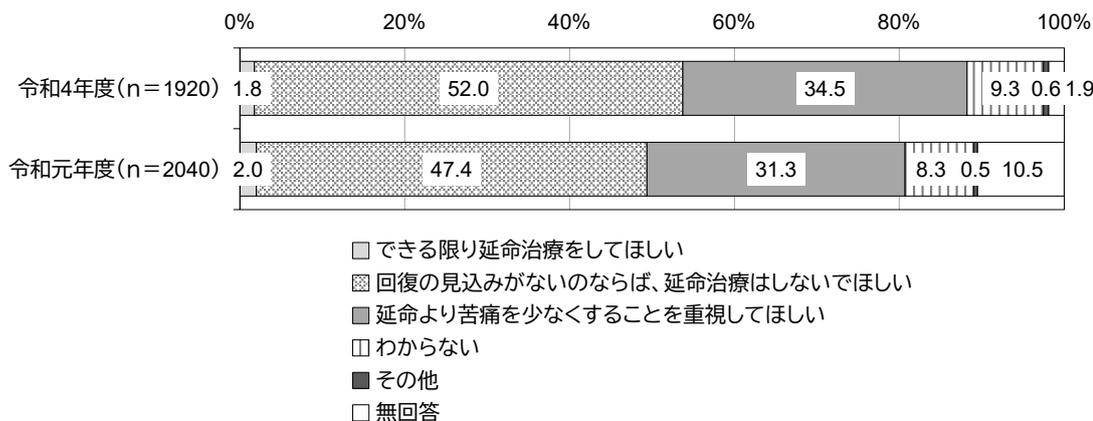
(2) 延命治療についてあなたはどのように考えますか (1つに○)

「回復の見込みがないのならば、延命治療はしないでほしい」が52.0%で最も高く、次いで「延命より苦痛を少なくすることを重視してほしい」が34.5%となっています。



【経年比較】

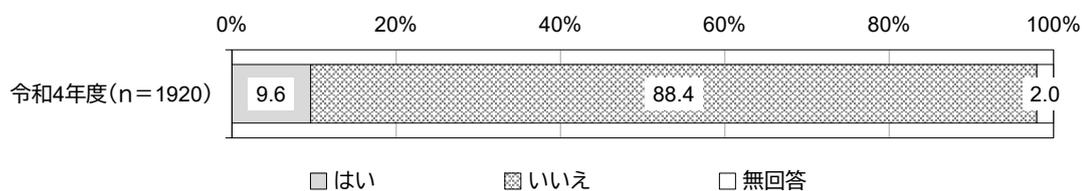
前回調査と比較すると、「回復の見込みがないのならば、延命治療はしないでほしい」が4.6ポイント、「延命治療より苦痛を少なくすることを重視してほしい」が3.2ポイントそれぞれ高くなっています。



9 認知症にかかる相談窓口の把握について

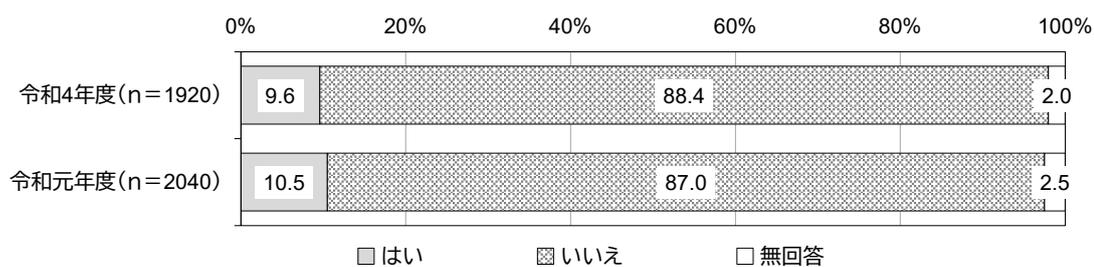
(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか (1つに○)

「いいえ」が88.4%、「はい」が9.6%となっています。



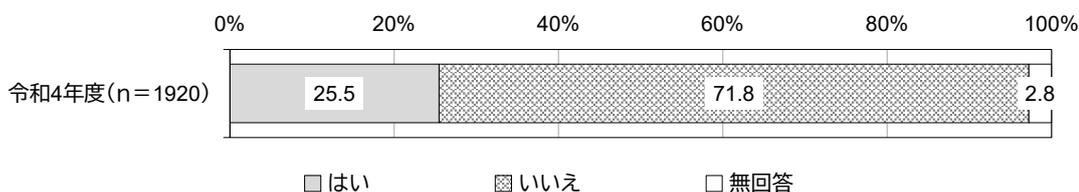
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「いいえ」は1.4ポイント高くなっています。



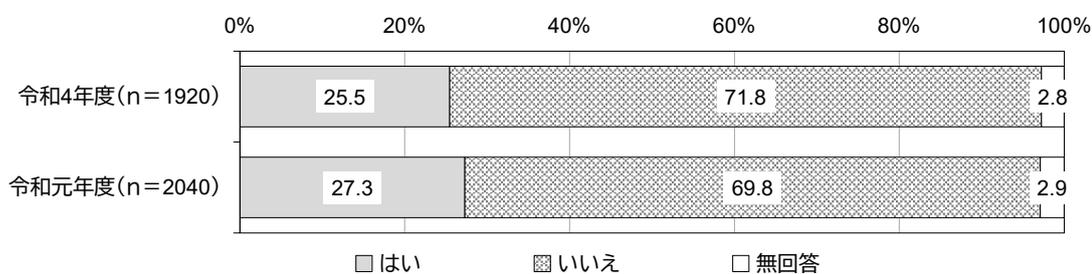
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つに○)

「いいえ」が71.8%、「はい」が25.5%となっています。



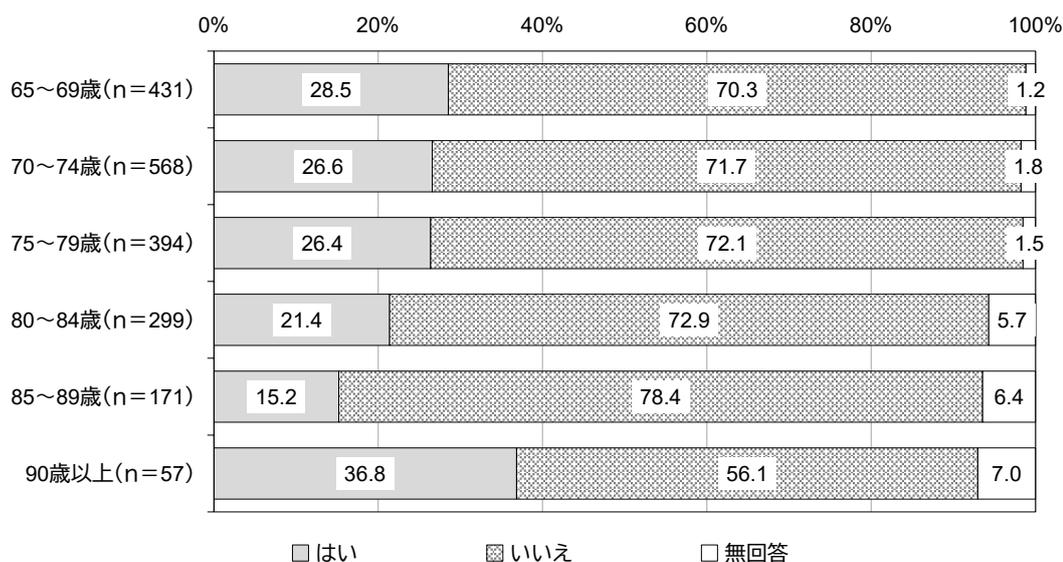
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「いいえ」は2.0ポイント高くなっています。



【年代別】

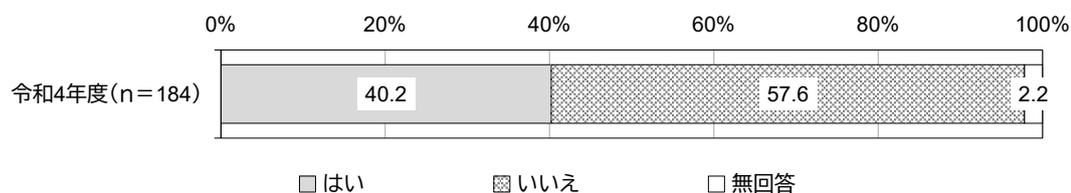
「はい」は90歳以上が他の年代より高くなっていますが、85～89歳までは若い年代ほど高くなっています。



※95～99歳 (n=4)は、90～94歳 (n=53)と合わせて表示

【認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいる場合】

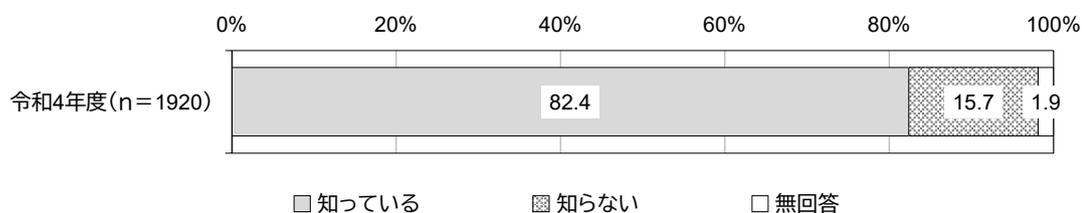
前問（9（1）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか）で「はい」（症状がある・いる）とした場合と合わせて見てみると、「はい」が40.2%で、本調査の全体値（25.5%）より14.7ポイント高くなっています。一方で、「いいえ」が57.6%で、半数以上が知らないと答えています。



10 災害時の避難について

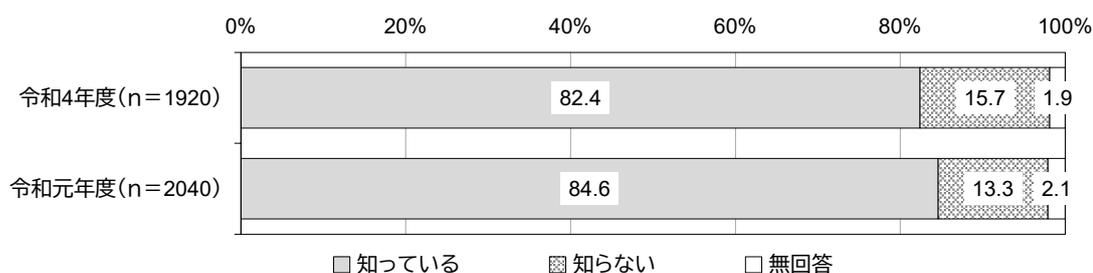
(1) あなたがお住まいの地域の避難場所について知っていますか（1つに○）

「知っている」が82.4%、「知らない」が15.7%となっています。



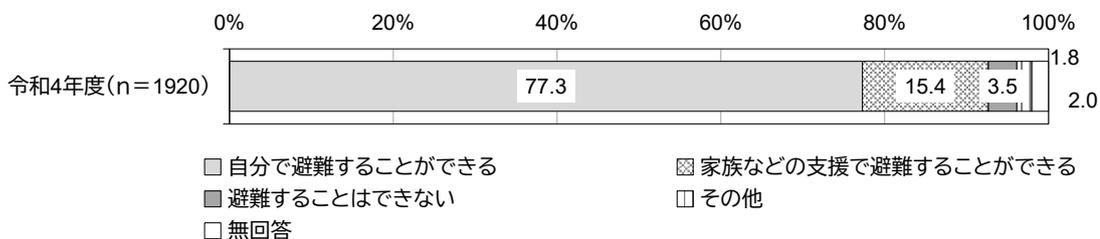
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「知らない」は2.4ポイント高くなっています。



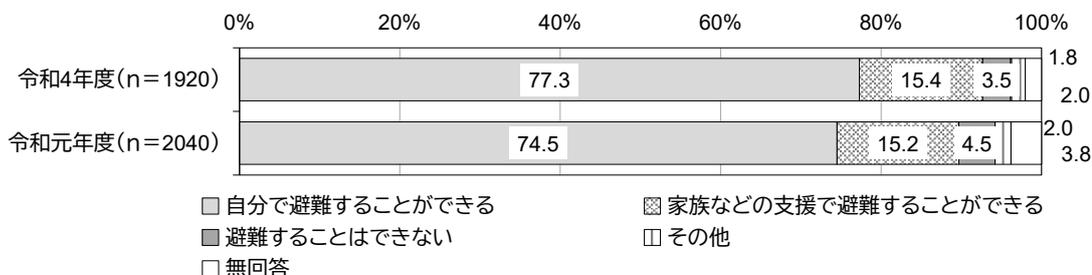
**(2) 災害の際に避難することはできますか（避難所のほか親族宅等も含む）
（1つに○）**

「自分で避難することができる」が77.3%で最も高く、次いで「家族などの支援で避難することができる」が15.4%となっています。



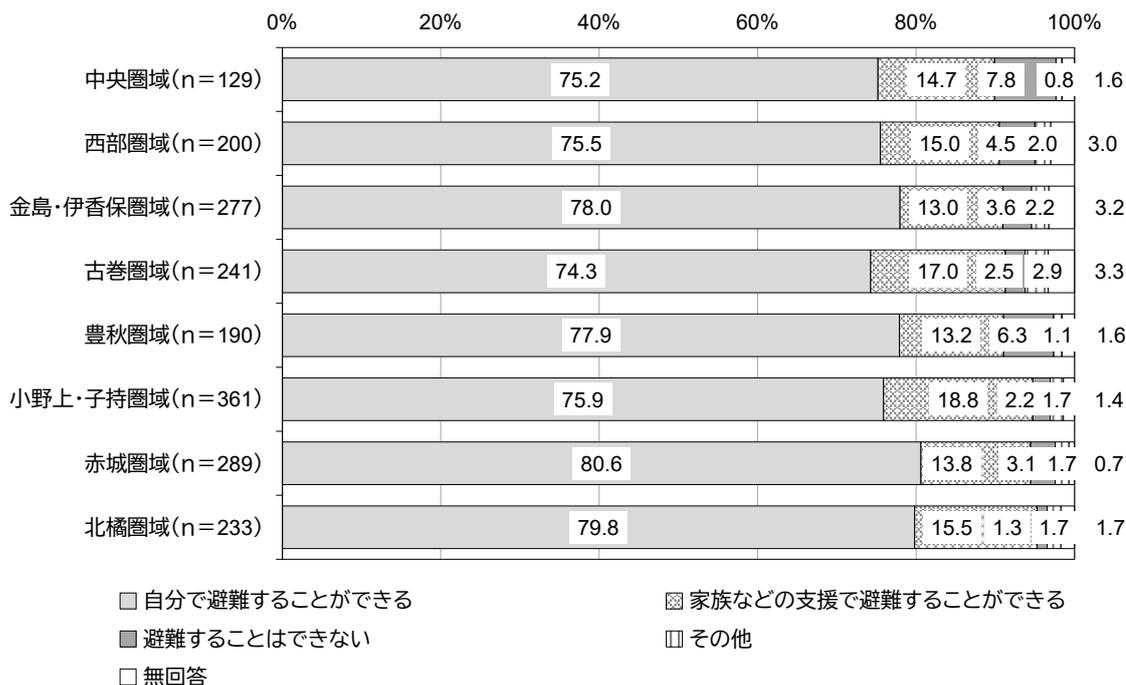
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「自分で避難することができる」は2.8ポイント高くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、「自分で避難することができる」が最も高いのは赤城圏域の80.6%で、次いで北橋圏域の79.8%となっています。



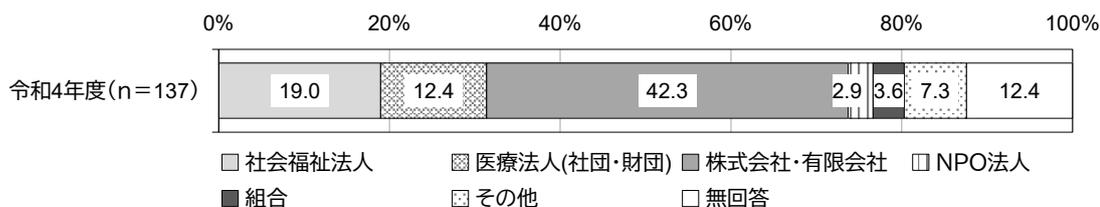
IV 調査結果 事業所調査

1 事業所の状況について

問1 貴事業所についてお答えください

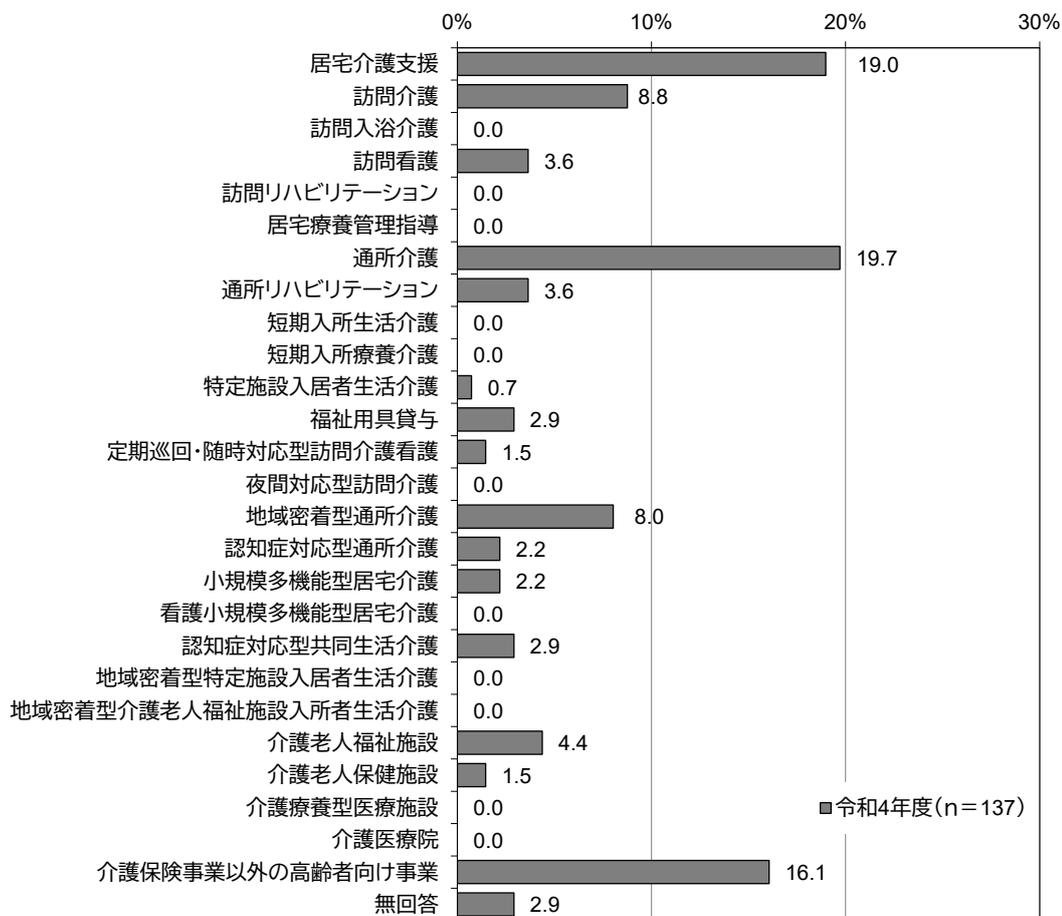
【法人種別】

「株式会社・有限会社」が42.3%で最も高く、次いで「社会福祉法人」が19.0%、「医療法人（社団・財団）」が12.4%となっています。



【サービス種類】

「通所介護」が19.7%、「居宅介護支援」が19.0%、次いで「介護保険事業以外の高齢者向け事業」が16.1%となっています。

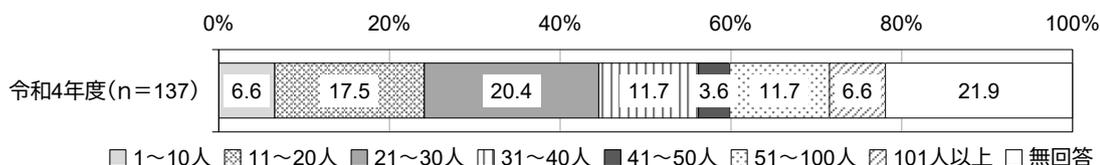


2 利用者数・利用状況について

問2 貴事業所のサービス利用人数についてお答えください（令和5年2月1日時点）

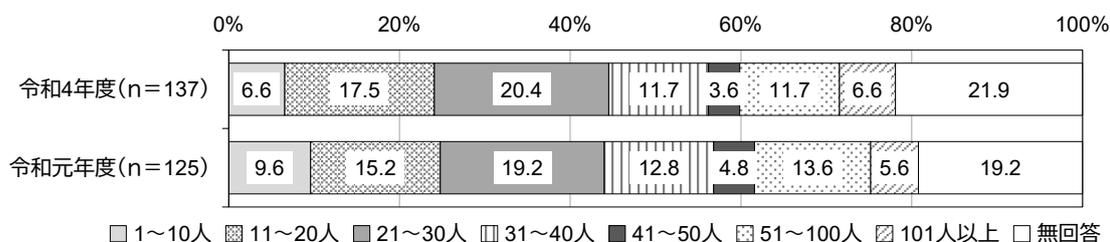
【利用定員（設定がある場合）】

「21～30人」が20.4%で最も高く、次いで「11～20人」が17.5%となっています。



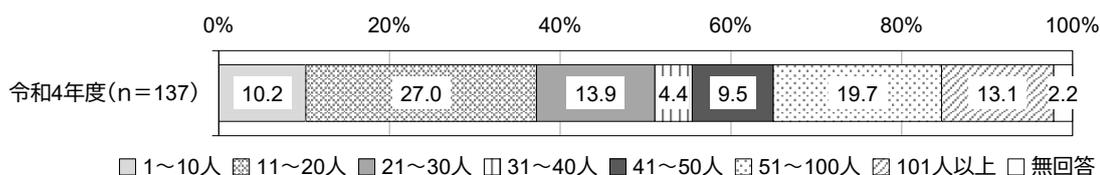
【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「1～10人」が3.0ポイント低い一方で、「11～20人」が2.3ポイント高くなっています。



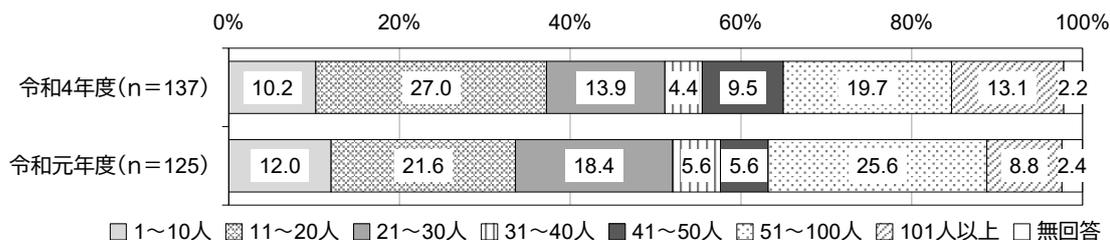
【利用者数（実人数）】

「11～20人」が27.0%で最も高く、次いで「51～100人」が19.7%となっています。



【経年比較】

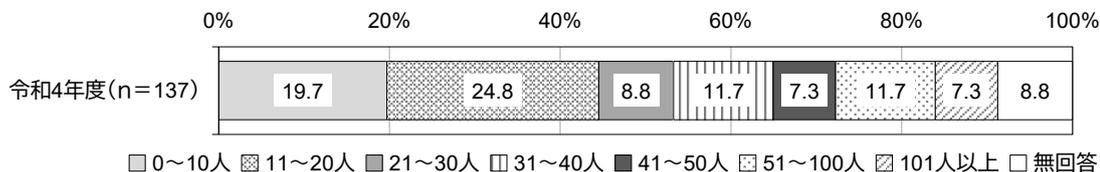
前回調査と比較すると、「11～20人」は5.4ポイント高い一方で、「51～100人」は5.9ポイント低くなっています。



問3 サービス利用人数内訳についてお答えください（令和5年2月1日時点）

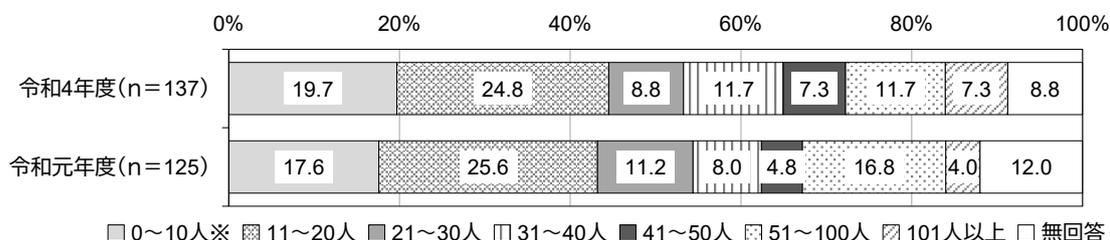
【渋川市被保険者】

「11～20人」が24.8%で最も高く、次いで「0～10人」が19.7%となっています。



【経年比較】

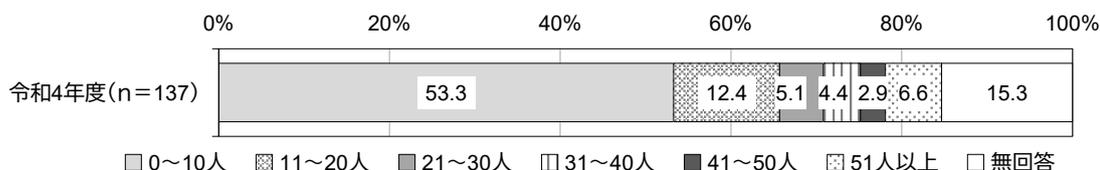
前回調査と比較すると、「51～100人」（11.7%）は5.1ポイント低くなっています。



※前回調査は「1～10人」

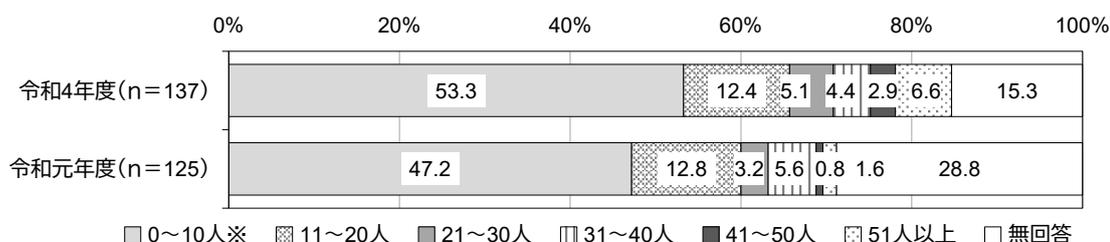
【他市町村被保険者】

「0～10人」が53.3%で最も高く、次いで「11～20人」が12.4%となっています。



【経年比較】

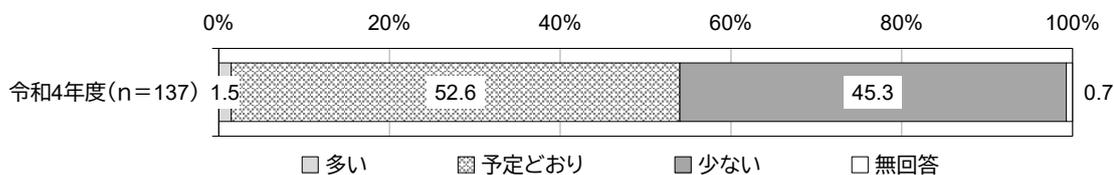
前回調査と比較すると、「51人以上」が5.0ポイント高くなっています。



※前回調査は「1～10人」

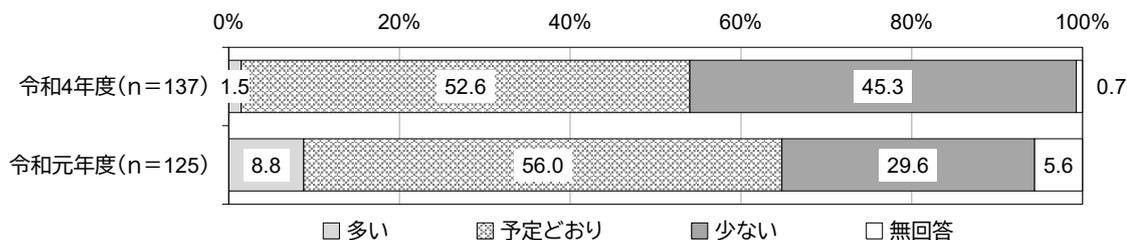
**問4 貴事業所が行っているサービスの利用状況について伺います。
当初見込んだ利用量と比較してどのようになっていますか（1つに○）**

「予定どおり」が52.6%で最も高く、次いで「少ない」が45.3%となっています。



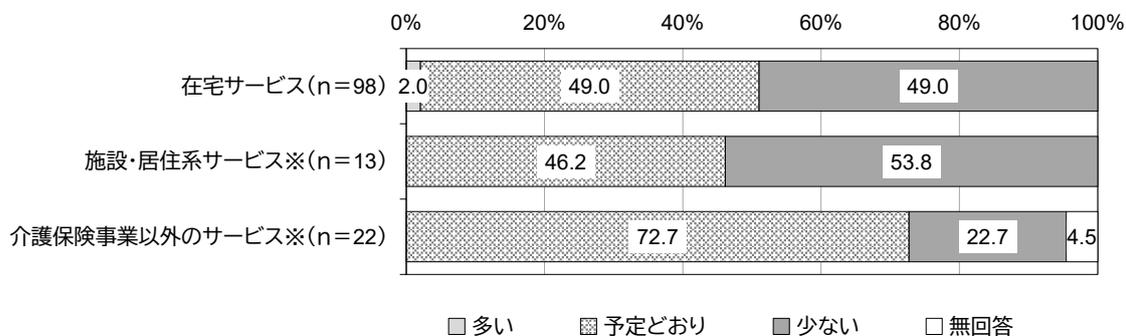
【経年比較】

前回調査と比較すると、「少ない」は15.7ポイント高くなっています。



【サービス種別】

サービス種別でみると、「介護保険事業以外のサービス」は「予定どおり」が72.7%で高い一方、「在宅サービス」と「施設・居住系サービス」は「少ない」が5割前後となっています。



※問1における「介護保険事業以外の高齢者向け事業」は「介護保険事業以外のサービス」に分類

問4-1 その主な理由をどうお考えですか（1つに○）

問4で「多い」と回答した場合

該当する2件の回答内容は以下となっています。

- ・「サービスの内容や質が、利用者に評価されたから」、「その他」(記入:県外からの転入による利用)が各1件

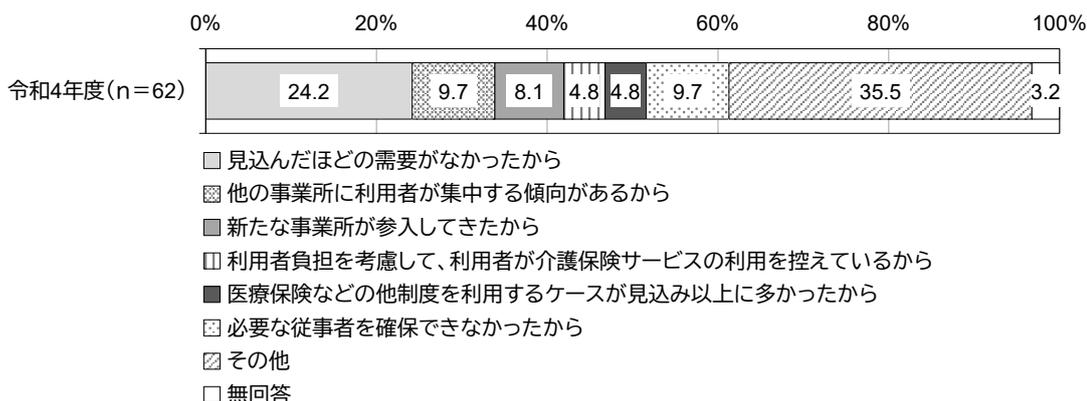
※選択肢は5つ（「サービスの内容や質が、利用者に評価されたから」「広報活動等により、一定以上の利用者を確保できたから」「必要なサービスの利用について、利用者の理解を得られるよう努めたから」「見込み以上の需要があったから」「その他」）を設定

問4-2 その主な理由をどうお考えですか（1つに○）

問4で「少ない」と回答した場合

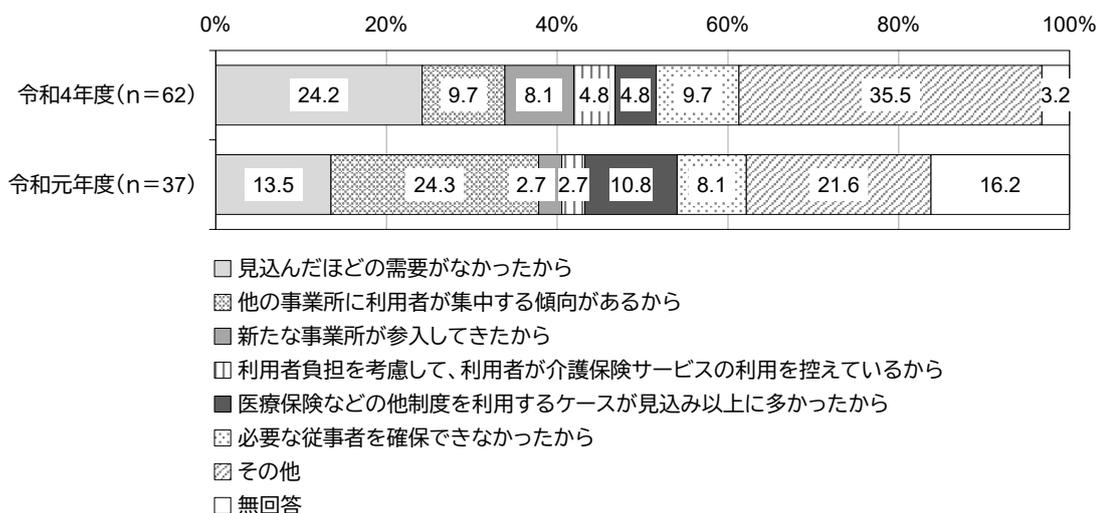
「見込んだほどの需要がなかったから」が24.2%で最も高く、次いで「他の事業所に利用者が集中する傾向があるから」と「必要な従事者を確保できなかったから」がそれぞれ9.7%、「新たな事業所が参入してきたから」が8.1%となっています。

また、「その他」の内容として、新型コロナウイルス感染症の影響に関する記述が複数見られました。



【経年比較】

前回調査と比較すると、「見込んだほどの需要がなかったから」は10.7ポイント高く、「他の事業所に利用者が集中する傾向があるから」は14.6ポイント低くなっています。



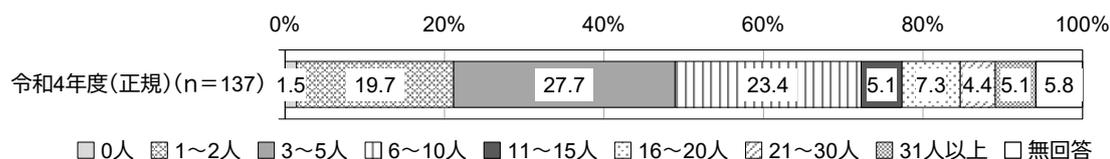
3 職員の状況について

問5 貴事業所の職員についてお答えください

【職員数（記入日時点）】

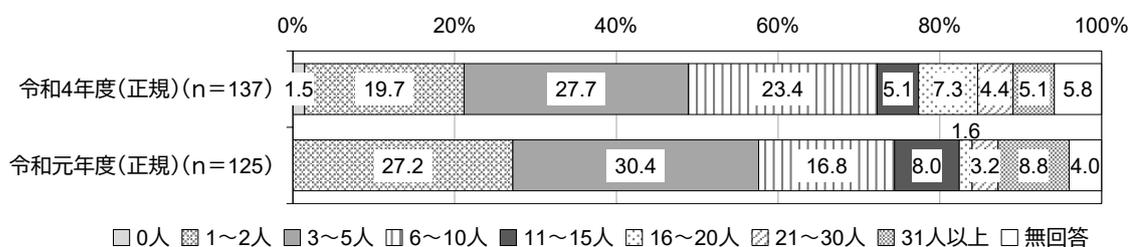
○正規職員数

「3～5人」が27.7%で最も高く、次いで「6～10人」が23.4%となっています。



【経年比較】

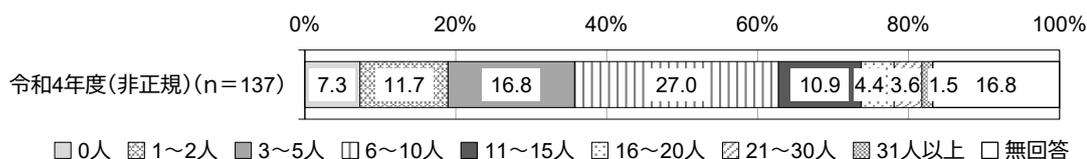
前回調査と比較すると、「1～2人」は7.5ポイント低くなっています。



※「0人」は本調査のみ

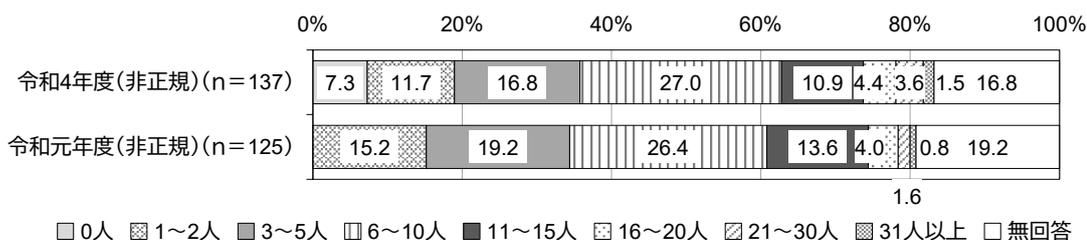
○非正規職員数

「6～10人」が27.0%で最も高く、次いで「3～5人」が16.8%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、合計値『16人以上』は、前回調査（6.4%）より3.1ポイント高くなっています。

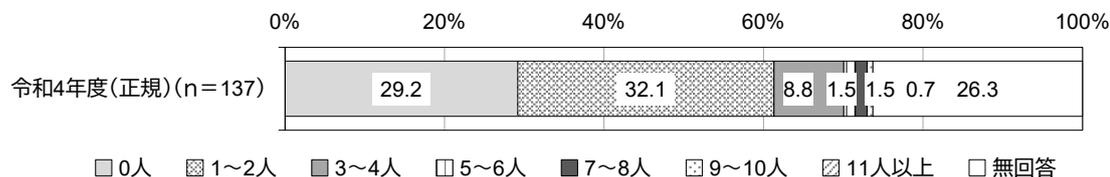


※「0人」は本調査のみ

【採用人数（前年1月～12月）】

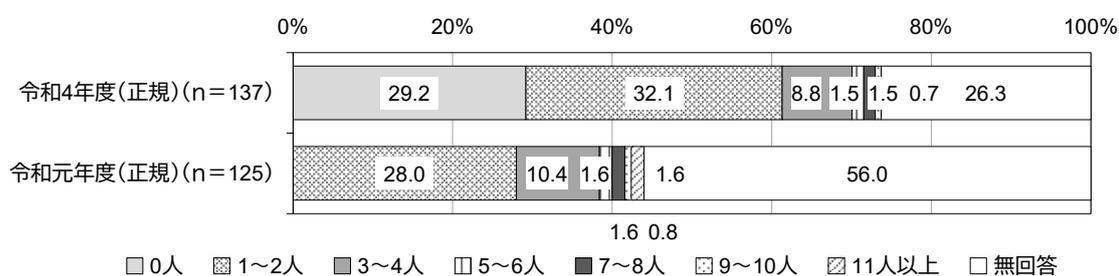
○正規職員数

「1～2人」が32.1%、「0人」が29.2%で同程度に高く、次いで「3～4人」が8.8%となっています。



【経年比較】

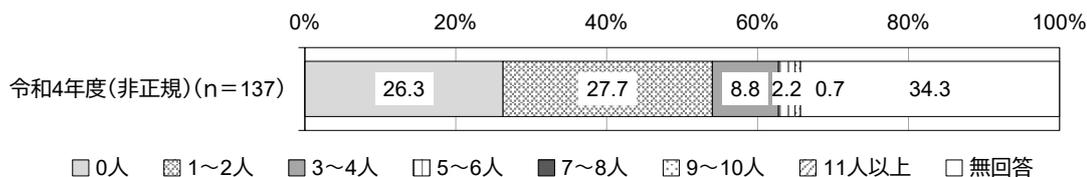
前回調査では「無回答」(56.0%)が高いため、以下に参考として示します。



※「0人」は本調査のみ

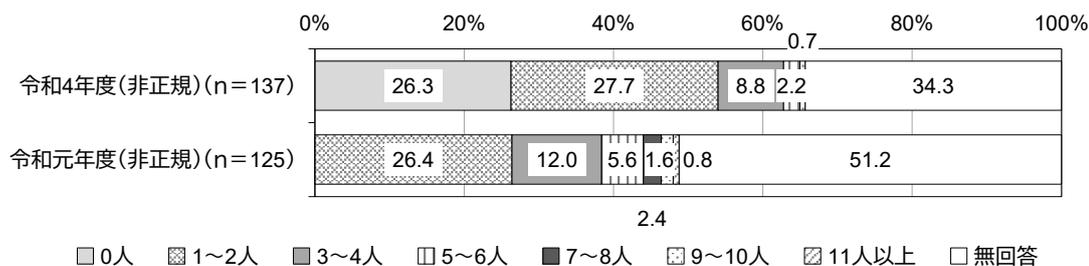
○非正規職員数

「1～2人」が27.7%、「0人」が26.3%で同程度に高く、次いで「3～4人」が8.8%となっています。



【経年比較】

前回調査では「無回答」(51.2%)が高いため、以下に参考として示します。

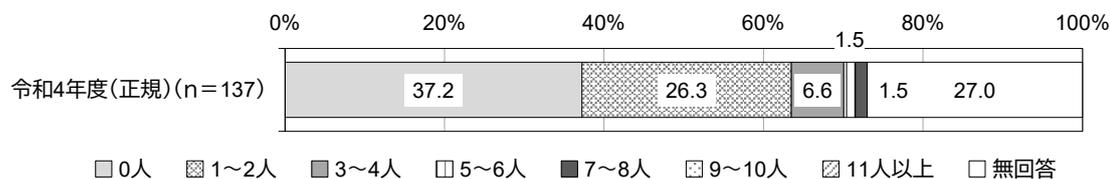


※「0人」は本調査のみ

【離職人数（前年1月～12月）】

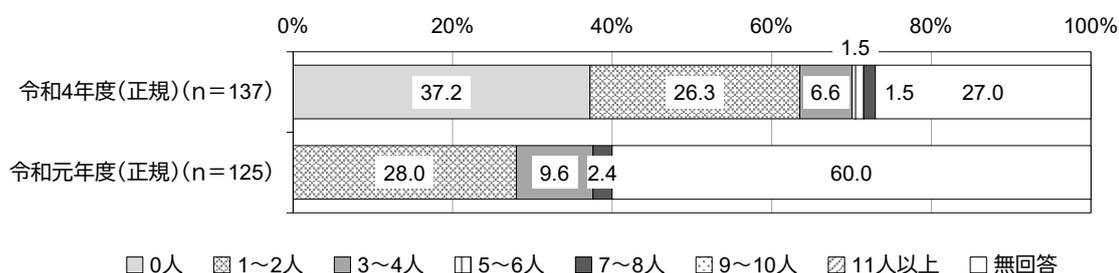
○正規職員数

「0人」が37.2%で最も高く、次いで「1～2人」が26.3%となっています。



【経年比較】

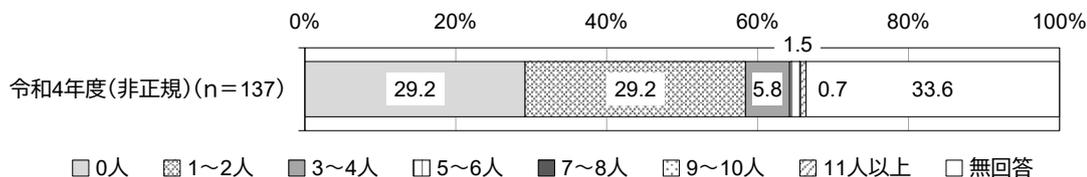
前回調査では「無回答」(60.0%)が高いため、以下に参考として示します。



※「0人」は本調査のみ

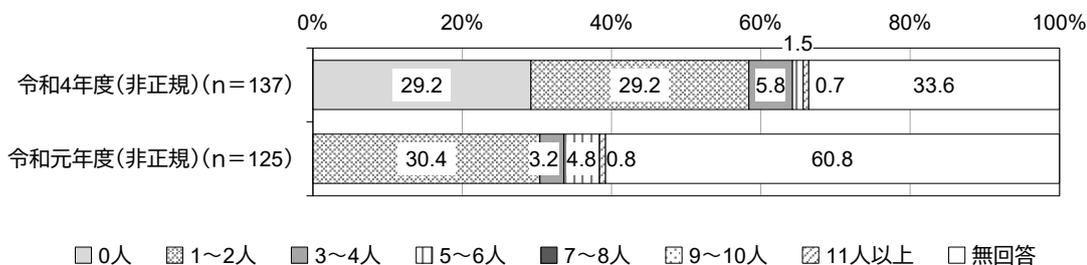
○非正規職員数

「0人」と「1～2人」がそれぞれ29.2%、次いで「3～4人」が5.8%となっています。



【経年比較】

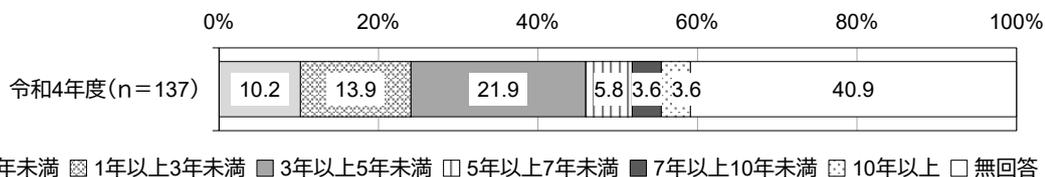
前回調査では「無回答」(60.8%)が高いため、以下に参考として示します。



※「0人」は本調査のみ

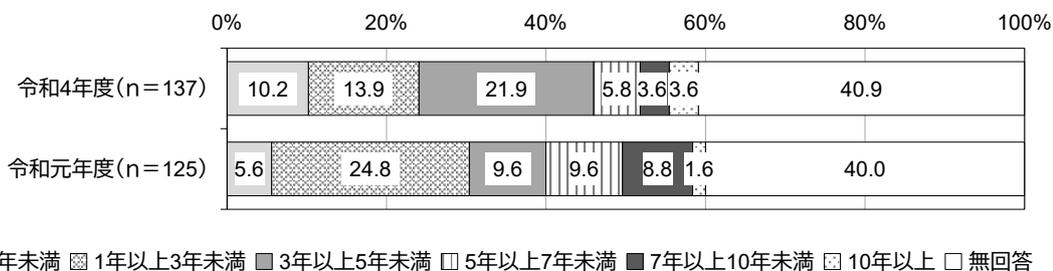
【離職者の平均勤続年数】

「3年以上5年未満」が21.9%で最も高く、次いで「1年以上3年未満」が13.9%、「1年未満」が10.2%となっています。



【経年比較】

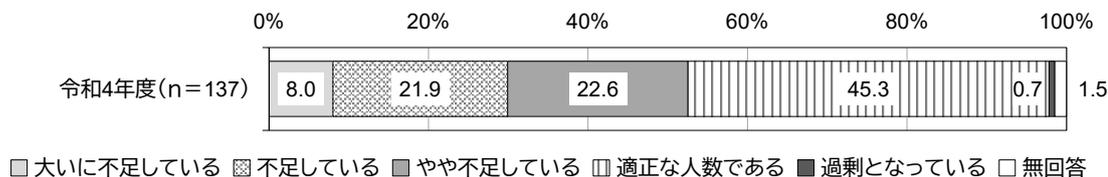
前回調査と比較すると、「3年以上5年未満」は12.3ポイント高く、「1年以上3年未満」は10.9ポイント低くなっています。



問6 貴事業所の職員の過不足等の状況はどうか（1つに○）

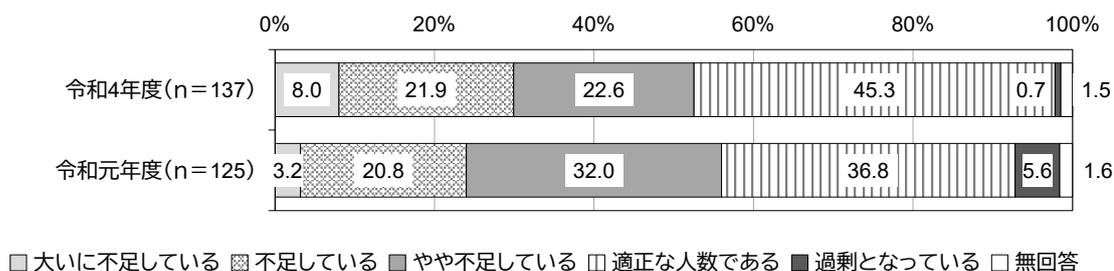
「適正な人数である」が45.3%で最も高く、次いで「やや不足している」が22.6%、「不足している」が21.9%となっています。

「大いに不足している」「不足している」「やや不足している」の合計値『不足』は52.5%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、「適正な人数である」は8.5ポイント高く、合計値『不足』は前回調査（56.0%）より3.5ポイント減少しています。

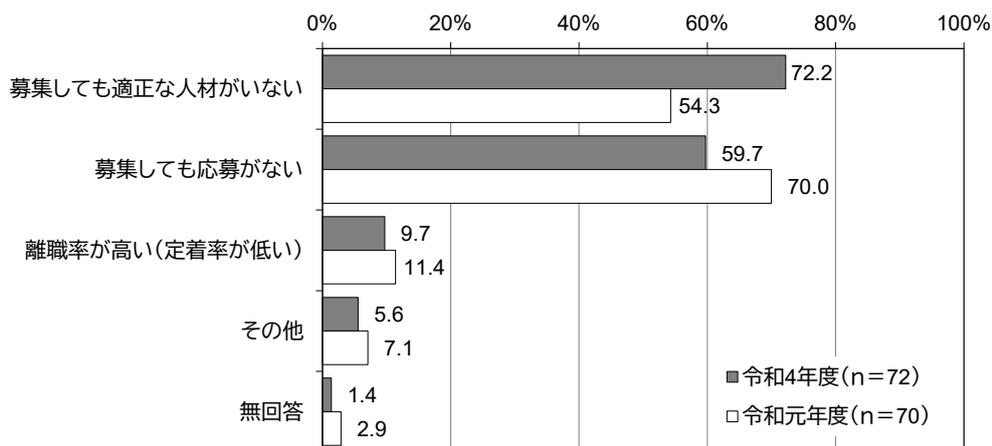


問6-1 職員が不足しているその主な理由をどうお考えですか（複数選択可）

問6で「大いに不足している」～「やや不足している」のいずれかを回答した場合

「募集しても適正な人材がない」が72.2%で最も高く、次いで「募集しても応募がない」が59.7%となっています。

前回調査と比較すると、前回調査で最も高い「募集しても応募がない」は10.3ポイント低くなっています。一方、「募集しても適正な人材がない」は17.9ポイント高くなっています。



問6-2 職員が不足しているのはどの職種ですか（3つまで記載）

問6で「大いに不足している」～「やや不足している」のいずれかを回答した場合

該当する72件の回答内容（記述）は以下となっています。

不足している職種	回答数(件)	不足している職種	回答数(件)
介護職員	54(40)	生活相談員	3
看護職員	12(12)	事務職員	2
調理職員	7(4)	送迎職員	1(1)
介護支援専門員	5(8)	機能訓練士	1
看護師	4(6)	理学療法士	1
夜勤職員	3(1)	サービス提供責任者	1

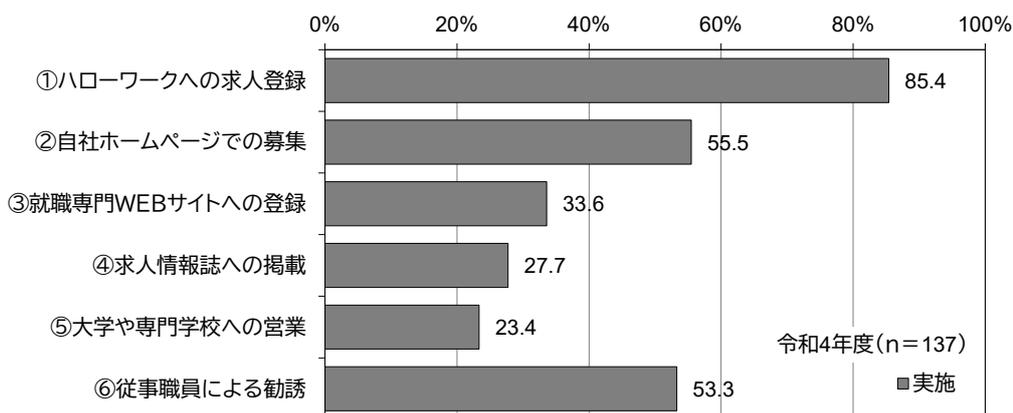
※概ね回答数が多い順に表示

※カッコ内は前回（該当70件）の回答数（前回回答がない職種はカッコ表示なし）

問7 貴事業所が行っている採用活動とその効果についてお答えください
(該当に○)

○実施有無

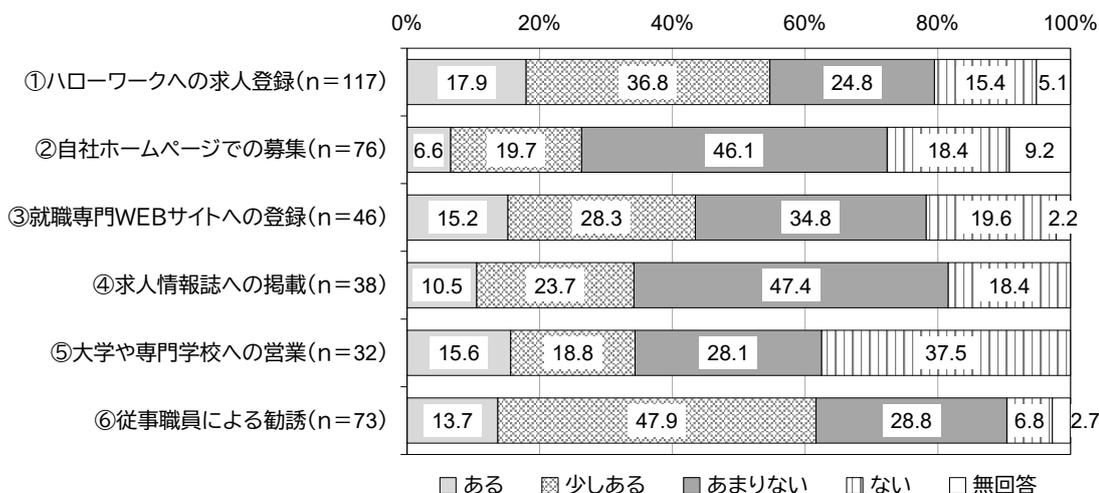
実施は「①ハローワークへの求人登録」が85.4%で最も高く、次いで「②自社ホームページでの募集」が55.5%、「⑥従事職員による勧誘」が53.3%となっています。



○実施効果

「①ハローワークへの求人登録」「⑥従事職員による勧誘」は「少しある」(それぞれ36.8%、47.9%)、「②自社ホームページでの募集」「③就職専門WEBサイトへの登録」「④求人情報誌への掲載」は「あまりない」(それぞれ46.1%、34.8%、47.4%)、「⑤大学や専門学校への営業」は「ない」(37.5%)が最も高くなっています。

「ある」「少しある」の合計値『効果あり』は「⑥従事職員による勧誘」が61.6%で最も高く、次いで「①ハローワークへの求人登録」が54.7%となっています。

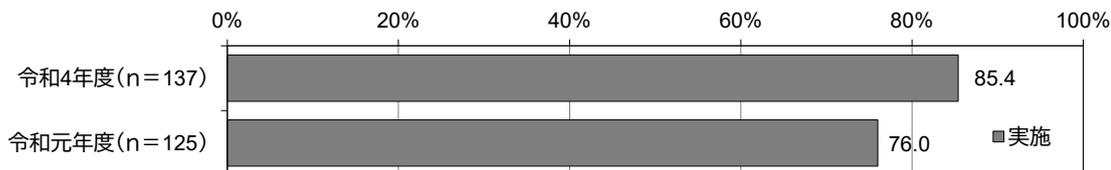


①ハローワークへの求人登録

○実施有無

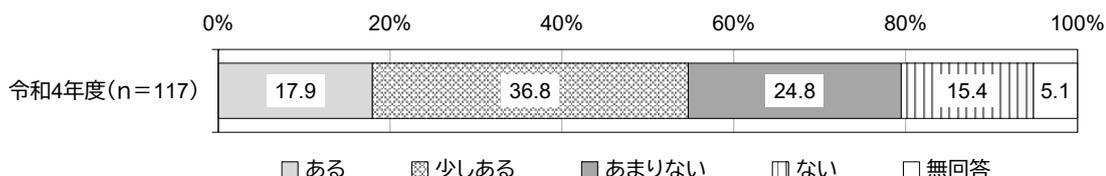
「実施」は85.4%となっています。

前回調査と比較すると、前回調査より9.4ポイント高くなっています。



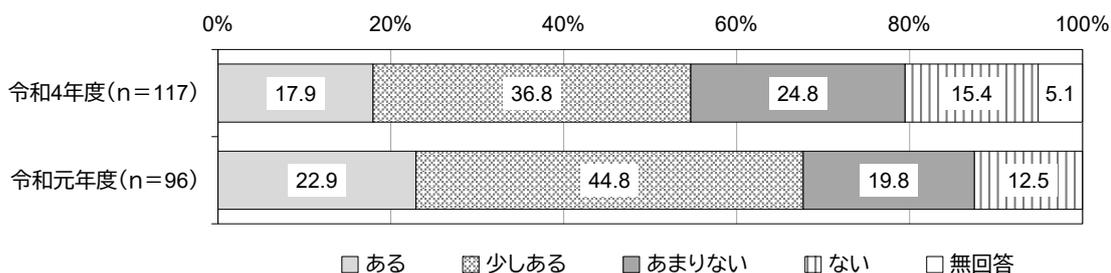
○実施効果

「少しある」が36.8%で最も高く、「ある」との合計値『効果あり』は54.7%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、前回調査でも「少しある」が44.8%で最も高くなっていました。合計値『効果あり』は前回調査（67.7%）より13.0ポイント低くなっています。

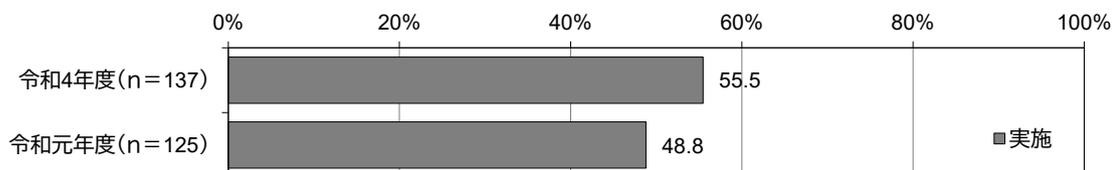


②自社ホームページでの募集

○実施有無

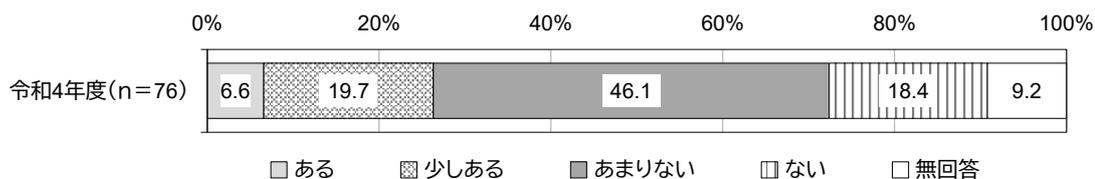
「実施」は55.5%となっています。

前回調査と比較すると、「実施」は6.7ポイント高くなっています。



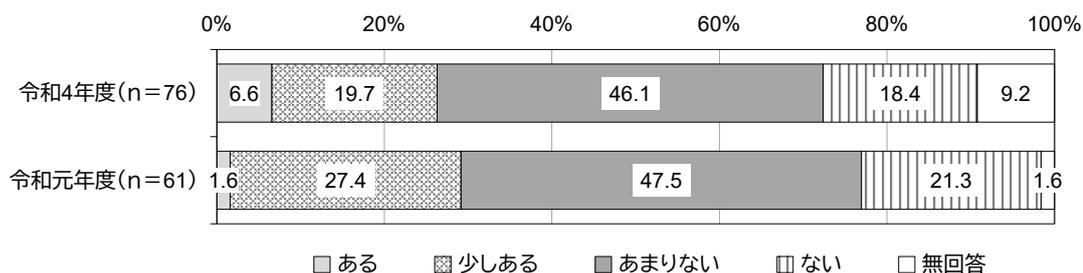
○実施効果

「あまりない」が46.1%で最も高く、「ある」と「少しある」の合計値『効果あり』は26.3%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、前回調査でも「あまりない」が47.5%で最も高くなっていました。合計値『効果あり』は前回調査（29.0%）より2.7ポイント低くなっています。

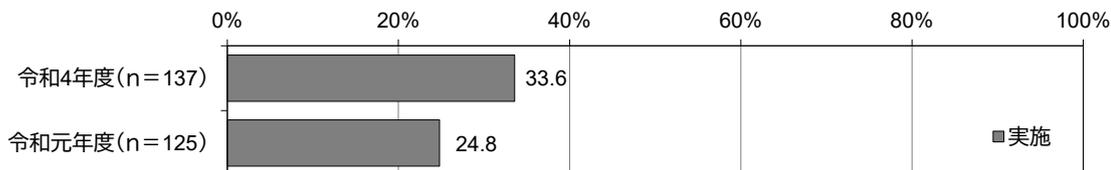


③就職専門WEBサイトへの登録

○実施有無

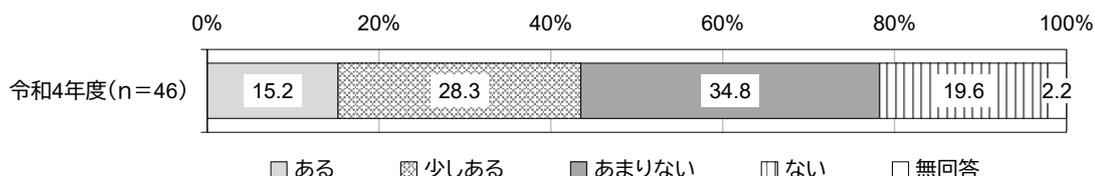
「実施」は33.6%となっています。

前回調査と比較すると、「実施」は8.8ポイント高くなっています。



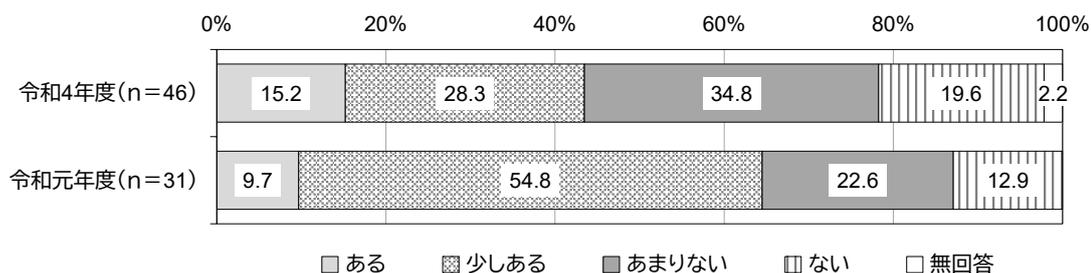
○実施効果

「あまりない」が34.8%で最も高く、「ある」と「少しある」の合計値『効果あり』は43.5%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、前回調査では「少しある」が54.8%で最も高くなっていました。合計値『効果あり』は前回調査（64.5%）より21.0ポイント低くなっています。

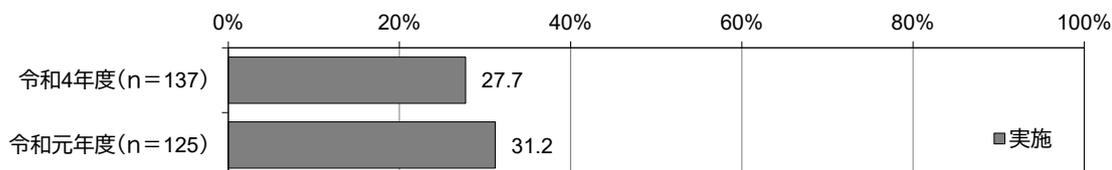


④求人情報誌への掲載

○実施有無

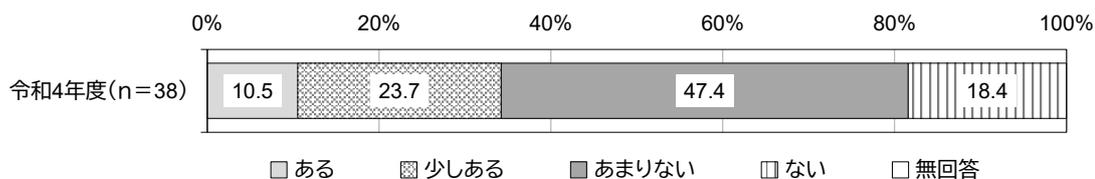
「実施」は27.7%となっています。

前回調査と比較すると、「実施」は3.5ポイント低くなっています。



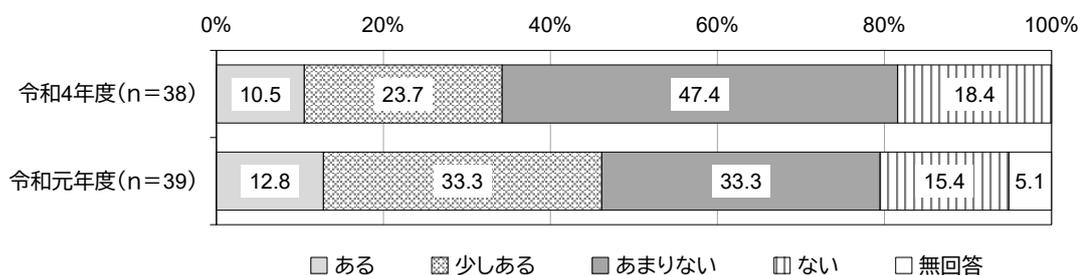
○実施効果

「あまりない」が47.4%で最も高く、「ある」と「少しある」の合計値『効果あり』は34.2%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、前回調査では「少しある」と「あまりない」が33.3%で高くなっていました。合計値『効果あり』は前回調査（46.1%）より11.9ポイント低くなっています。

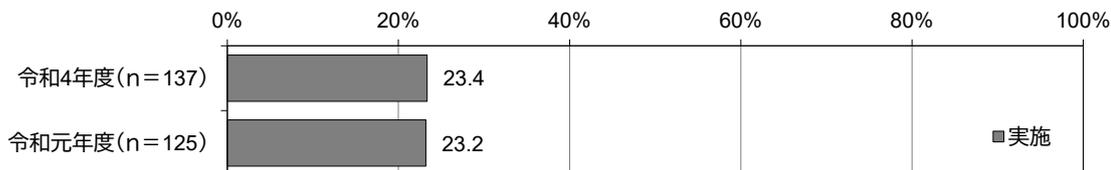


⑤大学や専門学校への営業

○実施有無

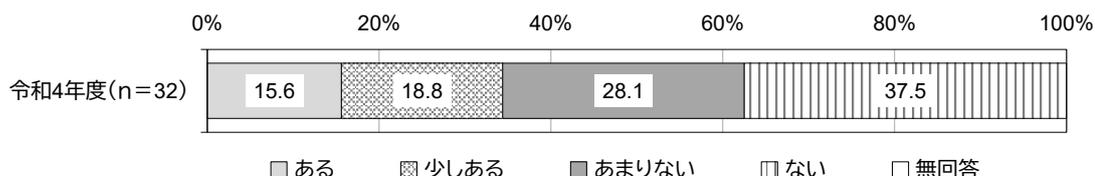
「実施」は23.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



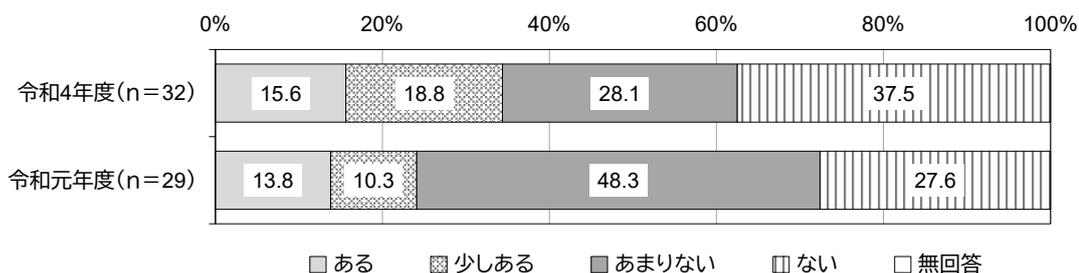
○実施効果

「ない」が37.5%で最も高く、「ある」と「少しある」の合計値『効果あり』は34.4%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、前回調査では「あまりない」が48.3%で最も高くなっていました。合計値『効果あり』は前回調査（24.1%）より10.3ポイント高くなっています。

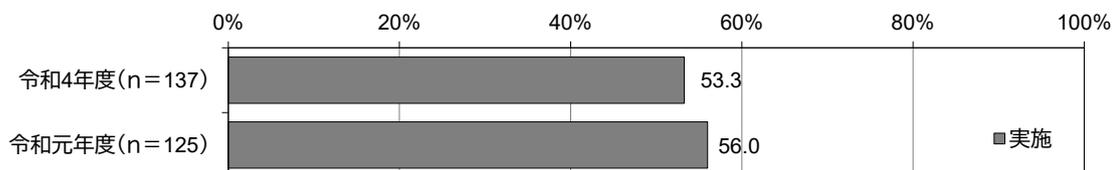


⑥従事職員による勧誘

○実施有無

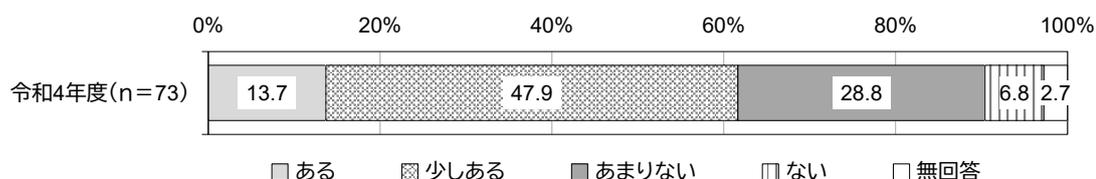
「実施」は53.3%となっています。

前回調査と比較すると、「実施」は2.7ポイント低くなっています。



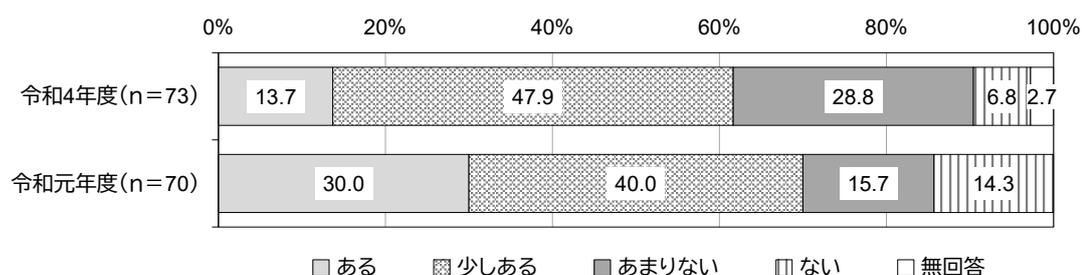
○実施効果

「少しある」が47.9%で最も高く、「ある」と「少しある」の合計値『効果あり』は61.6%となっています。



【経年比較】

前回調査と比較すると、前回調査でも「少しある」が40.0%で最も高くなっていました。合計値『効果あり』は前回調査（70.0%）より8.4ポイント低くなっています。



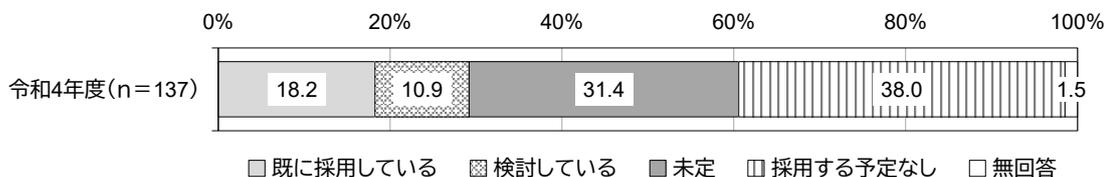
⑦その他

該当する7件の回答内容（記述）は以下となっています。

「その他」の実施内容	実施効果	「その他」の実施内容	実施効果
「合同就職説明会への参加」(2件)	「ない」(2件)	「SNS」(1件)	「ある」(1件)
「チラシ」(2件)	「ない」(2件)	「知人の紹介など」(1件)	「ある」(1件)
「派遣」(1件)	「少しある」(1件)		

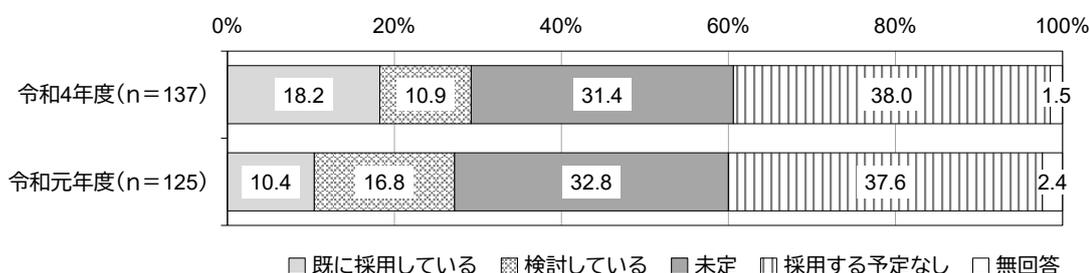
問8 外国人の採用についてお答えください（1つに○）

「採用する予定なし」が38.0%で最も高く、次いで「未定」が31.4%となっています。



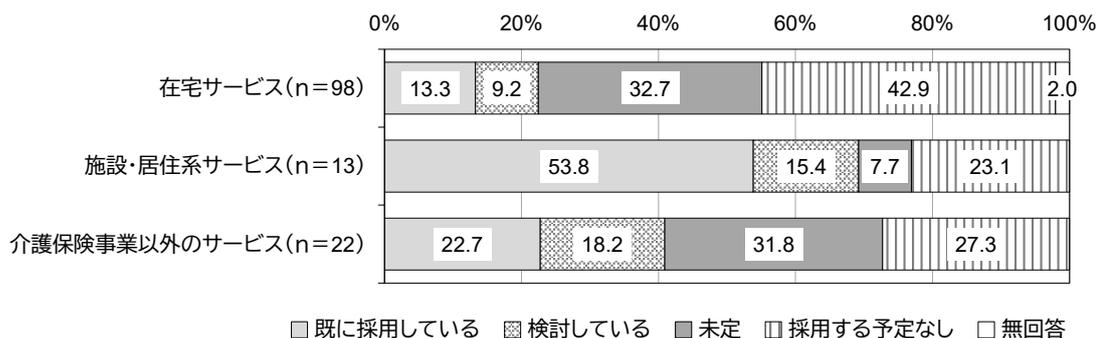
【経年比較】

前回調査と比較すると、「既に採用している」は7.8ポイント高くなっています。



【サービス種別】

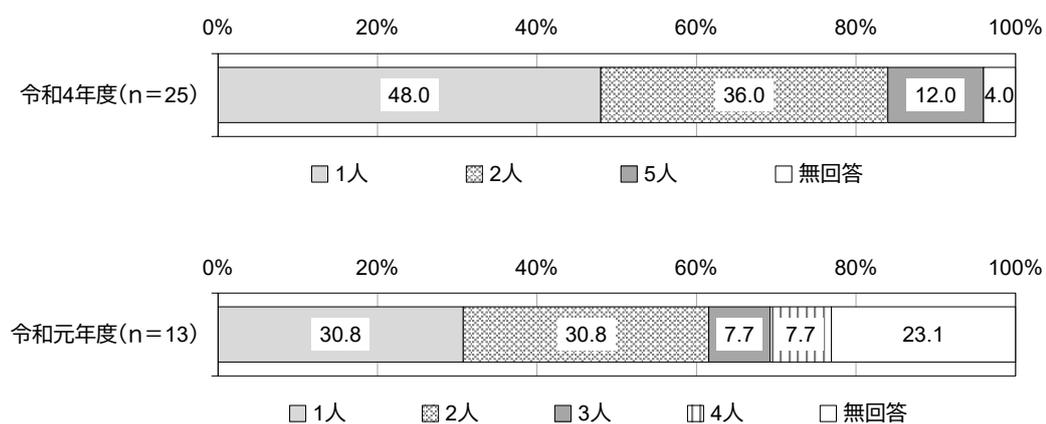
サービス種別でみると、「在宅サービス」は「採用する予定なし」が42.9%、「施設・居住系サービス」は「既に採用している」が53.8%、「介護保険事業以外のサービス」は「未定」が31.8%で、それぞれ最も高くなっています。



【「既に採用している」場合の人数】

「1人」が48.0%で最も高く、次いで「2人」が36.0%で、最も多い人数は「5人」となっています。

前回調査では「無回答」が高いため、参考として比較すると、前回調査でも「1人」「2人」が高くなっています。

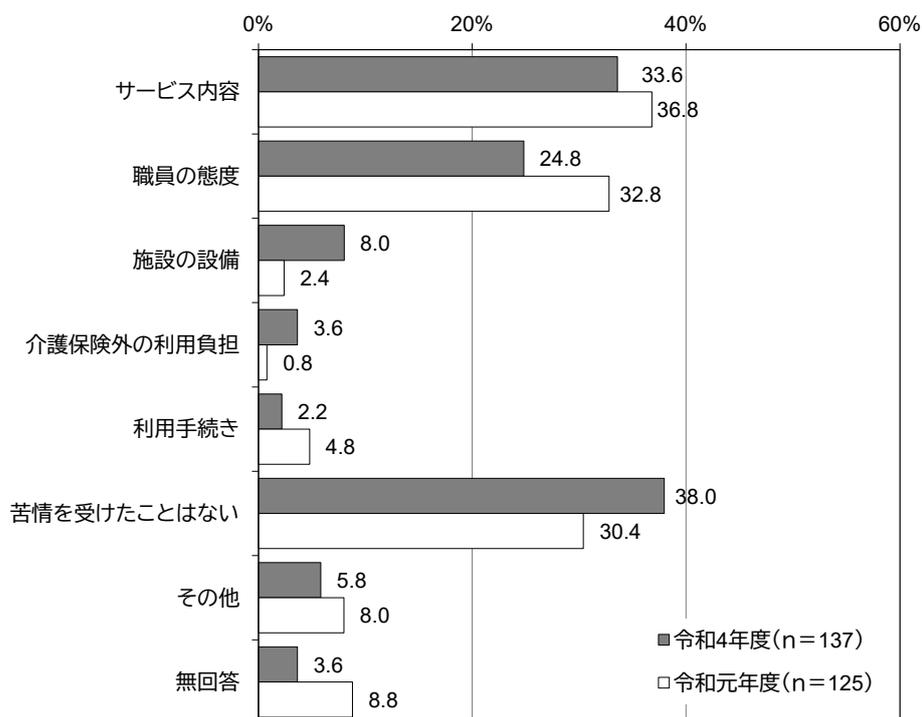


4 苦情への対応について

問9 これまでに、利用者本人やその家族から以下のような苦情を受けたことがありますか（複数選択可）

「苦情を受けたことはない」が38.0%で最も高く、次いで「サービス内容」が33.6%、「職員の態度」が24.8%となっています。

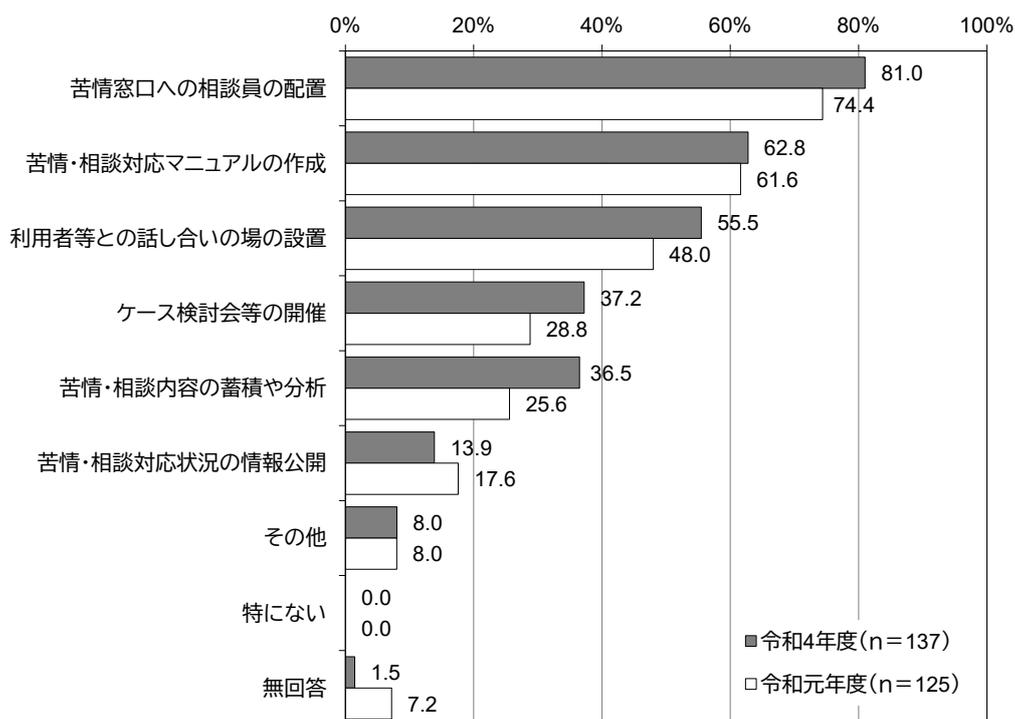
前回調査と比較すると、「苦情を受けたことはない」は前回調査（30.4%）より7.6ポイント高く、「職員の態度」は8.0ポイント低くなっています。



**問 10 貴事業所は苦情について、どのような取り組みをしていますか
(複数選択可)**

「苦情窓口への相談員の配置」が81.0%で最も高く、次いで「苦情・相談対応マニュアルの作成」が62.8%となっています。

前回調査と比較すると、「苦情・相談内容の蓄積や分析」(36.5%)は10.9ポイント高くなっています。

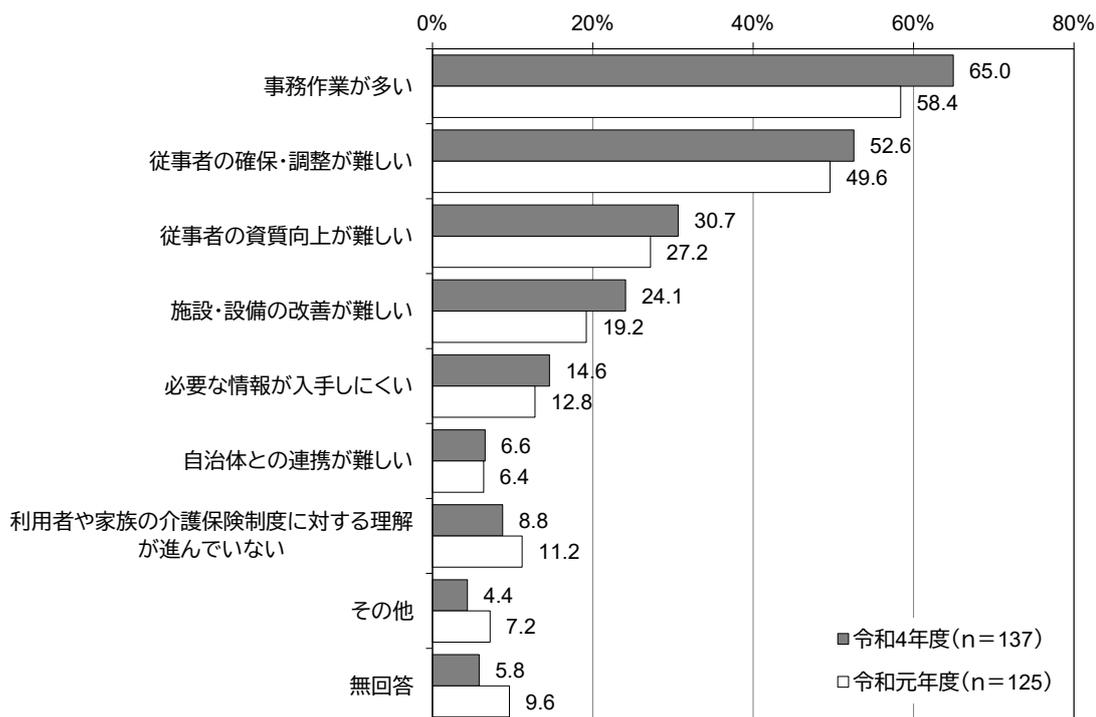


5 事業運営について

問 11 円滑な事業運営を進めていく上で、困難を感じることはどのようなことですか（主なものを3つまでに○）

「事務作業が多い」が 65.0%で最も高く、次いで「従事者の確保・調整が難しい」が 52.6%となっています。

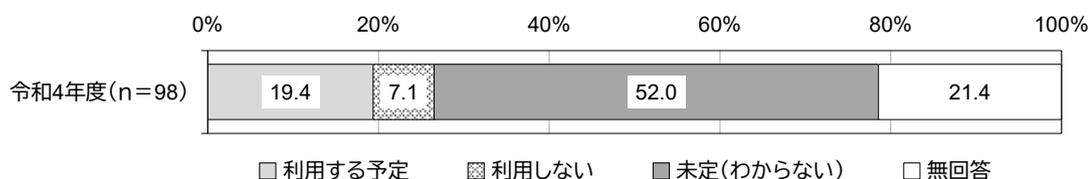
前回調査と比較すると「事務作業が多い」は 6.6 ポイント高くなっています。



問 12 貴事業所では国がすすめる「ケアプランデータ連携システム」*を利用する予定ですか（1つに○）

居宅サービス事業所（施設・居住系サービス以外）の場合

「未定（わからない）」が52.0%で最も高く、次いで「利用する予定」が19.4%となっています。



問 12-1 いつごろから利用する予定ですか

居宅サービス事業所（施設・居住系サービス以外）の場合

該当する 19 件の回答内容（記述）は以下となっています。

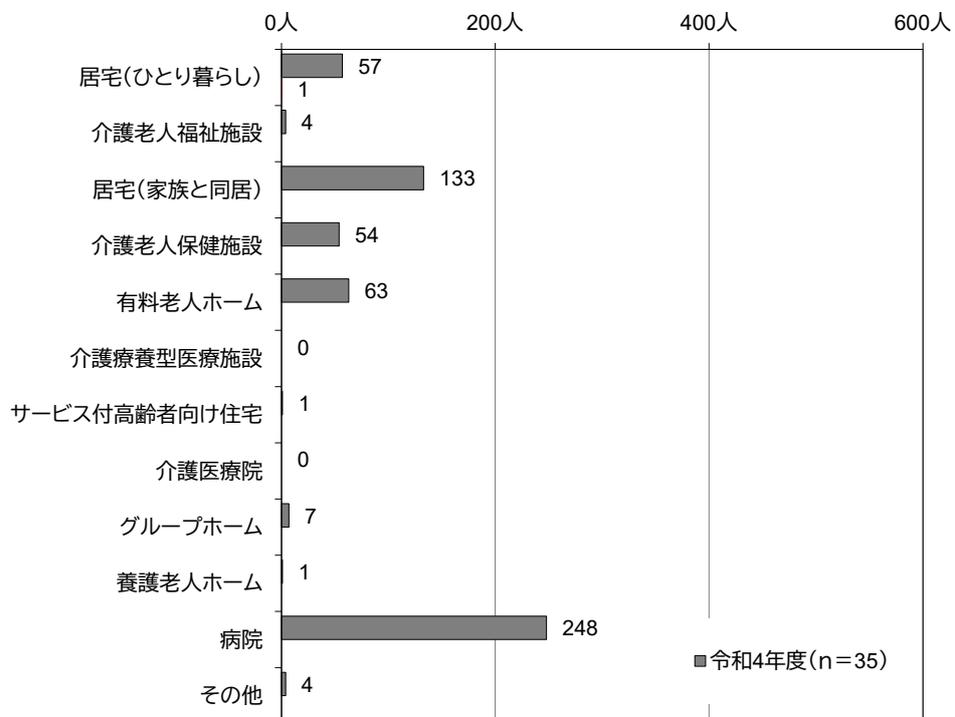
利用開始予定時期	回答数(件)
令和 5 年 4 月ごろ	7
令和 5 年 5 月ごろ	3
令和 5 年 6 月ごろ	1
令和 5 年 8 月ごろ	1
令和 5 年 12 月ごろ	1
令和 6 年 4 月ごろ	1
令和 6 年中	1
無記入	4

*調査票では「ケアプランデータ連携システム」について、「国では、介護職の事務負担の軽減やサービスの質の向上につなげるため、ケアプランやサービス利用票をオンライン化する「ケアプランデータ連携システム」を整備し、令和5年4月から本格稼働するとしています。」と説明文を付加

問 13 入所（入居）前の居所についてお答えください（前年1月～12月までの状況）

施設・居住系サービス事業所の場合

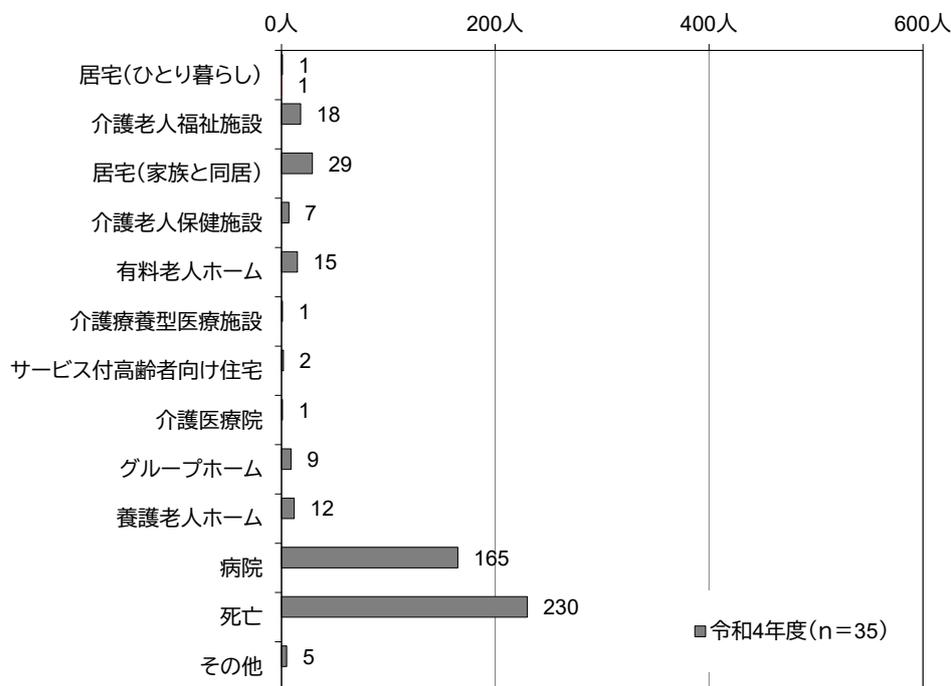
「病院」が248人で最も多く、次いで「居宅（家族と同居）」が133人となっています。



問 14 退所（退去）後の居所についてお答えください（前年1月～12月までの状況）

施設・居住系サービス事業所の場合

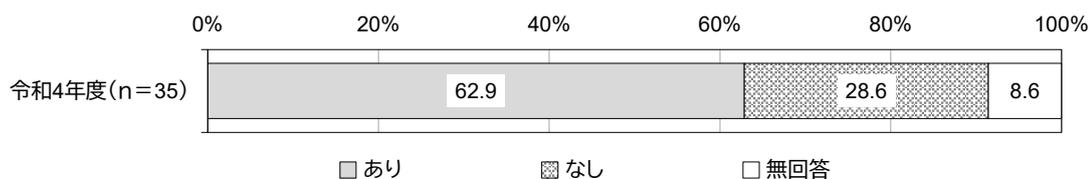
「死亡」が230人で最も多く、次いで「病院」が165人となっています。



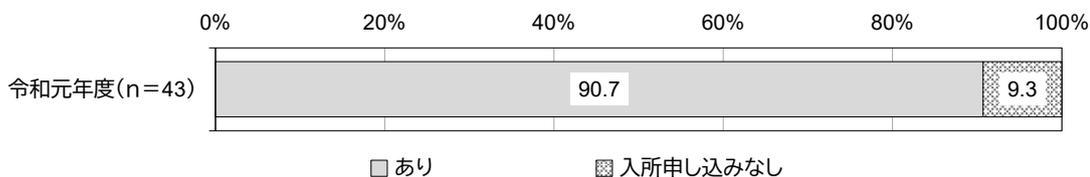
問 15 現在の入所待機の状況についてお答えください。（令和5年2月1日時点）

施設・居住系サービス事業所の場合

「あり」が62.9%、「なし」が28.6%となっています。

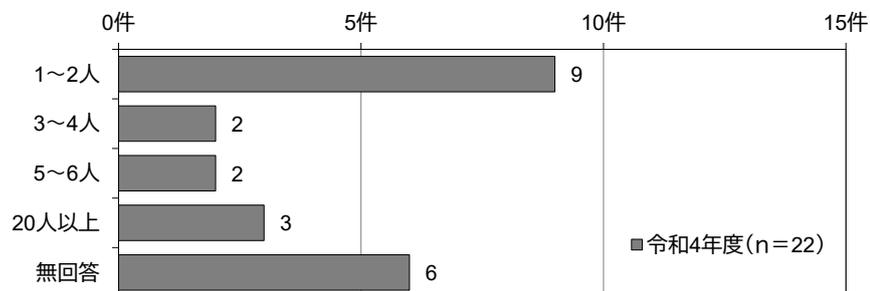


前回調査とは集計方法が異なるため、参考として示します。



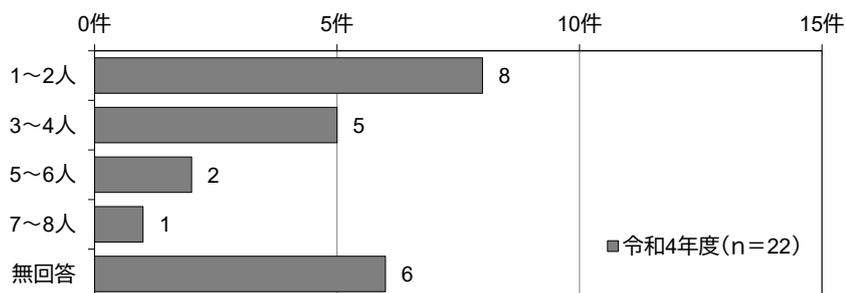
【入所申し込み人数】

入所待機「あり」の場合の入所申し込み人数をみると、「1～2人」が9件で最も多く、次いで「20人以上」が3件となっています。



【相談・問い合わせ人数】

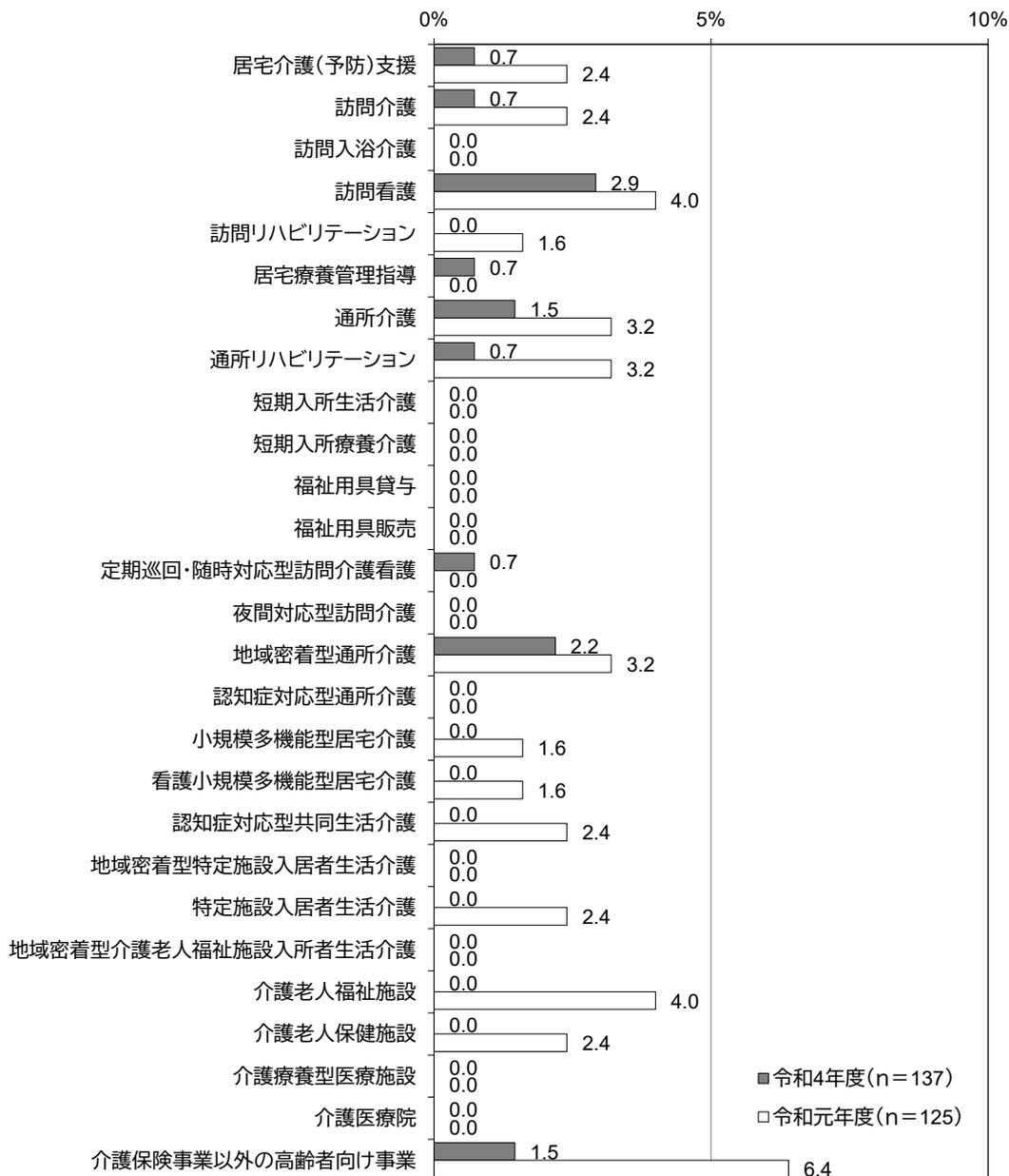
入所待機「あり」の場合の相談・問い合わせ人数をみると、「1～2人」が8件で最も多く、次いで「3～4人」が5件となっています。



問 16 現在、浜川市内において新規参入または事業拡大を検討しているサービスがありますか（複数選択可）

「訪問看護」「地域密着型通所介護」などが比較的高くなっています。

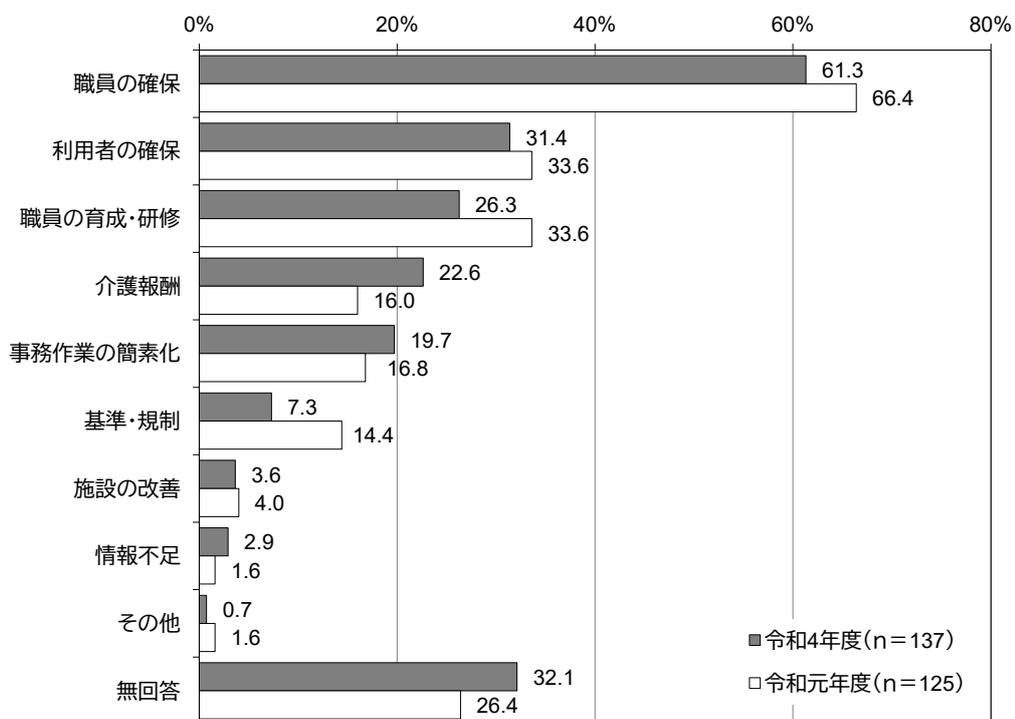
前回調査と比較すると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」以外のサービス種別では、増加は見られません。



問 17 新規参入や事業拡大を考える場合に、課題や問題となることはどのようなことですか（主なものを3つまでに○）

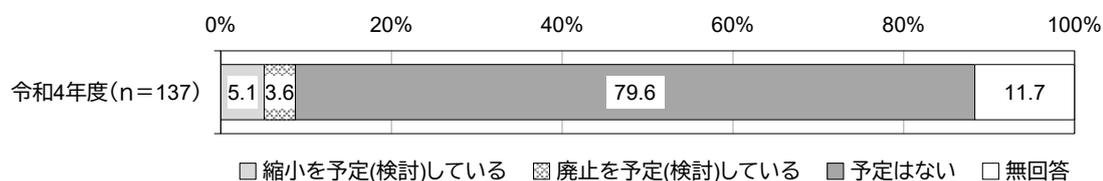
「職員の確保」が61.3%で最も高く、次いで「利用者の確保」が31.4%となっています。

前回調査と比較すると、「介護報酬」「事務作業の簡素化」がそれぞれ高くなっています。



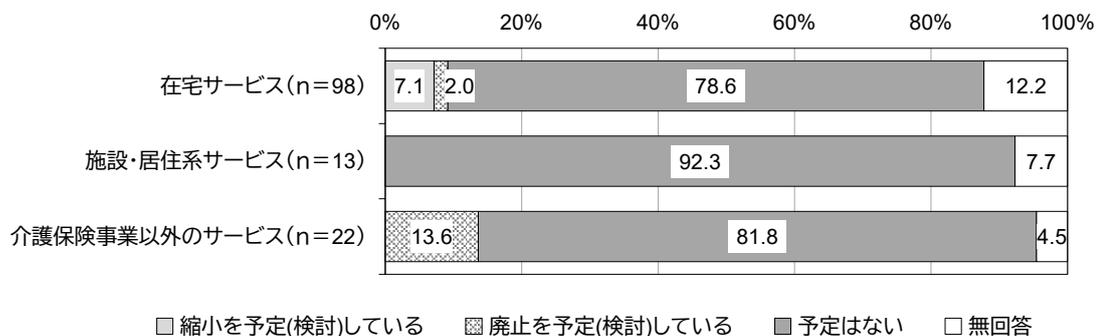
問 18 貴事業所では、事業縮小や事業廃止を予定（検討）していますか（1つに○）

「予定はない」が79.6%で最も高く、「縮小を予定（検討）している」が5.1%、「廃止を予定（検討）している」が3.6%となっています。



【サービス種別】

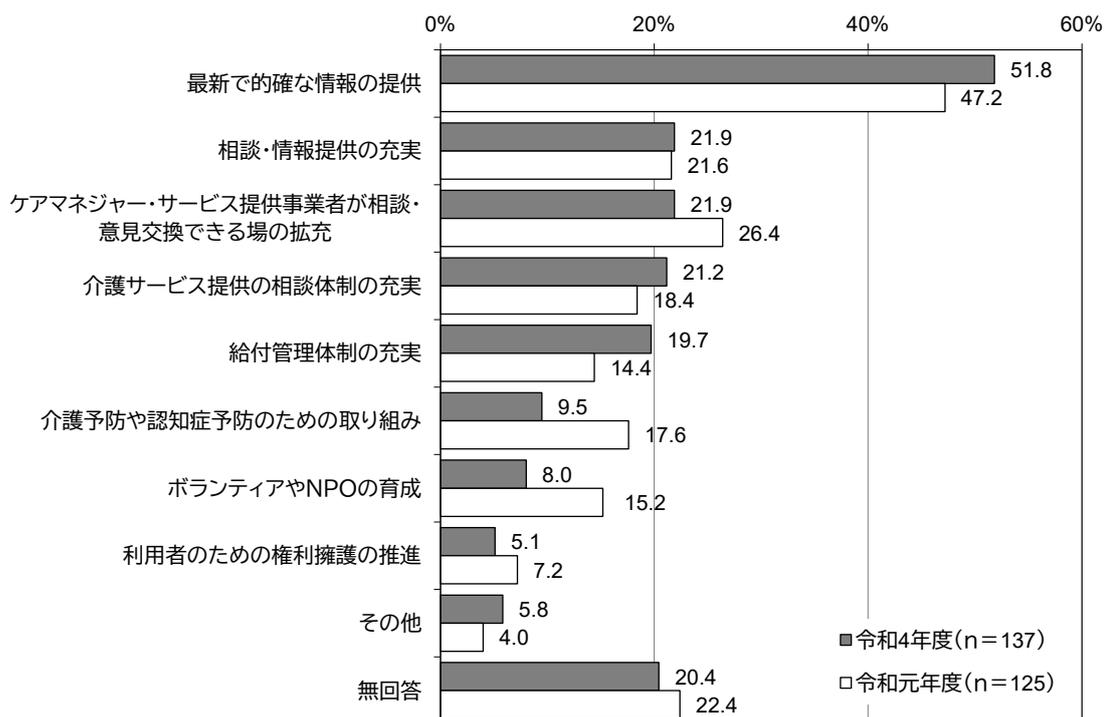
サービス種別でみると、「施設・居住系サービス」では「縮小（廃止）を予定（検討）している」はありませんが、「在宅サービス」と「介護保険事業以外のサービス」は「縮小（廃止）を予定（検討）している」が1割程度あります。



問19 サービス提供事業者として、市に望むことはありますか（主なもの3つまでに○）

「最新での確な情報の提供」が51.8%で最も高く、次いで「相談・情報提供の充実」「ケアマネジャー・サービス提供事業者が相談・意見交換できる場の充実」がそれぞれ21.9%、「介護サービス提供の相談体制の充実」が21.2%となっています。

前回調査と比較すると、「給付管理体制の充実」が5.3ポイント、「最新での確な情報の提供」が4.6ポイントそれぞれ高くなっています。



ご意見・ご要望などがありましたら、ご記入ください

No.	提供サービス	意見・要望等
1	訪問介護	介護を必要としている方は今後増加していきます。従事者の確保を考えていかないと必要な人に介護保険を使っていただけない。
2	介護保険事業以外の高齢者向け事業	介護認定のスピードアップをお願いしたいです。依頼、調査、認定に1カ月程度かかると思いますが、待っている間にその方の状態が変わってしまったり、入所に必要で、すぐにでも入所したいのに認定が出ないと入れない。その間に転倒してしまい、入院や命まで関わってくることもあります。仕方ないのでしょうか。
3	不明	適正なケアマネジメント業務、監査、実地指導を受けるにあたり、居宅介護支援業務マニュアル、Q&Aが必要です。居宅介護支援業務マニュアルを市で作成し、居宅介護支援事業所に配布してほしい。介護予防請求について、時間と経費削減のため、請求の提出場所を中央包括にしてほしい。認定結果について、末期 Ca、特定疾患の方は要介護2以上を出してほしい（医療面の視点から）。
4	訪問看護	精神疾患をもつ方が介護保険の適用になり、担当相談員からケアマネジャーに替わることが多くなっています。相談員とケアマネジャー、各サービスとの連携が必要と感じますが、まだまだお互いに理解・連携が不足しているようにも感じています。
5	通所介護	コロナによる影響、異常な物価高でも、介護報酬は変わらず、経営もかなり厳しい状況です。世間では賃上げ等の話題も多く聞かれますが、現場では賃上げしたくてもそれどころではない状況です。支援金や補助金の充実を切に望みます。よろしく願いいたします。
6	小規模多機能型居宅介護	県からのメールをそのまま転送の形ではなく、地域密着型としての解釈を添えてほしいと思います。
7	居宅介護支援	居宅介護支援を行っていますが、過去2年間新規の利用者の依頼がありません。利用者が集中する傾向があると思います。一部の事業所に集中しないため、なるべくその地域の利用者はその地域の事業所に依頼するようにしたらどうでしょうか。
8	介護保険事業以外の高齢者向け事業	利用者様、コロナ感染者ゼロ継続中です。

※原文掲載

V 生活機能の評価

1 基本的な生活機能の評価

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の項目の中から、基本的な生活機能評価に関する項目を抽出し、①運動器機能、②閉じこもり傾向、③認知機能、④うつ傾向、それぞれに関する「リスクの発生状況」の把握（評価）を行いました。なお、評価は、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（令和4年8月・厚生労働省）※に準じています。

該当する設問と評価方法

項目	設問	評価方法
①運動器機能	問2 からだを動かすことについて (1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (3)15分位続けて歩いていますか (4)過去1年間に転んだ経験がありますか (5)転倒に対する不安は大きいですか	計5問中、3問以上該当する選択肢(下表参照)が回答された場合「リスク該当」
②閉じこもり傾向	(6)週に1回以上は外出していますか(1つに○)	該当する選択肢(下表参照)が回答された場合「リスク該当」
③認知機能	問4 毎日の生活について (1)物忘れが多いと感じますか	該当する選択肢(下表参照)が回答された場合「リスク該当」
④うつ傾向	問7 健康について (3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	2問中いずれかで該当する選択肢(下表参照)が回答された場合「リスク該当」

※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（令和4年8月・厚生労働省）の「参考資料2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 解説（設問の意図）」。各設問で無回答があった場合は「判定不能」とする

	設問	該当する選択肢
問2	(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
	(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
	(3)15分位続けて歩いていますか	「できない」
	(4)過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」 「1度ある」
	(5)転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」 「やや不安である」
	(6)週に1回以上は外出していますか(1つに○)	「ほとんど外出しない」 「週1回」
問4	(1)物忘れが多いと感じますか	「はい」
問7	(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
	(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

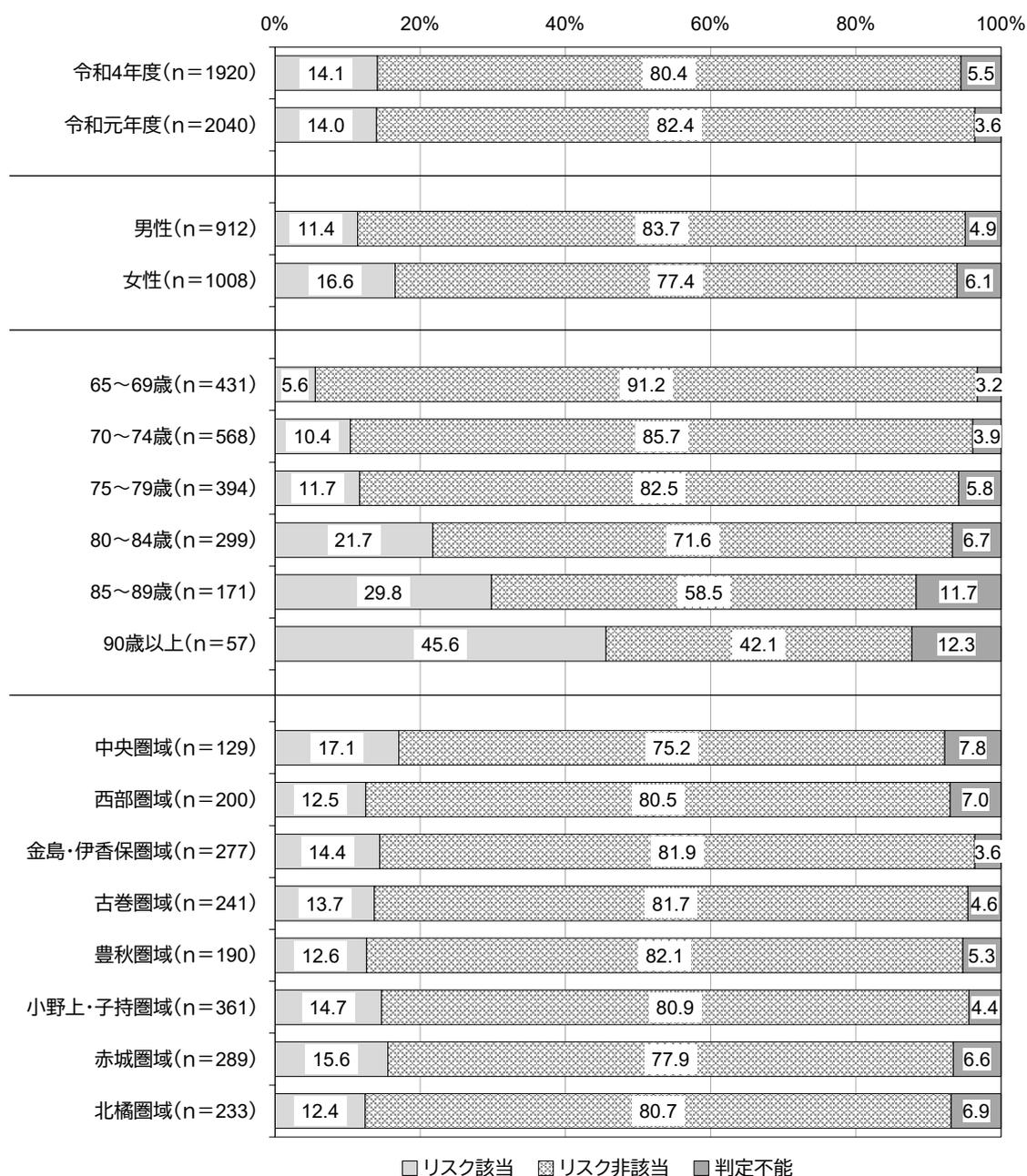
① 運動器機能

「リスク該当」について、全体では14.1%で、前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別でみると、女性が男性より5.2ポイント高くなっています。

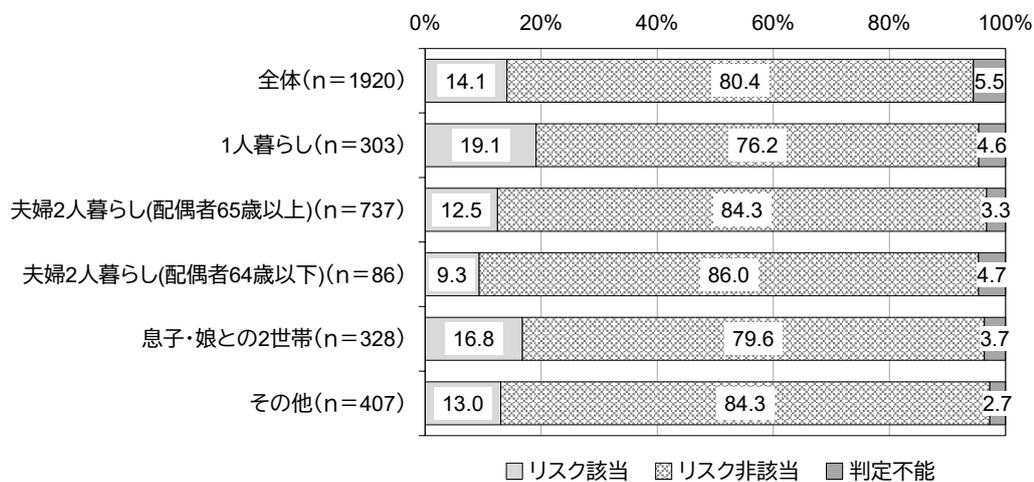
年代別でみると、90歳以上が45.6%で最も高く、高い年代ほど高くなっています。

圏域別でみると、中央圏域が17.1%で最も高く、北橘圏域が12.4%で最も低くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、「リスク該当」は、「1人暮らし」が19.1%、「息子・娘との2世帯」が16.8%で比較的高くなっています。



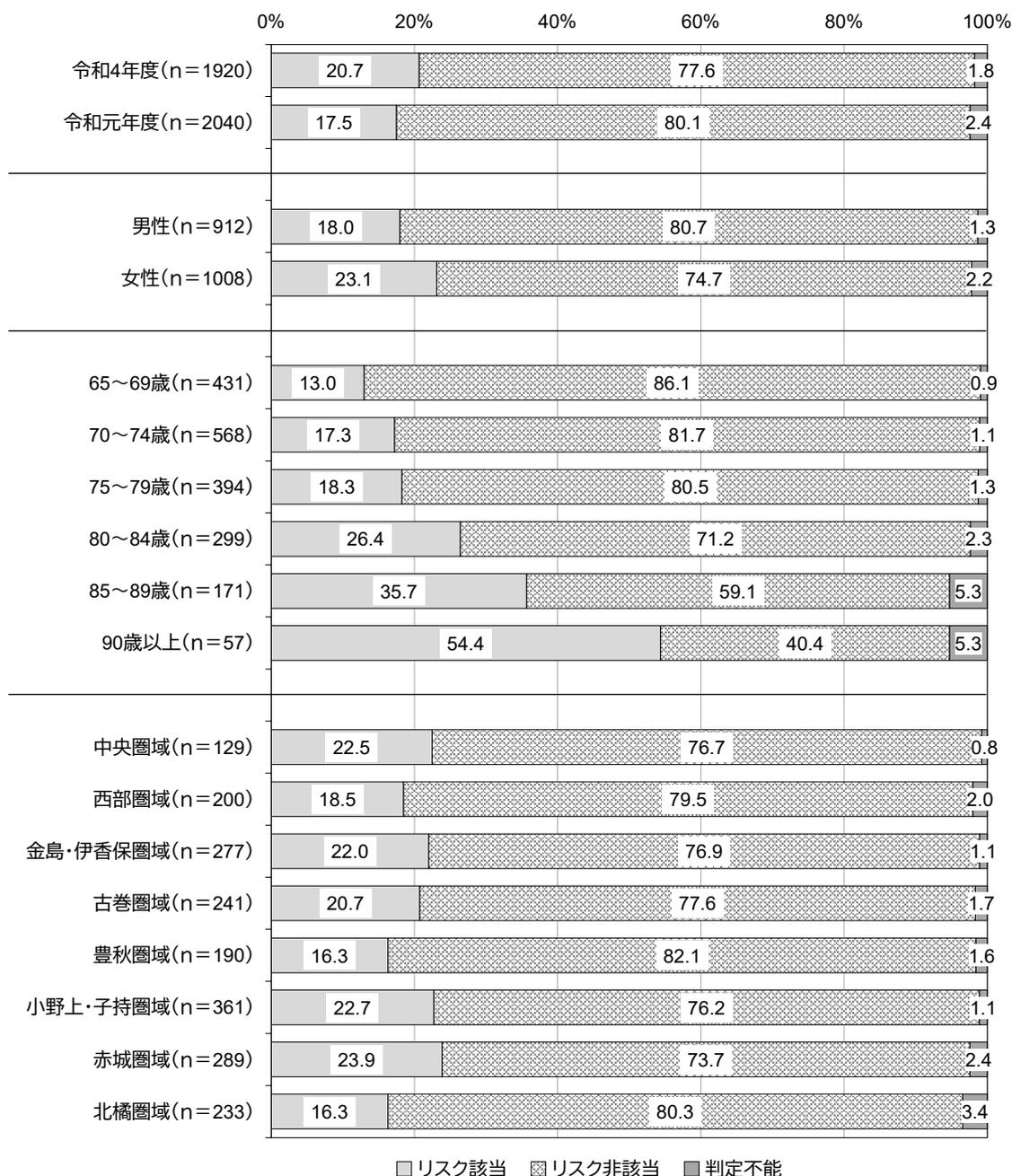
② 閉じこもり傾向

「リスク該当」について、全体では 20.7%で、前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、3.2 ポイント高くなっています。

性別でみると、女性が男性より 5.1 ポイント高くなっています。

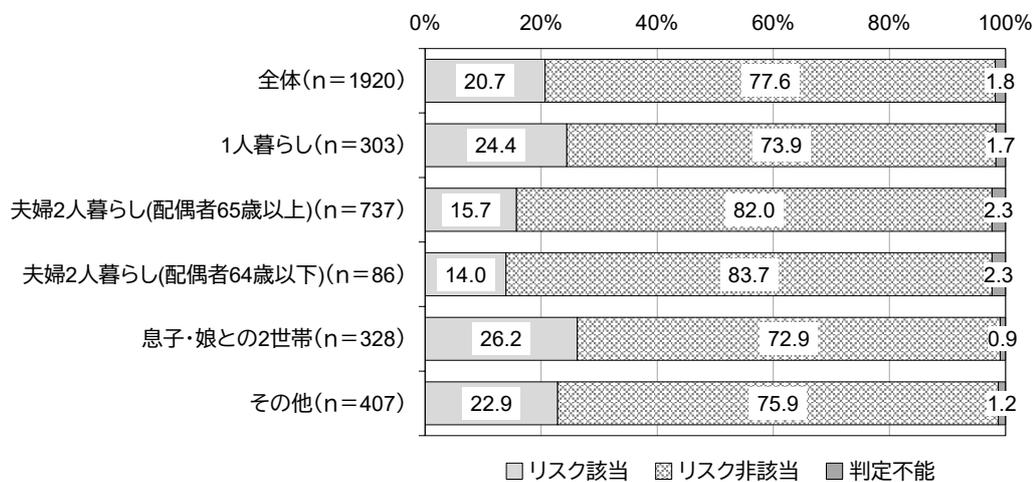
年代別でみると、90 歳以上が 54.4%で最も高く、高い年代ほど高くなっています。

圏域別でみると、赤城圏域が 23.9%で最も高く、豊秋圏域と北橘圏域がそれぞれ 16.3%で最も低くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、「リスク該当」は、「息子・娘との2世帯」が26.2%、「1人暮らし」が24.4%で比較的高くなっています。



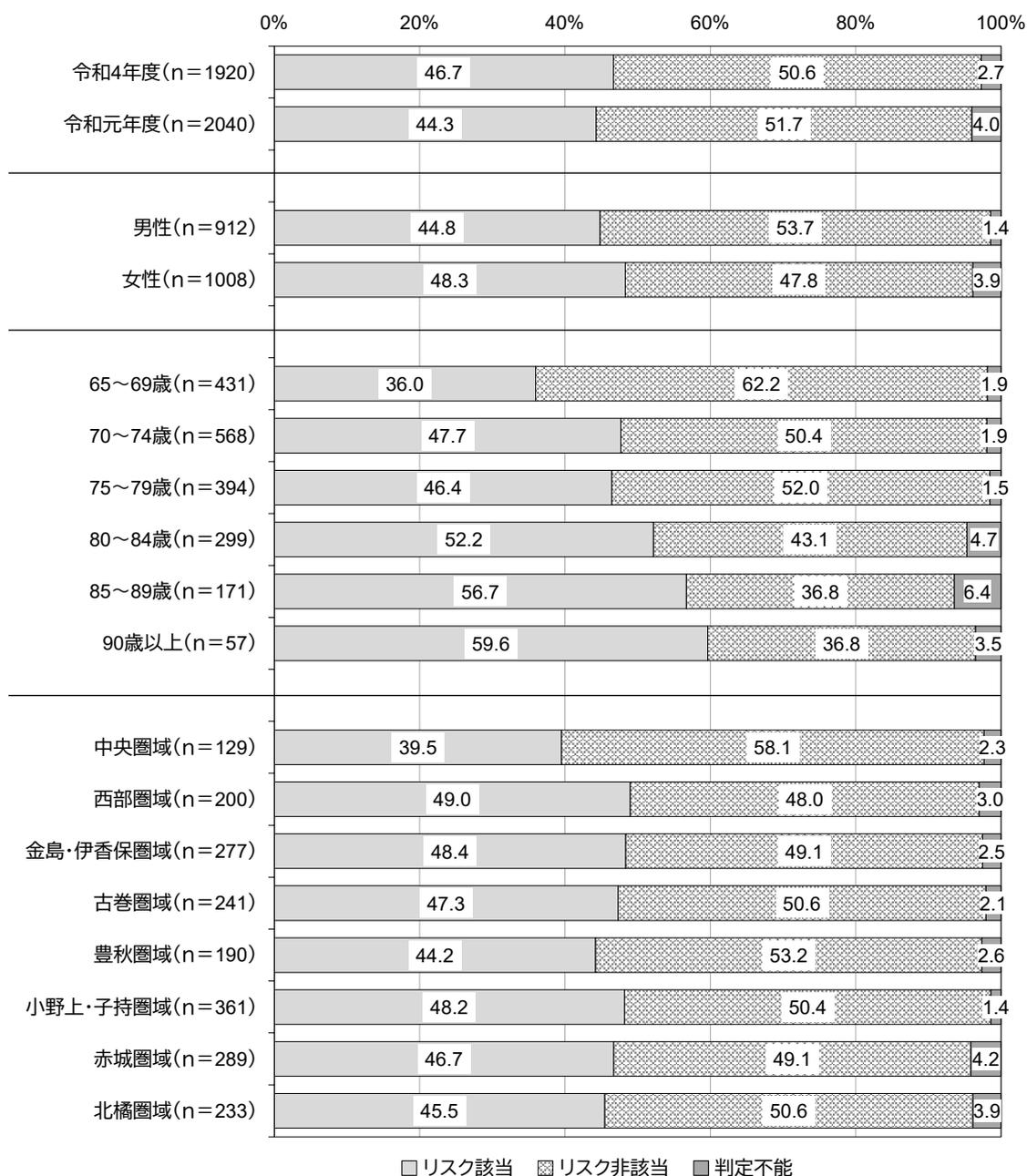
③ 認知機能

「リスク該当」について、全体では46.7%で、前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、2.4ポイント高くなっています。

性別でみると、女性が男性より3.5ポイント高くなっています。

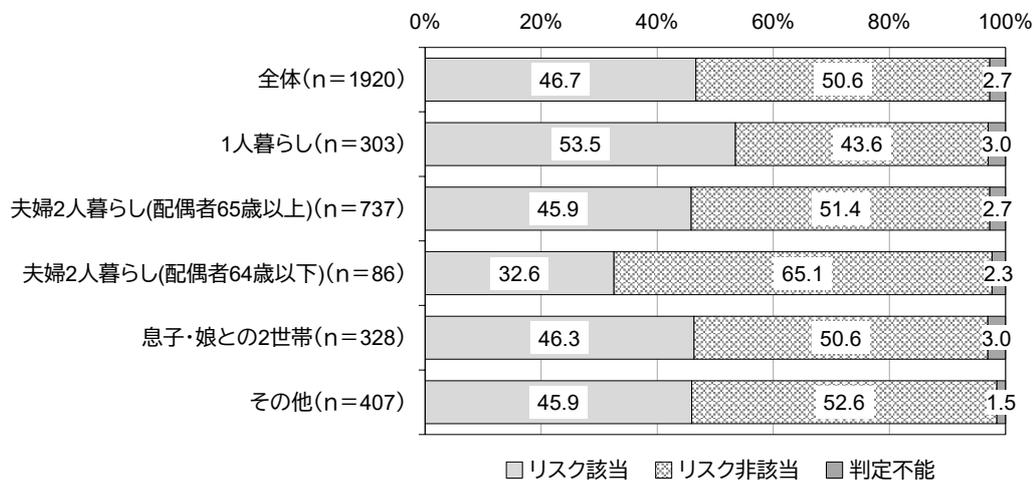
年代別でみると、90歳以上が59.6%で最も高く、概ね高い年代ほど高くなっていて、80歳以上で5割を超えています。

圏域別でみると、西部圏域が49.0%で最も高く、中央圏域が39.5%で最も低くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、「リスク該当」は、「1人暮らし」が53.5%で、次いで「息子・娘との2世帯」が46.3%となっています。「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」は32.6%で比較的低くなっています。



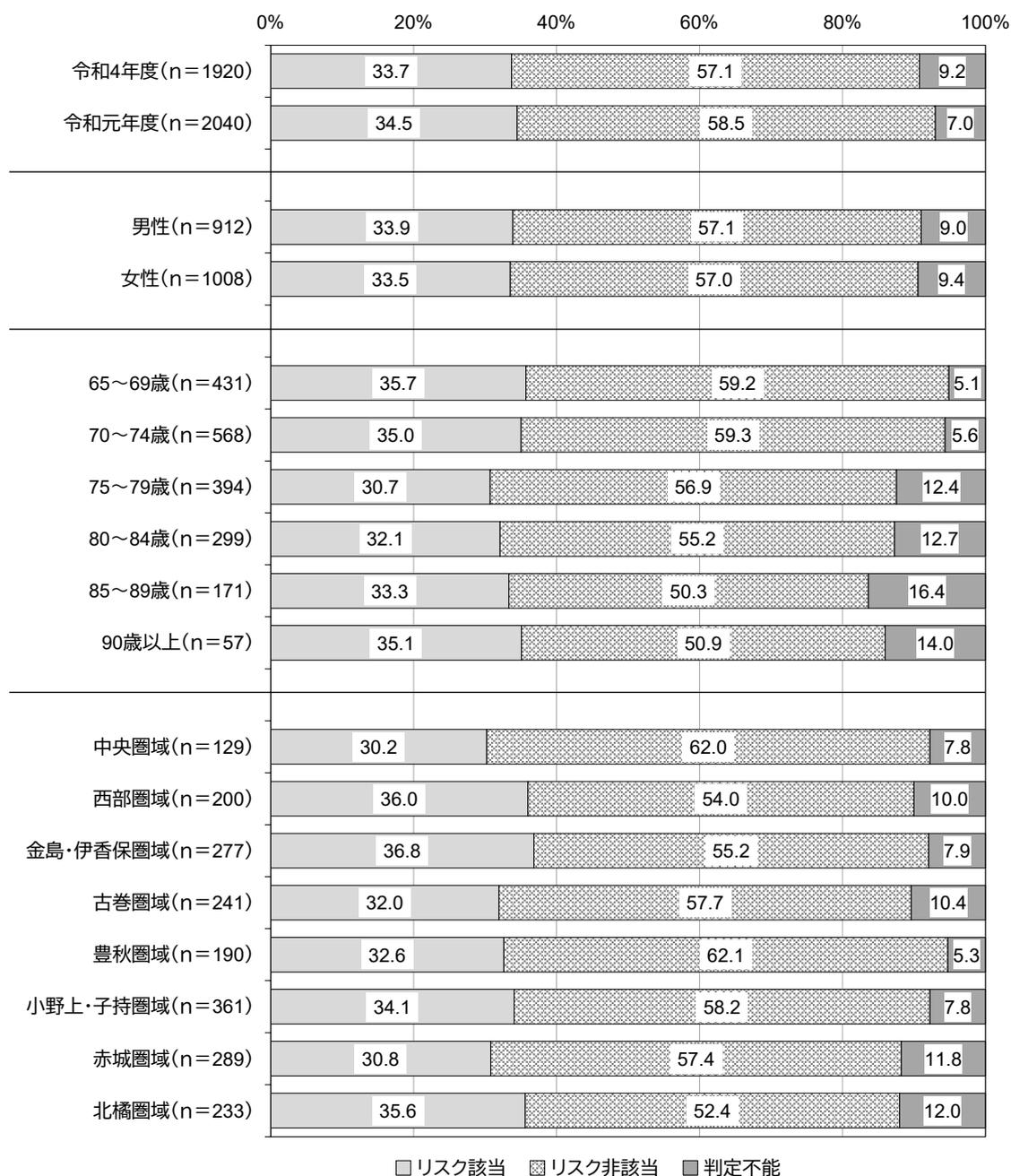
④ うつ傾向

「リスク該当」について、全体では33.7%で、前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別でみると、男性が女性より0.4ポイント高くなっています。

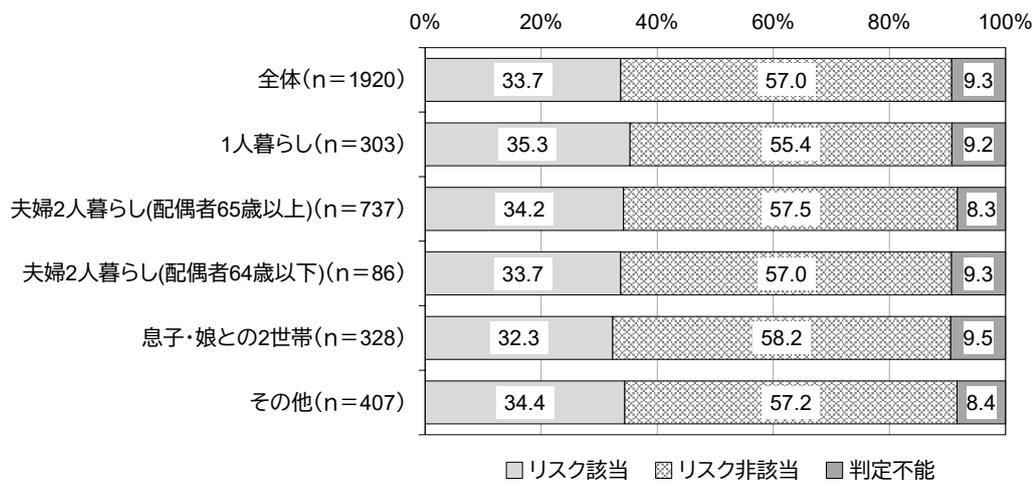
年代別でみると、全ての年代で3割を超えており、65～69歳が35.7%で最も高く、75～79歳が30.7%で最も低くなっています。

圏域別でみると、金島・伊香保圏域が36.8%で最も高く、中央圏域が30.2%で最も低くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、「リスク該当」は、全ての家族構成で3割を超えています。



2 その他の生活機能の評価

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の項目の中から、その他の生活機能及び身体機能に関するものを抽出し、①転倒リスク、②手段的日常生活動作（IADL）、それぞれに関する「リスクの発生状況」の把握（評価）を行いました。

該当する設問と評価方法

項目	設問	評価方法
①転倒リスク	問2 からだを動かすことについて (4)過去1年間に転んだ経験がありますか	該当する選択肢(下表参照)が回答された場合「リスク該当」
②手段的日常生活動作 (IADL)	問4 毎日の生活について (2)バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可) (3)自分で食品・日用品の買物をしていますか (4)自分で食事の用意をしていますか (5)自分で請求書の支払いをしていますか (6)自分で預貯金の出し入れをしていますか	計5問中それぞれについて、該当する選択肢(下表参照)が回答された場合を「1点」とし、5項目の合計を算出し、「5点」を「高い」、「4点」を「やや低い」、「3点」以下を「低い」とする

※各設問で無回答があった場合は「判定不能」とする

	設問	該当する選択肢
問2	(4)過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」 「一度ある」
問4	(2)バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「できるし、している」 「できるけどしていない」
	(3)自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
	(4)自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
	(5)自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
	(6)自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」

※手段的日常生活動作（IADL）は、料理や掃除などの家事、買い物、電話対応、金銭管理など日常生活の中の判断力や理解力が必要な動作を指し、生活上の自立の状況判断に用いられる。IADLは、Instrumental Activities of Daily Livingの頭文字をとった略称

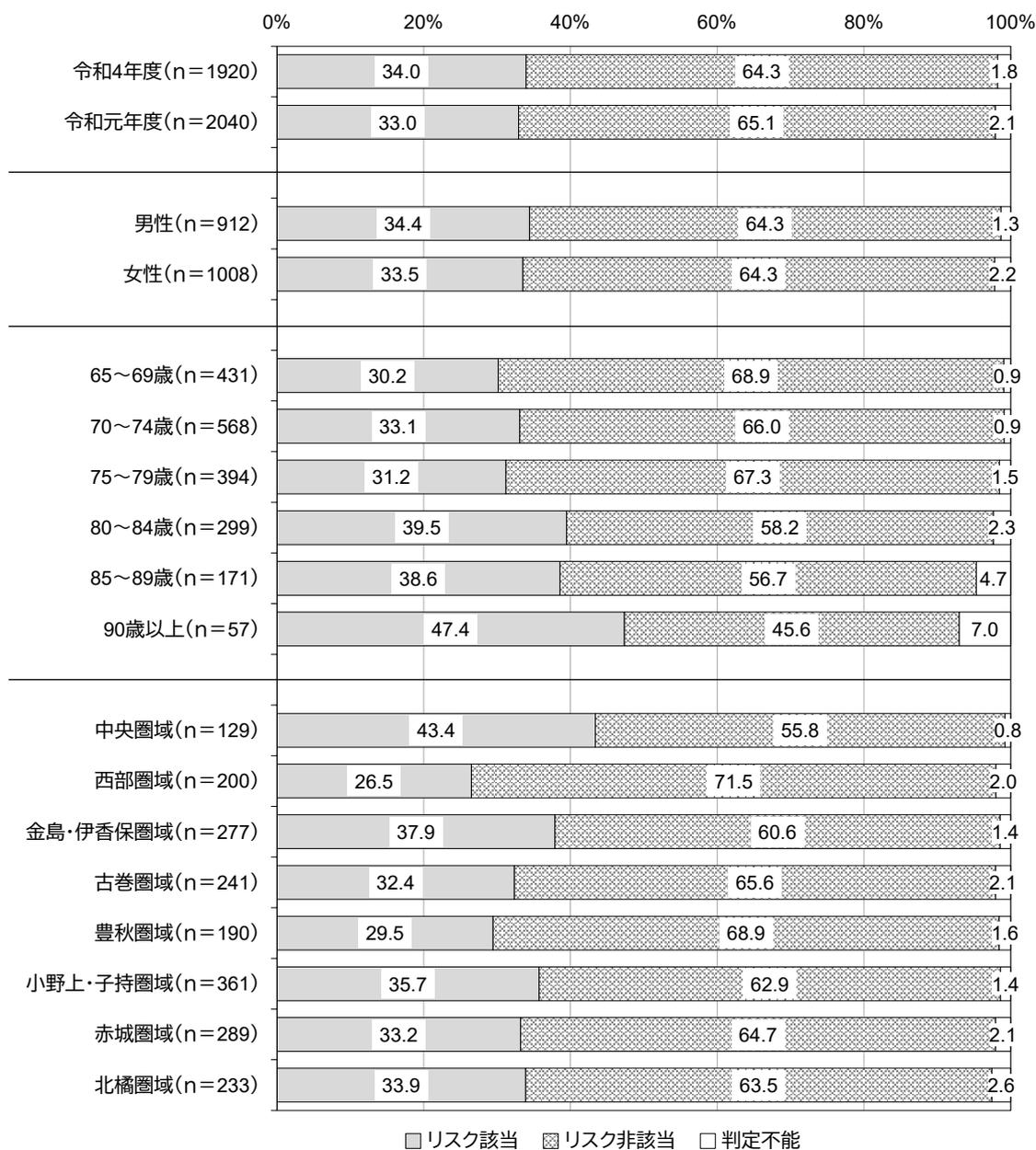
① 転倒リスク

「リスク該当」について、全体では34.0%で、前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、1.0ポイント高くなっています。

性別でみると、男性が女性より0.9ポイント高くなっています。

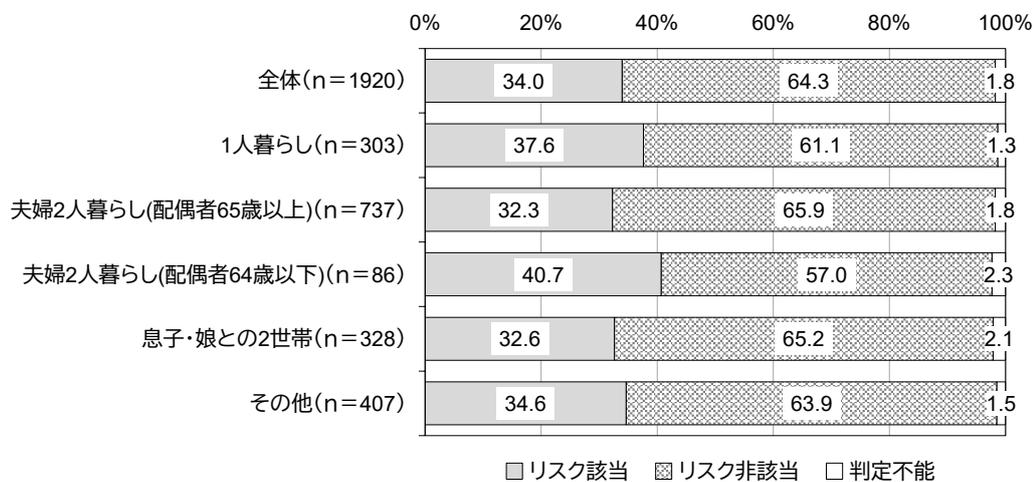
年代別でみると、90歳以上が47.4%で最も高く、概ね高い年代ほど高くなっています。

圏域別でみると、中央圏域が43.4%で最も高く、西部圏域が26.5%で最も低くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、「リスク該当」は、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が40.7%で最も高くなっています。



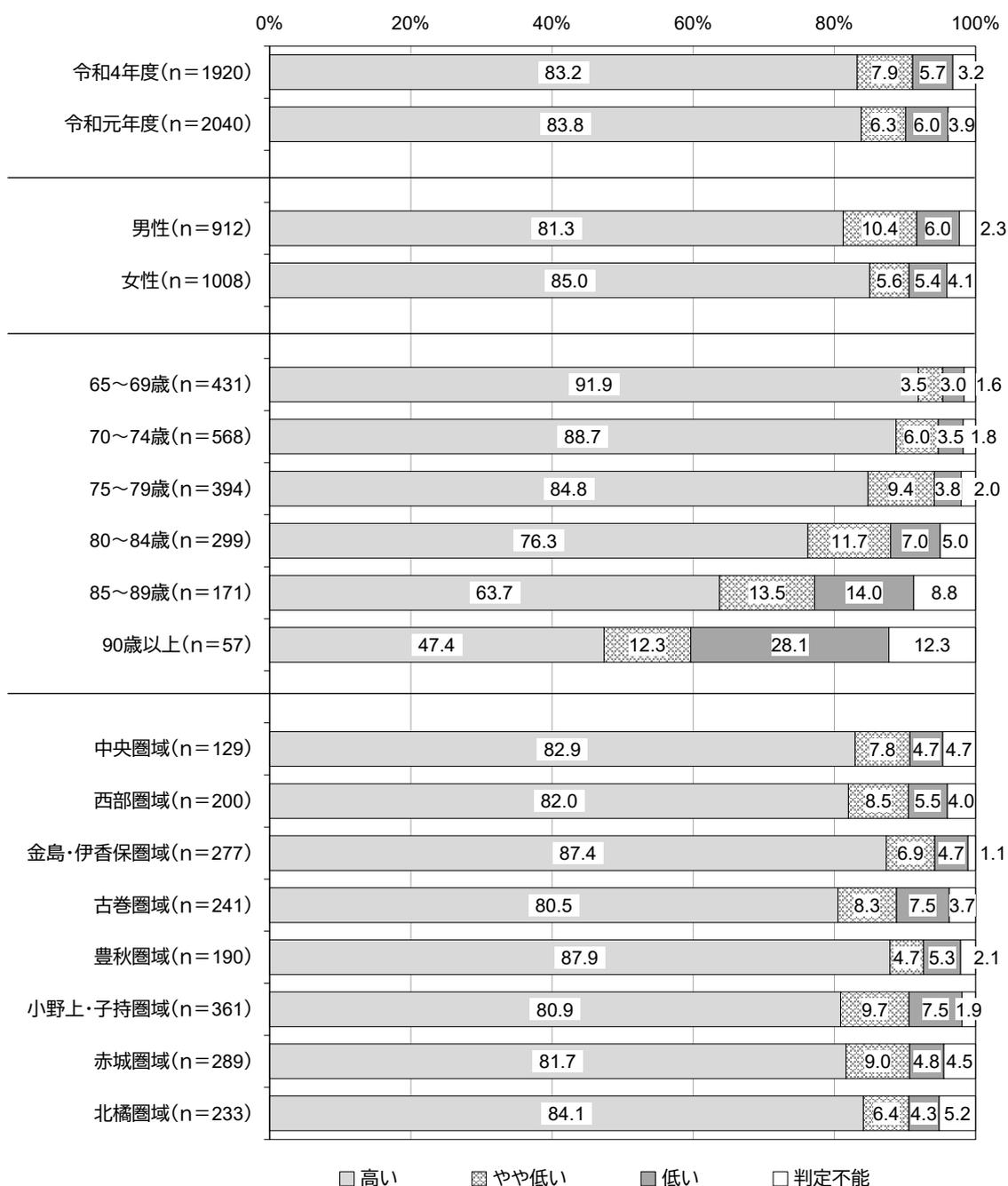
② 手段的日常生活動作 (IADL)

「低い」について、全体では5.7%で、前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別でみると、男性が女性より0.6ポイント高くなっています。

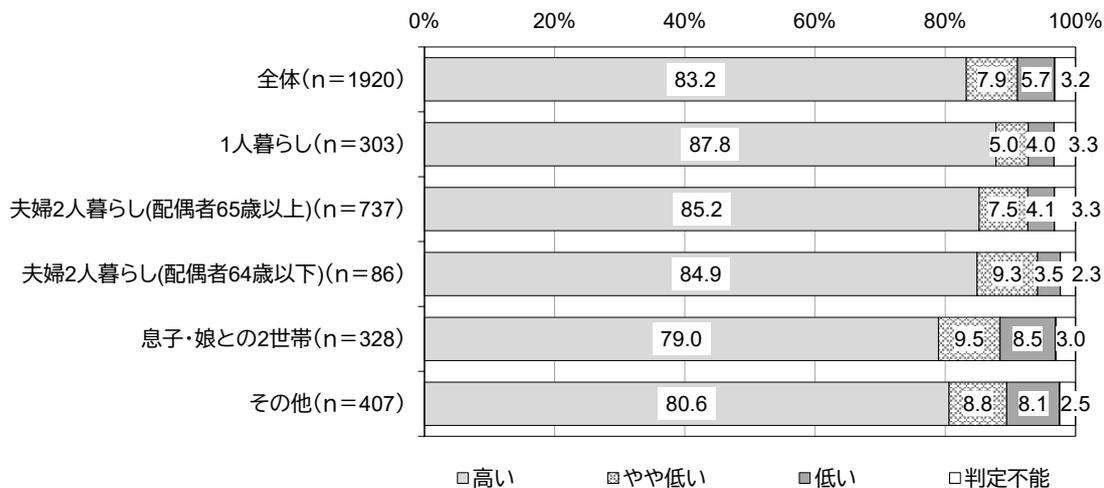
年代別でみると、90歳以上が28.1%で最も高く、高い年代ほど高くなっています。

圏域別でみると、古巻圏域と小野上・子持圏域がそれぞれ7.5%で最も高く、北橘圏域が4.3%で最も低くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、「息子・娘との2世帯」が8.5%で最も高くなっています。



VI 資料編（調査票）

在宅介護実態調査 調査票

【A 票にご回答をいただいているのは、どなたですか】(複数選択可)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A 票 調査対象者ご本人などにご回答、ご記入いただく項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | | |
|----------------------------|---|-------------------|
| 1. ない | } | 問5を回答し、調査は終了です |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | | |
| 3. 週に1～2日ある | | 問3～問5を回答し、B票(裏面)へ |
| 4. 週に3～4日ある | | |
| 5. ほぼ毎日ある | | |

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

● 問2で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方に B 票(裏面)へのご回答・ご記入をお願いします。

● 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入いただく項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願いします。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問4へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問4へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はありますが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(1つに○)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. 介護・介助は必要ない | 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(1つに○)			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか(1つに○)			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか(1つに○)			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2~4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(1つに○)			
1. とても減っている	2. 減っている		
3. あまり減っていない	4. 減っていない		

問3 食べることについて

(1) 身長・体重			
身長	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	cm	体重	<input type="text"/>
			kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(1つに○)			
1. はい	2. いいえ		
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください(1つに○) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)			
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯利用なし		
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯利用なし		

(4) どなたかと食事をとる機会がありますか (1つに○)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (1つに○)

1. はい 2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 自分で食事の用意をしていますか (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 主にどのような情報通信機器を使ってインターネットを利用していますか (1つに○) ※			
1. スマートフォン	2. スマートフォン以外の携帯電話		
3. タブレット型端末	4. パソコン		
5. インターネットは利用していない	6. その他()		
(8) 渋川市からのお知らせや渋川市に関する情報を主にどのように入手していますか (1つに○) ※			
1. 広報しぶかわ	2. 回覧板		
3. 市ホームページ	4. 渋川ほっとマップメール		
5. 新聞	6. その他()		
(9) 特殊詐欺と思われる電話を受けた経験がありますか (1つに○) ※			
1. ある	2. ない	3. わからない	
(10) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも) ※			
1. 自動車(自分で運転)	2. 徒歩	3. 自動車(人に乗せてもらう)	
4. 自転車	5. 路線バス	6. 電車	
7. タクシー	8. バイク	9. 病院や施設のバス	
10. 歩行器・シルバーカー	11. 車いす	12. 電動車いす(カート)	
13. その他()			
(11) 不安に感じていることは何ですか (いくつでも) ※			
1. 調理	2. 洗濯	3. 掃除	4. 買い物
5. 通院	6. 外出	7. 排せつ(トイレ)	8. 体の衰え
9. ゴミ出し	10. 庭の手入れ	11. 雪かき	12. 金銭管理
13. 防犯(特殊詐欺等)	14. 災害時の対応	15. 特にない	
16. その他()			

問6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします			
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他()	8. そのような人はいない		
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他()	8. そのような人はいない		
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他()	8. そのような人はいない		
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他()	8. そのような人はいない		
(5) 日頃、誰かに助けてもらっていることがありますか(いくつでも) ※			
1. 調理	2. 洗濯	3. 掃除	4. 買い物
5. 通院	6. 外出	7. 排せつ(トイレ)	8. 金銭管理
9. ゴミ出し	10. 庭の手入れ	11. 雪かき	12. 特にない
13. その他()			

問7 健康について	
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)	
1. とてもよい	2. まあよい
3. あまりよくない	4. よくない
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)	
とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1点	2点
3点	4点
5点	6点
7点	8点
9点	
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(5) タバコは吸っていますか (1つに○)	
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない
(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)	
1. ない	2. 高血圧
	3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) <small>のうそっちゅう のうしゅつけつ のうこうそくなど</small>
4. 心臓病	5. 糖尿病 <small>とうりょうびょう</small>
	6. 高脂血症(脂質異常) <small>こうしけっしょう しじつじょう</small>
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 <small>じんぞう ぜんりつせん</small>	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) <small>きんこっかく こつそ しょう</small>
11. 外傷(転倒・骨折等) <small>がいしょう てんとう こっせつなど</small>	12. がん(悪性新生物)
	13. 血液・免疫の病気 <small>めんえき</small>
14. うつ病	15. 認知症(アルツハイマー病等) <small>にんちしょう</small>
	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
	19. その他()

貴事業所についておたずねします

※他事業所と併設している場合でも、封筒の宛名に記載されている事業所ごとにお答えください。

問1 貴事業所についてお答えください。 【記入日 令和 年 月 日】

法人種別	1 社会福祉法人 2 医療法人(社団・財団) 3 株式会社・有限会社		
	4 NPO法人 5 組合 6 その他()		
サービス種類	番号	種類名	

※依頼文の裏面のサービス種類番号及びサービス種類名を参考にお答えください。

問2 貴事業所のサービス利用人数についてお答えください。(令和5年2月1日時点)

利用定員(設定がある場合)	人	利用者数(実人数)	人
---------------	---	-----------	---

問3 サービス利用人数内訳についてお答えください。(令和5年2月1日時点)

※施設・居住系サービス事業所(※依頼文裏面参照)は入所前の居住地でお答えください。

茨川市被保険者	人	他市町村被保険者	人
---------	---	----------	---

問4 貴事業所が行っているサービスの利用状況について伺います。当初見込んだ利用量と比較してどのようになっていますか。(1つに○)

1 多い	2 予定どおり	3 少ない
------	---------	-------

問4で「1」と回答した事業所に伺います

問4-1 その主な理由をどうお考えですか。(1つに○)

1 サービスの内容や質が、利用者に評価されたから	2 広報活動等により、一定以上の利用者を確保できたから	3 必要なサービスの利用について、利用者の理解を得られるよう努めたから	4 見込み以上の需要があったから	5 その他()
--------------------------	-----------------------------	-------------------------------------	------------------	----------

問4で「3」と回答した事業所に伺います

問4-2 その主な理由をどうお考えですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 見込んだほどの需要がなかったから |
| 2 他の事業所に利用者が集中する傾向があるから |
| 3 新たな事業所が参入してきたから |
| 4 利用者負担を考慮して、利用者が介護保険サービスの利用を控えているから |
| 5 医療保険などの他制度を利用するケースが見込み以上に多かったから |
| 6 必要な従事者を確保できなかったから |
| 7 その他 () |

問5 貴事業所の職員についてお答えください。

項目	正規職員数	非正規職員数
職員数(記入日時点)	人(男 人 女 人)	人(男 人 女 人)
採用人数(前年1月~12月)	人(男 人 女 人)	人(男 人 女 人)
離職人数(前年1月~12月)	人(男 人 女 人)	人(男 人 女 人)
離職者の平均勤続年数	年(男 年 女 年)(例:4.5年)	

問6 貴事業所の職員の過不足等の状況はどうか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1 大いに不足している | 2 不足している | 3 やや不足している |
| 4 適正な人数である | 5 過剰となっている | |

問6で「1~3」と回答した事業所に伺います。

問6-1 職員が不足しているその主な理由をどうお考えですか。(該当全てに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 離職率が高い(定着率が低い) | 2 募集しても適正な人材がいない |
| 3 募集しても応募がない | 4 その他 () |

問6-2 職員が不足しているのはどの職種ですか。(3つまで記載)

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|

問7 貴事業所が行っている採用活動とその効果についてお答えください。(該当に○)

項目	実施 有無	実施効果			
		ある	少しある	あまりない	ない
ハローワークへの求人登録					
自社ホームページでの募集					
就職専門WEBサイトへの登録					

求人情報誌への掲載					
大学や専門学校への営業					
従事職員による勧誘					
その他 ()					

問8 外国人の採用についてお答えください。(1つに○)

1 既に採用している()人 2 検討している 3 未定 4 採用する予定なし

問9 これまでに、利用者本人やその家族から以下のような苦情を受けたことがありますか。(該当全てに○)

1 苦情を受けたことはない 2 サービス内容 3 利用手続き
4 職員の態度 5 施設の設備 6 介護保険外の利用負担
7 その他 ()

問10 貴事業所は苦情について、どのような取り組みをしていますか。(該当全てに○)

1 苦情窓口への相談員の配置 2 利用者等との話し合いの場の設置
3 ケース検討会等の開催 4 苦情・相談内容の蓄積や分析
5 苦情・相談対応マニュアルの作成 6 苦情・相談対応状況の情報公開
7 その他 () 8 特にない

問11 円滑な事業運営を進めていく上で、困難を感じることはどのようなことですか。

(主なもの3つまでに○)

1 事務作業が多い	2 施設・設備の改善が難しい
3 必要な情報が入手しにくい	4 従事者の資質向上が難しい
5 従事者の確保・調整が難しい	6 自治体との連携が難しい
7 利用者や家族の介護保険制度に対する理解が進んでいない	
8 その他 ()	

【居宅サービス事業所(施設・居住系サービス事業所(※依頼文裏面参照)以外)の方に伺います。】

(施設・居住系サービス事業所の方は **問13** にお進みください。)

問12 貴事業所では国がすすめる「ケアプランデータ連携システム」※を利用する予定ですか。(1つに○)

※国では、介護職の事務負担の軽減やサービスの質の向上につなげるため、ケアプランやサービス利用票をオンライン化する「ケアプランデータ連携システム」を整備し、令和5年4月から本格稼働するとしています。

<input checked="" type="radio"/> 1 利用する予定	<input type="radio"/> 2 利用しない	<input type="radio"/> 3 未定(わからない)
---	-------------------------------	-----------------------------------

問12で「1」と回答した事業所に伺います

問12-1 いつごろから利用する予定ですか。

令和	年	月	ごろ
----	---	---	----

【施設・居住系サービス事業所(※依頼文裏面参照)の方に伺います。】

(施設・居住系サービス事業所以外の方は **問16** にお進みください。)

問13 入所(入居)前の居所についてお答えください。(前年1月～12月までの状況)

1 居宅(ひとり暮らし)	人	2 介護老人福祉施設	人
3 居宅(家族と同居)	人	4 介護老人保健施設	人
5 有料老人ホーム	人	6 介護療養型医療施設	人
7 サービス付高齢者向け住宅	人	8 介護医療院	人
9 グループホーム	人	10 養護老人ホーム	人
11 病院	人	12 その他()	人
合 計			人

問14 退所(退去)後の居所についてお答えください。(前年1月～12月までの状況)

1 居宅(ひとり暮らし)	人	2 介護老人福祉施設	人
3 居宅(家族と同居)	人	4 介護老人保健施設	人
5 有料老人ホーム	人	6 介護療養型医療施設	人
7 サービス付高齢者向け住宅	人	8 介護医療院	人
9 グループホーム	人	10 養護老人ホーム	人
11 病院	人	12 死亡	人
13 その他()	人	合 計	人

問15 現在の入所待機の状況についてお答えください。(令和5年2月1日時点)

1 あり(入所申し込み 人、相談・問い合わせ 人)	2 なし
---------------------------	------

問16 現在、洪川市内において新規参入または事業拡大を検討しているサービスがありますか。

(該当全てに○)

1	居宅介護（予防）支援	2	訪問介護
3	訪問入浴介護	4	訪問看護
5	訪問リハビリテーション	6	居宅療養管理指導
7	通所介護	8	通所リハビリテーション
9	短期入所生活介護	10	短期入所療養介護
11	福祉用具貸与	12	福祉用具販売
13	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14	夜間対応型訪問介護
15	地域密着型通所介護	16	認知症対応型通所介護
17	小規模多機能型居宅介護	18	看護小規模多機能型居宅介護
19	認知症対応型共同生活介護	20	地域密着型特定施設入居者生活介護
21	特定施設入居者生活介護	22	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
23	介護老人福祉施設	24	介護老人保健施設
25	介護療養型医療施設	26	介護医療院
27	介護保険事業以外の高齢者向け事業 (内容：)		

問17 新規参入や事業拡大を考える場合に、課題や問題となることはどのようなことですか。(主なもの3つまでに○)

1 職員の確保	2 職員の育成・研修	3 利用者の確保
4 事務作業の簡素化	5 情報不足	6 施設の改善
7 基準・規制	8 介護報酬	9 その他 ()

問18 貴事業所では、事業縮小や事業廃止を予定(検討)していますか。(1つに○)

1 縮小を予定(検討)している	2 廃止を予定(検討)している	3 予定はない
-----------------	-----------------	---------

問19 サービス提供事業者として、市に望むことはありますか。(主なもの3つまでに○)

1 最新での確な情報の提供	2 給付管理体制の充実
3 介護サービス提供の相談体制の充実	4 利用者のための権利擁護の推進
5 相談・情報提供の充実	6 ボランティアやNPOの育成

- 7 介護予防や認知症予防のための取り組み
- 8 ケアマネジャー・サービス提供事業者が相談・意見交換できる場の拡充
- 9 その他 ()

ご意見・ご要望などがありましたら、ご記入ください
